

No. 1

' 23彦青発第36号

2023. 4. 17

公益社団法人 彦根青年会議所
2023年度 理事会構成メンバー各位

公益社団法人 彦根青年会議所
理事長 橋本 幾



2023年度第6回理事会のご案内

拝啓 仲春の候、貴殿におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、公益社団法人彦根青年会議所2023年度第6回理事会を下記の要項にて開催いたします。時節柄ご多用のこととは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

日 時 2023年 4月24日 (月) 19:00~23:00
場 所 文教スタジオ 5F

- 議事日程
1. 開会
 1. 点鐘
 1. JC宣言文朗読並びに綱領唱和
 1. LOMスローガン唱和
 1. 出席調査
 1. 議長選出
 1. 定足数の確認
 1. オブザーバーの承認
 1. 議事録作成人の指名
 1. 2023年度第4回及び第5回理事会議事録の承認
 1. 理事長報告
 1. 専務理事会務報告
 1. 副理事長報告
 1. 資料の確認
 1. 報告事項
 1. 議題の採択

1. 審議事項

- 1号議案 2月度例会～彦根城一帯堪能ツアー～開催の件
- 2号議案 2月通常総会開催の件
- 3号議案 会員研修～人間力溢れる人財へ～開催の件
- 4号議案 周年事業積立資産本会計への切り崩しの件
- 5号議案 第37回彦根シティマラソン実行委員会参加の件
- 6号議案 6月度例会～コンプライアンスコンプライト～開催の件
- 7号議案 6月臨時総会開催の件
- 8号議案 創立70周年記念祝賀懇親会開催の件
- 9号議案 創立70周年記念式典開催の件
- 10号議案 70周年記念誌作成の件

1. 協議事項

- 1号議案 彦根青年会議所運動指針内容の件

1. 依頼事項

1. 監事講評

1. 閉会・点鐘

配布資料

- No. 1 2023年度第6回理事会のご案内
- No. 2 2023年度第4回理事会議事録
- No. 3 2023年度第5回理事会議事録
- No. 4 2月度例会～彦根城一帯堪能ツアー～開催の件
- No. 5 2月通常総会開催
- No. 6 会員研修～人間力溢れる人財へ～開催
- No. 7 周年事業積立資産本会計への切り崩し
- No. 8 第37回彦根シティマラソン実行委員会参加
- No. 9 6月度例会～コンプライアンスコンプライト～開催
- No. 10 6月臨時総会開催
- No. 11 創立70周年記念祝賀懇親会開催
- No. 12 創立70周年記念式典開催
- No. 13 70周年記念誌作成
- No. 14 彦根青年会議所運動指針内容

以上

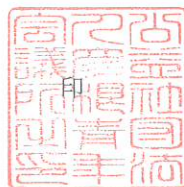
公益社団法人 彦根青年会議所

2023年度 第4回理事会議事録

理事長 橋本 一幾



議事録作成人 事務局



日 時 2023年 3月23日 (木) 19:00 ~ 24:10

場 所 文教スタジオ5F

出席状況

出席：○ 遅刻：△ 途中退席：▽ 欠席：×

理事	橋本 一幾	○	大野 勝輝	○	澤井 雄一	○	飛松 龍	○
	西川 隼世	○	夏原 大輝	○	青木 克実	×	北川 凌	△
	北村 忠征	×	園 一生	○	車 宝超	×	中西 雄也	○
	夏原 慶	○	藤井 肇	○	上田 一八	○		
								出席理事 以上 11名
監事	木田 乃輔	○	宮川 佳典	○	出席監事 以上 2名			
直前理事長	横津 優騎	×						
委員長	澤田 晃仁	○	丸山 義樹	○	西村 直人	○		
会計	西村 健太郎	○						
セクレタリー	北川 凌	重	清水 翔太	○	出席非理事 以上 6名			

1. 開会宣言・点鐘

事務局長 上田 一八 君 ・ 理事長 橋本 一幾 君

1. JC宣言文朗読並びに綱領唱和

組織の輪確立委員会 丸山 義樹 君

1. 出席調査

事務局長 上田 一八 君

1. 議長選出

定款第47条により、理事長が 西川 隼世 君を指名した。

1. 定足数の確認

理事定数15名、出席理事数11名、定足数10名
定款第48条の規定により本理事会は成立した。

1. オブザーバーの承認

北川 真衣 君

1. 議事録作成人の指名

議事録作成人 事務局

議事録署名人 橋本 一幾 君 木田 乃輔 君 宮川 佳典 君

1. 理事長報告

橋本 理事長

皆様こんばんは。定刻の19時に皆様お集まりいただきましてありがとうございます。また、上田事務局長を始めいたします事務局メンバーの皆様、ご設営ありがとうございます。そして本日オブザーバー参加していただいている北川真衣君、ご参加ありがとうございます。理事長報告ということで、70周年事業に向けた部会が本格的に動き始めているということが、私には感じられます。周年事業への足音が聞こえてきて、目に見えて迫って来ていることがわかるようになって来ました。先日Instagramを見ていると彦根商工会議所青年部がプロシードアリーナで卒業例会をされている様子が載っていました。私たちの周年事業と同じ会場でされたということでしたが、写真映えが良かったと感じると同時に、皆様笑顔で写真に写っていて楽しそうな雰囲気だと感じ、プロシードアリーナは70周年事業にぴったりな会場だと感じました。あの会場で70周年事業を大成功に終わらせたいと考えていますので、皆様引き続きご協力よろしく願いいたします。昨日の話題になりますが、WBCで日本が優勝されました。皆様ご覧になりましたか。私も見たかったのですが、仕事が忙しくて見れなかったのですが、現場で働いている従業員がYouTubeで視聴しながら仕事をしている所を見て、それだけ世間が注目しているイベントなんだと感じました。私はニュースで結果を見たのですが、大谷選手がすごいと感じたのと、村上選手もホームランを打っていて、やれば出来ると感じました。日本は何がすごかったのかというと、それは「チームワーク」だと思います。皆様の意気込みといったものが、テレビのモニターを通して伝わって来るという気がして、日本が優勝できたのはその意気込みが一番だったのではないかと思います。野球は一人でするスポーツではないです。それは青年会議所活動も同じで、皆で行動、皆で活動するので、チームワークというものは一番大事なのではないかと感じます。誰か一人が欠けても団結には繋がらないので、皆で一丸になることを一番に考えていかなければならないと、WBCのニュースから感じました。また、WBCの裏で甲子園もありました。彦根総合高校ですが、甲子園で惜しくも負けてしまいました。結果は2対0でしたが、7回まで無失点で抑える良い試合でありました。アルプススタンドで応援している選手のTシャツの後ろに「俺たちはあきらめが悪い」というプリントがされていました。昨年甲子園の準決勝の時に延長15回か16回まで持ち込んで勝ったという実績があったためだそうです。「あきらめが悪い」という響きは良いわけではありませんが、「決してあきらめない」という姿勢が昨日の試合で伝わ

って来たと思われました。彦根総合高校の理事長が松金工業というねじの会社を営されているのですが、その方が以前取材で言われていたことで「ねじの販売と一緒に、野球というのはコツコツと練習を積み重ねていくものだ」という言葉がありました。ねじは1個何円、何十円という金額で売っているけれども、それをコツコツと積み上げることで何億という売り上げに替わってくるということを言われていました。それが野球の強いチームを作っていく秘訣だと言われていました。そのコツコツと積み重ねていくということがWBCでも高校野球でも同じです。私たちに置き換えると70周年に向けてコツコツと議案書を書いていただいています。部会も積み重ねていただいています。そのような中でも彦根城写生大会や5月度例会もあります。そのような状態で皆様大変忙しくハードなスケジュールをこなされていると思います。大変ではありますが、毎日少しずつコツコツと行うことでより良いものになると思います。皆様のチカラが誰一人欠けても、本年度の運動・活動が成功したとは言えないと思いますので、今後も引き続き青年会議所活動に邁進していただきたいと思います。本日の理事会は1月度例会の報告議案が1つと5月度例会と彦根城写生大会といった計画議案が2議案上程されます。理事の皆様もこれらの議案書をより良いものにするために、忌憚のない御意見をたくさん頂戴いたしまして、本日の理事会が皆様にとって実り多き有意義なお時間になることをご祈念いたしまして、私からの挨拶に替えさせていただきます。よろしく願いいたします。

1. 会務報告

夏原 専務理事

皆様、こんばんは。会務報告につきましては昨日、事務局長より配信をさせていただいております。本日協議事項が2つございますが、先日の理事会での意見を反映して作り直させていただいております。前回の意見に関してですが今回協議議案ということで文字を斜めにしておりません。修正点を踏まえてご意見いただければと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

(出席確認) 上田 事務局長

出席 北川 凌 君

出席理事数 12名

1. 副理事長報告

大野 副理事長

私からは1月度新年交流例会の報告書を上程させていただいております。また地域共創委員会からは西村委員長より、彦

根城写生大会の議案書を上程させていただきます。理事の皆様忌憚のない御意見をよろしくお願いいたします。

澤井 副理事長

改めましてこんばんは。本日、懇親会と式典、そして周年誌の協議上程をさせていただきます。忌憚のない御意見をお願い致します。

西川 副理事長

本日丸山委員長から5月度例会の議案書を上程させていただきます。忌憚なきご意見をいただき、より良いものにしたいと思しますのでよろしくお願いいたします。

1. 資料の確認

上田 事務局長

資料に関しましては事前にメールにて配信しております。続いて本日配布しております資料の確認を行います。本日、創立70周年記念祝賀懇親会開催の件。創立70周年記念式典開催の件。についての資料を、LINEの2023年度理事会構成メンバーグループに配信させていただいております。紙資料が必要な方がおられましたらお知らせください。

○事前資料

配布資料

- N o . 1 2023年度第1回理事会のご案内
- N o . 2 2023年度第3回理事会議事録
- N o . 3 1月度新年交流会～初志貫徹！
新たな時代の魁に！～開催
- N o . 4 新入会会員承認
- N o . 5 5月度例会～大人の運動会～開催
- N o . 6 5月臨時総会開催
- N o . 7 写生大会2023～G o T o彦根城～開催
- N o . 8 創立70周年記念祝賀懇親会開催
- N o . 9 創立70周年記念式典開催
- N o . 10 70周年記念誌作成

○当日配布資料

配布資料

- N o . 1 写生大会2023～G o T o彦根城チラシ

1. 審議事項

1号議案 1月度新年交流会～初志貫徹！

新たな時代の魁に！～開催の件

(補足説明) 大野 副理事長

はじめに、決算に関しましては参加人数や事務局備品を使用しましたので、記載のとおり差異が生じております。また、2年振りに会食を伴う例会を行うことが出来き、感染者が出たとの報告もなく、無事終わることが出来ました。新年交流会を通じて2023年度を力強くスタート出来る契機になったと考えております。御審議の程よろしくお願いいたします。

(質問) 園 理事

2つ気になることがあります。決算書の支出の部分のバラリボン用リボンタレ、筆耕代、芳名帳において、「事務局備品を使用したため」と書いてありますが、筆耕代を事務局備品とはどのような意味なのか教えていただいてもよろしいですか。

(応答) 大野 副理事長

肩書が変わっていない方は、そのまま使用させていただきましたので、その分で差異が生じております。

(質問) 園 理事

はい、わかりました。後、例年に比べ、新聞の記事が二社しかありませんが、その他で調べる等はしましたか。

(応答) 大野 副理事長

去年ですと一社のみでした。もう少しあるかと思い、幅広く探しましたが、二社という形になりました。

(質問) 木田 監事

決算書の通信費、対外通信費の札状用ハガキは93枚お使いになられたということでよろしかったでしょうか。

(応答) 大野 副理事長

こちらは計画の枚数となっております。

(質問) 木田 監事

決算書ですが、ここに計画の枚数を記載して、金額は違う枚数で表示をされるという認識でよろしかったですか。

(応答) 大野 副理事長

適応欄には計画の枚数を提示した予算額がありまして、実際

に使用した枚数の決算額が表記の金額になっております。

(質問) 木田 監事

財政規則特別委員長の見解を教えてください。

(応答) 大野 副理事長

適応欄におきましては、計画の枚数を記載するという、認識をしております。

(質問) 木田 監事

財政規則特別委員長の見解をお聞かせ下さい。決算書の適応欄には、決算額、使用した枚数を記載するのが通例ですが、このままでよろしいでしょうか。

議長判断により休憩

休憩時間 5分 19:25~19:30

(応答) 大野 副理事長

資料訂正をお願い致します。

(資料訂正) 大野 副理事長

5ページ 決算書支出明細書適応欄

(誤) 礼状用はがき@63×93 枚

(正) 礼状用はがき@63×62 枚

5ページ 決算書支出明細書適応欄

(誤) バラリボン用リボンタレ中@120×64 枚

(正) バラリボン用リボンタレ中@120×0 枚

5ページ 決算書支出明細書適応欄

(誤) 芳名帳@880×3 冊

(正) 芳名帳@880×0 冊

5ページ 決算書支出明細書適応欄

(誤) 筆耕代@110×64 枚

(正) 筆耕代@110×14 枚

(質問) 木田 監事

令状用はがきが63円×62枚ということで、62枚の根拠

を教えてください。

(応答) 大野 副理事長

来賓と特別会員を合わせた参加人数は59名となっております。そして、彦根市長が当日来られなかったため、代読で祝辞をいただき、市長にも送らせていただいております。合わせて実際は60名ですが、当日コロナ等で急遽欠席された方が2名いらっしゃいましたので、この様な形になりました。礼状用はがきは早く出すべきものと思っていましたので、事前に作成の方をしていたためこの様な結果になりました。

(質問) 木田 監事

コロナで欠席された2名の特別会員にもお礼状を出されたという認識でよろしかったですか。

(応答) 大野 副理事長

お礼状は出せていません。

(質問) 木田 監事

マリアージュで、飲食の費用が発生していると思うのですが、費用はしっかりと回収出来ていますか。

(応答) 大野 副理事長

回収は出来ております。

(意見) 木田 監事

その点も含めてお礼状を出す出さないをどうするのか、線引きをしっかりといただきまして、どの様な対応をされたのか議案書に記載されていると思っておりますが、急遽キャンセルをされた方に対しても、お礼状を出したという認識を持っていただいた方が良いと思っておりますので、よろしくお願い致します。

(質問) 中西 理事

実現と成果、実施上の問題点とに関わることですが、「各委員会が想いを発表する場で出席者の方に活動に対する理解を深めていただいた」というところが成果になっておりますが、実施上の問題点では、「シュプレヒコールが叫んでいるだけで聞き取れない場面がありました」という問題点があります。これは何か指摘があったということなのか、また「シュプレヒコールをしっかりと聞き取っていただく必要が」の部分が問題点なのか、私は想いが伝われば良いのかとも思いました。その辺りお聞かせください。

(応答) 大野 副理事長

こちらに関しましては特別会員の方から御指摘がございました。委員長の想いもシュプレヒコールなどの一連の流れを通して想いを伝えるべきだと思います。ただ、想いが伝わっていないわけではありませんので、この様な形で記載させていただきました。

(質問) 中西 理事

別の質問になりますが、例年出欠確認をして返って来ない特別会員の方に各委員長中心にメンバーが連絡していると思うのですが、連絡がつかない方や「もう連絡してこないでいいよ」と言われる方、御高齢で繋がらない方などの情報を各委員長がメモ等を残していると思うのですが、その様なことを取り纏めはされていますでしょうか。

(応答) 大野 副理事長

全体の取り纏めはしております。そちらは新年交流例会のファイルを作成させていただきますので、次年度以降参考にしていただければと思っております。

(意見) 中西 理事

毎年同じ方に同じ指摘をされているということが例年あると思っています。大野副理事長しっかりと纏められていると思いますが、事務局の方にも共有していただけると新年交流例会以外の、例えば今回の70周年の案内にも影響あると思いますので、是非共有していただけたらと思いました。

(質問) 夏原 理事

次年度への引継事項の三番目に「セレモニーが長いので来賓紹介を無くし短縮した方が良く」と意見がありました。臨機応変な計画を練り検討いただきたい」と書かれていますが、この様な式典では必ず来賓紹介があると思っています。どの様な状況だと短縮しても良いというのは、大野副理事長の中でありますでしょうか。

(応答) 大野 副理事長

例を挙げると今回の新年交流例会であれば乾杯までの時間が、参加された方が長いと感じられたので、その中で可能な限り参加していただいた方に、セレモニーが退屈にならない様に何か出題を検討するべきかと思いましたので、記載させていただきました。

(決定) 全会一致をもって承認

2号議案 新入会会員承認の件

(補足説明) 西川 副理事長

2023年度1月度仮入会会員の高橋君、藤本君二名の承認をいただきたいと思います。高橋君に関しましては1月、2月、3月の全ての例会に出席されております。藤本君に関しましては3月度例会に出席予定でしたが、急遽欠席となりました。しかし例会出席義務の方はクリアしております。そして、3月13日仮入会会員基礎研修を行い、その場で会員研修の参加を確認しました。御承認の程よろしくお願い致します。

上田 事務局長

両監事に投票用紙をご確認いただいた上、開票いたしました。只今より結果をご報告いたします。

出席理事数	12名	投票用紙総数	12枚
有効投票用紙数	12枚	有効投票総数	24票
無効票	0票	合計	24票

(報告) 木田 監事

ただいまの開票作業、適正かつ厳正に実施されたことを報告させていただきます。

(決定) 全会一致をもって承認

3号議案 5月度例会～大人の運動会～開催の件

(補足説明) 丸山 組織の輪確立委員長

彦根青年会議所が地域のリーダーとして団結し、活動を展開し続けるために、借り物競争、新聞紙リレー、馬飛びを經由して47人48脚をすることによって、メンバーが団結出来ると考えました。

(質問) 中西 理事

全体的に体を動かす楽しい例会なのかと思っておりますが、工夫と期待される効果の4つ目に「借り物競走をすることにより、互いを想いやり助け合う中で」と記載がありますが、借り物競争をする中でどの辺りが助け合いや想いやりに繋がるのか教えて下さい。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

委員会タイムの概要の借り物競争の部分を見ていただきたいのですが、お題を書いた紙を引いていただいて、メンバーの皆様にも物借りていただくということになっています。メンバーから物を借りるということは、例題にも記載されています様に昭和59年生まれのメンバーの靴下を借りるや、MサイズのJ Cポロシャツを借りるなどの内容にしようと考えています。例えば「中西理事J Cポロシャツサイズいくつですか」などの会話が生まれると思います。その中で貸すか、貸さないかは聞かれた人の問題になってきますが、そこで仲間を助けるために貸そうなども生まれると思いますので、その様なことで互いを想いやり助け合うとなっております。

(意見) 中西 理事

理解しました。ただ、J Cメンバーで普段から顔見知りのメンバーが行いますので、例えば先程の例題を引いて「貸さない」とはならないと思います。なので、この内容で助けあってより一層という風にはならないと思いましたが、委員長の出題も理解しましたので大丈夫です。

(質問) 夏原 理事

目的と意義の部分に「真の友情」と書かれていますが、丸山委員長の中で真の友情とは何でしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

真のという言葉には嘘偽りのないという意味になりますが、嘘偽りのない友情とはどのような意味になるのかと思います。私の考える真の友情とは、この例会を通して皆で体を動かして、最後に47人48脚をして全員でゴールを目指し、全員で目標を成し遂げることで結果として本物のことだと思えます。この例会を通してメンバー全員でしたことは本物のことだと思えますので、それで生まれたものが真の友情だと考えています。

(意見) 夏原 理事

そうですね。一緒に体を動かすことでその様な友情なども生まれてくると思います。非常に面白そうな例会だと思えますので、是非友情を育める様な例会にさせていただきたいと思えます。

(質問) 中西 理事

工夫と期待される効果の一番下ですが、こちらの内容をもう少しご説明いただければと思います

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

団結することを目的とした例会ですので、スタートから全員で団結というのは、順序を飛ばしすぎかと思いました。全体的に通して2グループに分かれ、最終的に2グループを1つにして団結するというイメージをしております。Aグループ、Bグループで結束力を高め、最後に全員で47人48脚に取り組むことによって、最後に全体での纏まりが発揮され、強い絆を育むと考えております。

(意見) 中西 理事

理解しました。ありがとうございます。

(質問) 藤井 理事

実施日時の日にとちと時間を何故こうされたのか教えて下さい。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

5月6日はゴールデンウィークで集まるのか疑問に思いましたので5月6日と5月8日で聞き取り調査を行ったところ、人数がどちらも変わりませんでした。なので、元々6日が例会の定例日時ということもあり、皆様も6日が例会という認識も強いかと思いましたので6日にさせていただきました。時間ですが会場の予算の兼ね合いもありますのでこの時間にさせていただきました。

(質問) 藤井 理事

会場の時間が18時までで等そういったことでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

会場を借りている時間は19時までとなっております。後片付けや47人48脚をして全員でゴールを目指すまで終わらないということで1時間半程、会場の時間を多く見て予約しております。

(質問) 藤井 理事

豊郷町民体育館を選んでおられますが、選定理由にも書いてある様に予算の兼ね合いもあると思います。他にどこか検討された場所があれば教えて下さい。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

プロシードアリーナや秦荘町民体育館、B&G海洋センターなどの2市4町にあるほとんどの体育館に連絡はいたしました

が、何故その中でここにしかと言いますと、始めに彦根青年会議所とお伝えしても知っていただけていませんでした。過去にB&G海洋センターは使用されていたので知っていただけていました。選ばせていただきました会場はお話をしに行きましても「商工会議所の青年部さんですよ」と、言われてしまっていて、今後私たちの組織を知っていただくという意味でも今まで使用したことがない場所を使用して、知っていただきたいというところで選定させていただきました。

(質問) 藤井 理事

愛荘町の体育館ですと、夜の8時から10時ぐらいまで開いているみたいですね。そこですともう少し遅めの時間から開催出来て参加率も上がるかと思うのですが、どう思われますか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

僕の考えといたしましては、遅い時間にすると家族の時間等の影響もあるかと思いましたが、遅くなりすぎず早くなりすぎずこの時間を選定しました。

(質問) 藤井 理事

聞き取り調査時に時間の確認をしましたか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

時間の確認はしていません。時間の方は会場との都合もありましたので、聞き取り調査をしても確実にその時間に出来るかがわかりませんでしたので出来ていませんでした。

(質問) 藤井 理事

聞き取り調査はいつされましたか。行動計画に記載されていませんが。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

行動計画に記載出来ていないのは申し訳ありません。聞き取り調査は2月15日から2月17日の3日間で聞き取り調査を行いました。

(質問) 藤井 理事

聞き取り調査の時にメンバーに参加出来る時間帯等も聞いてもらえると思います。僕は5月6日仕事で都合が悪くて断りましたが、その時に夜に行うと言ってもらえれば参加出来たかと思えます。それから、会場を決めていただいても良かったかと思えます。その辺り委員会でどの様に検討された

のか教えて下さい。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

時間の聞き取り調査が出来ていないのは申し訳ありません。8日ですと平日ということで、19時からの開催になってしまっていますが、ゴールデンウィーク終わりということもありまして、社業の方も忙しくなり、設営する立場といたしましてはなかなか昼間から設営のために社業を抜けられないメンバーがいます。準備が出来るのかという部分に対して、設営出来ませんでしたでは済まされないと思いましたが、5月6日は休みのメンバーも多く、昼からでも設営出来ると言っていたので、この時間にさせていただきました。

(意見) 藤井 理事

わかりました。ありがとうございます。

(質問) 北川 理事

馬飛びと47人48脚の選定理由で、辛い思いを仲間と経験してより一層友情、絆が深まるとありますが、何故こちらどちらも辛い思いをする必要があるのか理由を教えてください。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

馬飛びの段階ではA、Bチームに分かれていただいております。チームごとによる辛い思いという意味です。47人48脚では全員で辛い思いをして、更にその上で、メンバー全員で目標を達成することにより、辛いことをしてゴールをした喜びというのはとても大きいものだと考えております。

(質問) 北川 理事

この借物競争などは勝ったチームは何かがあったり、負けたチームは罰ゲームをしたりということは考えておられますか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

今回の例会では「負けたから」や、「勝ったから」というよりも団結を目標としていますので、その様なことは考えておりません。

(質問) 北川 理事

そうするとアンケートの新聞紙リレーにおきまして、「チームのために責任感を持って走ることが出来ましたか」とありますが、勝敗等がないのであれば責任感も出てこないと思うので

すが、どの様にお考えでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

勝敗はつきますが、勝敗があるから罰ゲームがいるかということについて僕はその様に考えていません。単純にチームでAチームであれば、Bチームに勝つために頑張ろうというのが、チームで頑張る目的でありまして、罰ゲームを避けたいから取り組んでいただくということは、僕の中では違いましたのでその様な意味では考えておりません。

(意見) 北川 理事

委員長の想いはわかりました。ただ、参加したメンバーに楽しんでもらえるような出題も考えていただければと思います。

(質問) 上田 理事

アジェンダを見ていると終了時間が17時29分となっています。これは全ての競技が17時29分で終了するというところでよろしかったですか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

その認識で大丈夫です。

(質問) 上田 理事

47人48脚は実際にゴールするまで行くと記載されていますが、17時29分を超えてからも行うということでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

その認識で大丈夫です。47人48脚の時間には何回か出来ることを想定しての時間設定になっていますが、時間は多少前後する場合がございます。

(質問) 上田 理事

だいたい何回ぐらいで走り切れると想定されていますか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

だいたい5回を想定しております。

(質問) 上田 理事

5回を超えてまだ走り切れない場合は、18時30分まで延長するというところでよろしかったですか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

その認識で大丈夫です。

(意見) 上田 理事

はい、理解しました。ありがとうございます。

(質問) 藤井 理事

今の47人48脚のところ、「達成出来ていなかった場合は続きから再開してゴールを目指していただきます」この部分を詳しく教えて下さい。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

会場の時間の都合上18時30分までとなってしまうので、途中10M付近で失敗してしまったとなれば、その場合10M地点から再スタートという形になります。

(質問) 藤井 理事

達成出来なかったら途中からもう一度スタートしてゴールをするということですね。それをして、47人48脚の意味や達成感などはないのかと思うのですがどうでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

そうになってしまうのは18時30分までということで、1時間延長するとその様になってしまうのですが、1時間延長というのは相当辛いと思います。長い時間になるとも思います。そこまでメンバー全員でゴールに向かって努力して行ったといことは本物の思いだと思います。メンバーで向かって行ったという思いがあれば、それは団結だと言えるのではないかと僕は考えていました。

(質問) 藤井 理事

時間が来たら途中からスタートして、ゴールするという説明は最初にメンバーの皆様にはされるのでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

説明はしないでおこうと考えています。何故かと言いますと気持ちが悪くなる可能性も考えられるので、ここは時間が近づいてきた時に説明をしようと考えております。

(質問) 藤井 理事

大野副理事長が委員長の時にされました大縄跳びですが、あれは出来るまで終わらない内容でした。飛べるまで終わらせ

んということで、メンバーで一生懸命にやり、飛びきった時は凄く達成感でした。時間に縛られて出来なければ妥協とは思いませんが、込み上げる気持ちは無いのではないかと思いますのでいかがでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

今回は団結をする目的の例会でありますので、メンバーでゴールをして喜びを分かち合うのでは、趣旨が変わってきます。ゴールに向かってメンバーと頑張る、頑張って団結する姿勢が一番重要なのだと僕は考えております。

(質問) 藤井 理事

それでしたら最初から途中で止まっても、続けてスタートでゴールまで行く方が時間配分なども良いと思いますがいかがでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

始めから再スタートというやり方をしてしまうと、極端な話ですが一人がふざけてこけて再スタートを繰り返された場合、ダラダラとゴールして終わりといった風になってしまうと思います。それは例会としては相応しくないと考えておりますので、この様にしております。

(質問) 藤井 理事

僕は議案を見ていますので内容がわかるのですが、その様にするのであれば時間が来ればゴールは出来るものと思ってしまう。その辺りどうでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

時間に関しましては体育館を借りていますので遅い時間まで借りることが出来ても絶対にどこかで時間の区切りというものを出てくると思います。僕が聞いた中で2市4町の体育館では22時が最大でした。絶対に時間には終わりがありますので、その時間の部分というのは仕方ないのかなと思います。

(質問) 藤井 理事

仕方ないで終わってしまうと、何もかも終わってしまうと思います。47人48脚の時間配分等のデータなどは何かありますか。25M走り切のにどれぐらいで出来るのかなどの。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

47人には程遠いですが、委員会メンバーで検証した結果と

しましては25M行くのに1分かかりました。1分×5回をする想定をしております。途中で失敗してスタート位置に戻るインターバルの時間を5分と考えていまして、時間の終わりがあるので仕方ないとは言いましたが、仕方ないで終わらない様に時間に終わりがあるので時間内にメンバーでゴールをしようとする団結が生まれると思います。時間内に皆でゴールをしようという気持ちが生まれるのではないかと考えております。

(質問) 藤井 理事

それでしたら、スタートからゴールまで通して走ることが終わりだと思います。途中から再スタートに変えるなどはしない方が良いと思います。メンバーに説明をしないと言っていたが、もし聞かれた場合は説明されるのですか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

再スタートはギリギリまで伝えないでおこうと思っております。再スタートというのを考えてほしくはありません。全員でスタートからゴールまで走り切ることによって喜びが出来ると思っております。失敗すればするほど皆疲れてくると思います。疲れてきた中でゴールしても皆で頑張ったなという様な団結力が生まれるのではないかと考えております。

(意見) 藤井 理事

当日、ゴール出来ることを祈っておきます。

(質問) 北川 理事

先程の答弁で団結することが開催趣旨と言われていたのですが、47人48脚の選定理由にも「ゴールした喜びを分かち合うことで」とも書かれています。本年度の工夫と期待される効果の中の「47人48脚を走り切ることににより」とも書かれていますので、どれだけ時間が掛かっても最後までやるべきだと思いますがいかがでしょうか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

最後までやるのですが、会場の時間等もありますので18時30分というのがギリギリの時間となっております。

(意見) 北川 理事

会場のこともありますが、外でも出来ると思います。2021年の大野副理事長の例会でも外に出てやろうなどの話も出ていましたのでその辺りの検討もお願いしたいと思います。

(質問) 夏原 理事

この議案全体で想いやるという言葉を所々使用されていますが、参考資料2の選定理由での「思い遣って」と、違う漢字が使われていますが何か意図があって使われていますか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

資料訂正をお願いします。

(意見) 北川 理事

資料訂正されるのであればアンケートの9も「本会員研修」となっておりますので、例会のアンケートの感想に訂正して下さい。

(資料訂正) 丸山 組織の輪確立委員長

14ページ 5月度例会～大人の運動会～アンケート9

(誤) 本会員研修

(正) 本例会

16ページ 参考資料—2

(誤) 思い遣って

(正) 想い遣って

(質問) 夏原 理事

先程資料訂正をいただいたところですが、想像の想と想いの思の意味の違いは何か調べられてことはありますか。

(応答) 丸山 組織の輪確立委員長

資料訂正前の漢字は自分に対しての思いが掛かっていて、想いは他人に対して掛かってくる想いという風に意味の違いがありますので、今回は他人に掛かってくる想いを使用しました。

(意見) 夏原 理事

その様な想いがあるのであれば、しっかりと細かい所まで見て議案を作っていたらいいと思います。もう一つ意見でいいのですが、議案全体としまして日本語がおかしい所が多いのかなと思います。例えば参考資料—4の選定理由の「今以上に絆が芽生えて団結し今以上に絆が生まれると考えました。」同じことが二回書かれているので、その様なところも委員会の中で担当理事にしっかりと確認していただいて直していただきたいと思っています。担当理事が忙しくて見られない場合は他の理事でも見ていただけたらと思いますので、そういった相談は色々して

いただきまして、この議案は今後も残り色々な方が見られますので丁寧に作っていただきたいと思っています。

(決定) 全会一致をもって承認

4号議案 5月臨時総会開催の件

(補足説明) 澤田 総務広報委員長

5月臨時総会におきまして、彦根青年会議所定款第4章第31条及び第32条、役員選任の方法に関する規則第2章第3条の定めに従い、公益社団法人彦根青年会議所の2024年度理事長候補者・監事候補者選考委員の選挙を実施するために、定款第3章第23条の定めに基づき、臨時総会を開催させていただきたいと思っています。

(質問) 園 理事

工夫と期待される効果などに出席率向上のことを一番に書かれています。過去5年のパーセンテージが書かれています。5月の総会では何パーセントを目指していますか。

(応答) 澤田 総務広報委員長

目標は100パーセント行きたいのですが、過去5年間では一番高い出席率を目指して参加を促していきたいと思っています。

(質問) 園 理事

もちろん100パーセントを目指すべきだと思います。普段来られていないメンバーに対してもし電話に出なかった場合やメーリングリストにもいない場合などはどの様にされますか。

(応答) 澤田 総務広報委員長

電話を何回も掛けるという形でいきたいと思っています。

(質問) 園 理事

それでも電話に出なければどうしますか。どうやって100パーセントを目指しますか。

(応答) 澤田 総務広報委員長

電話に出られない理由がよく分かりませんが、根気強く電話するしかないのかなと思います。なかなか会社に行くのは失礼だと考えています。

(質問) 園 理事

何故会社に行かないのですか、僕は会社に行き「絶対に来てください。」と、委員長の想いを伝える方が100パーセントに繋がるかなと思うのですが、そこまでしないと意味や理由はありますか。

(応答) 澤田 総務広報委員長

基本的に電話は出ると思いますのと、折り返しも仕事で忘れていた場合もありますが、もう一度掛ければ出てもらえると思っています。本当に出られない方につきましては事情があるのかなと思います。基本的に私から電話を掛けさせていただいて電話には出て下さっています。長期来られてない方、委員会メンバーにも多いのですが、電話は繋がる認識ですので、今のところ全く電話が繋がらない方はいらっしゃらないという認識をしております。

(意見) 園 理事

総会が一番大事な会議ですので、参加率向上と書かれていますので必ず参加率向上をして良い総会にして下さい。

(質問) 中西 理事

実施日時のところ5月10日と5月17日の予備日が設けてありますが、予備日というのは例年設けていらっしゃるのでしょうか。

(応答) 澤田 総務広報委員長

例えば人数が集まらなくて定足数が集まらない時のために一応予備日は設けていると思います。

(意見) 中西 理事

先程100パーセントを目指してと言っておられましたが、何か別の理由で予備日を設けているのかと思いました。出席のことにに関してだと、予備日を設けるよりも5月10日に必ず来ていただける様な取り組みをしていただいた方がいいのかなと思います。予備日を設けたからといって参加率が上がるのであればその日を元々書いていただいた方がいいのかなと思いました。後、予算総額の部分がなしになっていますのでこちらの方修正お願い致します。

(応答) 澤田 総務広報委員長

資料訂正をお願いします。

(資料訂正) 澤田 総務広報委員長

1ページ ③ (予算総額)

(誤) なし

(正) 10,000円

(質問) 北川 理事

選考委員被選挙人名簿をどのような基準で挙げられていますか。

(応答) 澤田 総務広報委員長

定款の中で入会されて投票の段階で1年以上経っている方が資格のある方ということで、今のメンバーの中では岡本君以外は対象になっているということです。後は五十音順に並べさせていただいております。

(質問) 北川 理事

被選挙人の名簿に該当しない方また、新入会の方達への説明をよろしくお願い致します。あと、僕の認識では理事長経験者は自然と名簿から外れて選考委員に選ばれていたと思いますが、それはどうでしょうか。

(応答) 澤田 総務広報委員長

資料訂正をお願いします。

(資料訂正) 澤田 総務広報委員長

7ページ 審議資料-2、6 北村 忠征
削除

8ページ 審議資料-3 北村 忠征
削除

(質問) 木田 監事

アジェンダの審議事項第1号議案周年事業積立資産本会計への繰り入れという議案名を記載されて意図をお聞かせ下さい。

(応答) 夏原 専務理事

周年事業積立資産本会計への繰り入れですが、周年積立金ですが200万円の資産があるのを総会に上程させていただくために記載しています。名称としましては10年前の60周年の時に習い、同じ様に挙げさせていただいております。

(意見) 木田 監事

10年前のことを例に出して記載されているのかなと思いますが、毎年全体の収支決算書を挙げる中で周年事業積立資産という風に記載があります。そこに200万円という積立をされています。それを繰り入れするからこの様な議案名になるのだと理解はしておりますので、しっかりとその辺りもふまえてご答弁いただきたいかったです。あと、これを5月の臨時総会に上程をするということは、この積立金関係の規則に書いている内容でいくと、5月の総会までに理事会において用途の目的、金額等について審議し、総会の決議を得なければならないという周年関連事業積立金規則と周年記念事業積立金規則の運用に記載がされていますので、5月の臨時総会に挙げるということは周年関係の議案は4月の理事会で審議を得るという形になるかと思っておりますので、その辺りもふまえて上程を進めていただければと思います。

(意見) 宮川 監事

今の話の続きになりますが、本会計繰り入れと書いてありますが、そもそも当初の予算の中に周年積立金が200万円入っている状態ですので、この議案の意図は繰り入れることではなくて資産を切り崩すということだという風に私は認識しています。なので、議案名は繰り入れではなくて切り崩しという形でしていただければいいのかなと思います。このままですと少し意図が違うのかと思います。実際に本会計に入れますがすでに本会計の中にも入っている状態、予算にも挙がっている状態ですのでこれは繰り入れではなく切り崩しという形で進めていただければと思います

(応答) 澤田 総務広報委員長

資料訂正をお願いします。

(資料訂正) 澤田 総務広報委員長

2ページ ⑦(事業概要)アジェンダ

(誤) 周年事業積立資産本会計への繰り入れ

(正) 周年事業積立資産本会計への切り崩し

(決定) 全会一致をもって承認

議長判断により休憩

休憩時間 10分 20:45~20:55

(報告) 上田 事務局長

オブザーバーの北川 真衣君が退席されます。出席理事数に変更はございません。

5号議案 写生大会2023~Go To彦根城~開催の件

(補足説明) 西村 地域共創委員長

彦根オリジナルを体感する事業として彦根城一帯で写生大会を行います。付帯事業として近隣の小学校に彦根城世界遺産登録をPRするロゴマークを貼り絵で作成していただき、彦根城の魅力を一目で分かる作品を創りあげていただくことにより、ひこねのシンボルである彦根城の価値と魅力を体感していただきます。そしてこのまちに更に愛郷心を育み誇りを持つ契機にしたいと考えます。

(質問) 園 理事

何故、写生大会するのですか。

(応答) 西村 地域共創委員長

写生大会は1968年から例年されている事業です。このまちの魅力を体感していただける素晴らしい事業ですので本年度も開催させていただきます。

(質問) 園 理事

付帯事業の貼り絵のところで、小学校にさせていただくと思うのですが、配布先の小学校をお教えください。

(応答) 西村 地域共創委員長

新年度の事業になりますので確定のお返事はいただけておりませんが、協力していただける小学校は選定してあります。平田小学校、佐和山小学校、金城小学校、城西小学校、城東小学校、旭日の森小学校、城北小学校、鳥居本小学校、城陽小学校からご協力の返事をいただいております。

(質問) 園 理事

分かっているのであれば記載されていない理由をお教えください。

(応答) 西村 地域共創委員長

確定での返事が出来ないということで記載をしております。

(質問) 園 理事

全て断られた場合は付帯事業が出来ないということですか。

(応答) 西村 地域共創委員長

次年度への引継ぎ事項として取り扱われますので、余程のことがない限り参加できないということはないそうですので大丈夫です。

(質問) 園 理事

これは小学校何年生を対象にされておりますか。

(応答) 西村 地域共創委員長

指定はございません。学校によってスケジュールがございましたので協力しやすい学年を各小学校に決定していただきます。

(質問) 園 理事

貼り絵は学校に丸投げですか。

(応答) 西村 地域共創委員長

丸投げではなく学校長にご説明し、作成に必要なモノは委員会 で用意し作品を作成していただき回収します。

(質問) 園 理事

材料を渡して丸投げですね。委員会として学校と日程調整をして貼り絵をしないのかを聞きたいです。

(応答) 西村 地域共創委員長

丸投げという風になっていますが、学校のスケジュールの調整がありまして現状お答えできないそうです。委員会活動として作品の運搬と回収、作品の合体を委員会で行います。

(質問) 園 理事

学校には行かないのですか。

(応答) 西村 地域共創委員長

現状、行ってやるとなると活動時間が委員会メンバーの都合に合わせて小学校に協力していただくことになるので、作成が追い付かない等の不都合が出る恐れがございます。そのため現

状は考えておりません。

(意見) 園 理事

学校の都合に合わせて委員長だけ若しくは副委員長だけで行くなどを考えてください。

(質問) 園 理事

サイズはどれぐらいですか。

(応答) 西村 地域共創委員長

直径1800mmの絵を1/9で分けた大きさになります。

(質問) 園 理事

わかりました。糊が9個ですが足りるですか。

(応答) 西村 地域共創委員長

委員会で作成した結果では足りる。

(質問) 上田 理事

予算書を確認していますと看護師食事代とありますが、看護師はおられるのですか。

(応答) 西村 地域共創委員長

看護師の手配はしております。

(質問) 上田 理事

会場レイアウトを見ていると看護師の配置が見当たらないのですが看護師の方はどちらに待機されますか。

(応答) 西村 地域共創委員長

大会本部で待機していただきます。

(質問) 上田 理事

昨年は天守で体調が悪くなった方がおられました。その際看護師の方が本部におられ、対応の際に入れ違いがありました。天守で怪我された方や体調不良の方が出た場合にどのように対処されますか。

(応答) 西村 地域共創委員長

各地に委員会メンバーを配置して入れ違いのないようにします。

(質問) 上田 理事

天守で怪我人が出た場合は例を挙げるとどの様に対応しますか。

(応答) 西村 地域共創委員長

看護師の指示で、委員会メンバーに動いていただき看護師が必要な場合は看護師の方に動いてもらいます。

(意見) 上田 理事

わかりました。その辺りをしっかりとシミュレーションしていただきたいと思います。

(質問) 夏原 理事

表彰式について、土足禁止の場所ですが対策等は考えておられますか。

議長判断により休憩

休憩時間 10分 21:14~21:26

(資料訂正) 西村 地域共創委員長

審議資料 写生大会2023~G.O.T.彦根城~開催の件
22ページ 審議資料-6

(追記) 土足厳禁ですのでスリッパなどのご用意をよろしく願います。

(質問) 園 理事

審議資料-5の宝箱は何ですか。

(資料訂正) 西村 地域共創委員長

審議資料 写生大会2023~G.O.T.彦根城~開催の件
22ページ 審議資料-5

(誤) 天守宝箱巡回監視、月見台宝箱巡回監視

(正) 天守巡回監視、月見台巡回監視

(質問) 宮川 監事

優秀賞の対象者は何名になりますか。

(応答) 西村 地域共創委員長

27名です。

(質問) 宮川 監事

27名だと訂正等多々あると思いますが、予算の通信費、優秀賞が26枚であがってます。入選、佳作の数の変更をしなければならぬと思います。確認をお願いします。

議長判断により休憩

休憩時間 10分 21:30~21:40

議長

5号議案 写生大会2023~G.O.T.彦根城~開催の件
を一時中断し協議事項の後に回します。

1. 協議事項

1号議案 創立70周年記念祝賀懇親会開催の件

(補足説明) 中西 懇親部会長

前回の理事会でいただいた意見を踏まえて主にアジェンダの部分を変更させていただきました。ソーラン節を懇親会の半ばに持つてくることで余裕をもって設営できると考え変更しております。

(質問) 北川 理事

ソーラン節についてですが、歓談中にされるということですがペルテフォーリアのメンバーの配置はどのようになりますか。

(応答) 中西 懇親部会長

マリアージュで踊ろうと思っておりますので、第二会場のペルテフォーリアのメンバーの方々には移動していただき、参加していただこうと考えております。

(質問) 上田 理事

アジェンダを見ていますと、マリアージュの方は19時40分歓談再開、20時47分若い我らとありますが1時間歓談ということでしょうか。

(応答) 中西 懇親部会長

第二会場のお見送りを残しておりますので歓談が長くなっております。

(意見) 上田 理事

一時間の歓談ですと長くて間延びしてしまうと思いますので、ムービーを流すなどの余興があっても良のかと思います。検討してみてください。

(質問) 宮川 監事

マリアージュのみで会場を賄える場合キャンセル料はいつからかかりますか。

(応答) 中西 懇親部会長

1ヶ月前にキャンセル料がかかります。期日に余裕はございます。

2号議案 創立70周年記念式典開催の件

(補足説明) 夏原 式典部会長

前回の理事会でいただいた意見に対応させていただきました。前回使い捨てのスリッパを使おうと考えておりましたが、レンタルに変更します。椅子については現地のモノを使用します。スポンサーLOMへの記念品については理事長に手作りしていただこうと思います。靴の取り扱いですが不織布性のトートバッグに変更します。式典で配布する袋についてですが、ロゴマークだけでなくQRコードを追加しました。会場の駐車場についてですが、式典当日までに完成しない可能性がございますので、代わりにパナソニックの駐車場をお借りすることとなりました。集合していただいてバスを借りて送迎します。

(意見) 宮川 監事

記念誌用のポリ袋があってトートバックがあって靴を入れるポリ袋の3種類の袋まで用意する必要があるのか。記念誌用のポリ袋若しくはトートバックを削除するのはどうか。記念誌用の袋は原価が高いのでご検討いただければと思います。式の次第についてですが記念誌の中に書かれているのもよく見ますので、別に用意する必要があるのか疑問です。記念誌に次第を入れられるのであれば無くしてもいいと思います。

3号議案 70周年記念誌作成の件

(補足説明) 澤井 70周年実行特別委員長

彦根青年会議所創立70周年を記念し、周年誌を作成したいと思います。創立60周年は1953年から2013年まで年表として記載しておりましたが、70周年では歴代理事長の顔写真と共に役員名簿や年間事業を記載しより歴史を感じていただきたいと思います。

(質問) 木田 監事

対外通信費86円はゆうメールのことでしょうか。

(応答) 澤井 70周年実行特別委員長

ゆうメールの金額です。

(質問) 木田 監事

ゆうメールは重さ関係なしでこの料金で大丈夫ということでしょうか。

(応答) 澤井 70周年実行特別委員長

500グラム以下の金額です。

(質問) 木田 監事

周年誌は500グラム以下になるという確認は取れていますか。

(応答) 澤井 70周年実行特別委員長

10年前の周年誌が50ページあり、重さを量ったところ213グラムでしたので500グラム以下になります。

(意見) 木田 監事

60周年時の素材やインクによって重さは変わってきますのでしっかり確認をお願いします。

(質問) 園 理事

ご祝辞をいただくことかと思いますが文字数などは決まっておりますか。

(応答) 澤井 70周年実行特別委員長

だいたい同じ文字数で考えております。

議長判断により休憩

休憩時間 5分 22:25~22:30

(質問) 園 理事

何文字で考えておられますか。

(応答) 澤井 70周年実行特別委員長

300～350文字で考えております。

(意見) 園 理事

一人だけ多くなったりしないようしっかりお願いしたいと思えます。

(質問) 宮川 監事

郵送の数量はどれを積み上げた数字になるのでしょうか。

(応答) 澤井 70周年実行特別委員長

式典にお越しいただいた方にお渡ししますので、60周年時の数から計算して473という数字になっております。

(意見) 宮川 監事

おっしゃる通りだと思います。非常に難しいと思います。お越しになられない方には送らざるをえませんので、予算が大幅に変わる可能性がございますので見込みで最大限の数字を入れてもいいと思います。関係団体の80箇所過去にお世話になった団体や企業を選定しているということで選定理由として問題はないと思いますが様々な団体を検討してもいいと思います。

(質問) 園 理事

理事長と会頭の対談の日程はアポ取りできてますか。

(応答) 澤井 70周年実行特別委員長

アポ取りはできていますが、日程は決まっていない状態です。会頭が近畿方面にお越しになった際対談をする話にはなっています。

(質問) 園 理事

会頭が大阪にいれば大阪に行って対談するということでしょうか。

(応答) 澤井 70周年実行特別委員長

はい。

(質問) 宮川 監事

内容についてですが1953年から2011年の歩みは何か参考にされたものはありますか。

(応答) 澤井 70周年実行特別委員長

他LOMの周年誌を参考にしました。

(意見) 宮川 監事

そうですね。60周年の周年誌はここまで詳細に書かれていないと思います。もう少し簡素なものだったと思います。考慮していただければと思います。

(質問) 上田 理事

予算書の通信費で86円とありますが周年誌の発送費ですか。

(応答) 澤井 70周年実行特別委員長

発送費です。

(質問) 上田 理事

本年度のハンドブックの発送費は95円でしたが、86円でお間違えないでしょうか。

(応答) 澤井 70周年実行特別委員長

次回までにしっかり調べておきます。

(意見) 上田 理事

はい。よろしく願いいたします。

(質問) 木田 監事

周年誌の予備が65冊が妥当なのかどうかわかりかねますが、65にされた理由をお聞かせください。

(応答) 澤井 70周年実行特別委員長

10年前を参考にしました。

(質問) 木田 監事

今の事務局にどれだけ冊子が余っているのか調べましたか。

(応答) 澤井 70周年実行特別委員長

おそらくもっと余っているかと思えます。

(意見) 木田 監事

であれば減らしても良いと思います。データでの作成、データはいただけますか。データでの活用方法を考えていただければと思います。

(質問) 木田 監事

メンバーの顔写真が載りますが、古い写真の方もおられます。取り直しはお考えでしょうか。

(応答) 澤井 70周年実行特別委員長

取り直した方が良いと思います。

(意見) 木田 監事

是非とも橋本理事長の写真は文教スタジオで撮らせていただいております。

5号議案 写生大会2023～G o T o彦根城～開催の件

(資料訂正) 西村 地域共創委員長

審議資料 写生大会2023～G o T o彦根城～開催の件
2ページ 予算総額

(誤) 342, 505

(正) 342, 568

審議資料 写生大会2023～G o T o彦根城～開催の件
2ページ 参加動員計画

(誤) ボランティア18名

(正) ボランティア15名

審議資料 写生大会2023～G o T o彦根城～開催の件
6ページ 表-1.

(誤) 優秀賞園児3計26

入選一般5計34

(正) 優秀賞園児4名計27

入選一般4計33

審議資料 写生大会2023～G o T o彦根城～開催の件
10ページ 事業計画収支予算書

(誤) 本会計からの繰入金117, 505

収入計342, 505

通信費12, 494

支出計342, 505

(正) 本会計からの繰入金117, 568

収入計342, 568

通信費12, 557

支出計342, 568

審議資料 写生大会2023～G o T o彦根城～開催の件
12ページ 支出明細書 10. 通信費

(誤) 往復はがき(優秀賞) 通知送付@126×26枚
3, 276円

はがき(入選、佳作) 通知送付@63×74枚

4, 662円

小計12, 494円

合計342, 205円

(正) 往復はがき(優秀賞) 通知送付@126×27枚
3, 402円

はがき(入選、佳作) 通知送付@63×73枚

4, 599円

小計12, 557円

合計342, 568円

(質問) 園 理事

Instagram 広告で趣旨には作品展示のことを書かれておりますが。工夫と期待される効果では事業への参加を促す一助になるとあります。どういふことですか。

(応答) 西村 地域共創委員長

作品展示も事業の一環と考えておりますので事業と記載しております。

(質問) 園 理事

作品展示の時に人数の集計を取るといふことですか。増加したか分かるのでしょうか。

(応答) 西村 地域共創委員長

例年の参加者の人数が集計しておりませんので増加したか調査は出来かねます。

(質問) 園 理事

参加の増加を促すとありますが、何を基準に検証されますか。

(質問) 園 理事

参考資料か何かをつけていただかないと、5,000円の使い道がわかりません。

(延長動議) 夏原 専務理事

定刻の23時となりましたが24時までの延長をお願いいたします。

議長判断により24時までの延長 承認

議長判断により休憩

休憩時間 5分 23:10~23:15

(応答) 西村 地域共創委員長

もう一度質問をお願いいたします。

(応答) 大野 副理事長候補者

写生大会の議案ですが、取り下げとさせていただきます。

(質問) 園 理事

広告を使って作品展示の参加者を増やすとありますが、どのように検証されますか。

(質問) 宮川 監事

チラシに関して画用紙先着1,000名に無料配布とありますが例年記載されていません。何か意図はございますか。

(応答) 西村 地域共創委員長

基準がわかりません

(応答) 西村 地域共創委員長

参加費無料とありますが1,000名以上の画用紙がございませんので1,000名までの無料配布と記載しております。

(質問) 園 理事

増加したかどうかわからないのであれば、何を基準に増加を促すのですか。

(質問) 宮川 監事

毎年協賛で画用紙を貰っていたと思いますが、今年度はないのですか。

(応答) 西村 地域共創委員長

チラシやWEBページだけで周知出来なかった方々にInstagramを見ていただき増加を促す一助になると考えます。

(応答) 西村 地域共創委員長

例年通り協賛でいただいております。

(質問) 園 理事

予算をかけて増加したかどうかわからないことをするということですか。検証ができないのであればする必要はないと思います。写生大会の広告として予算をかけるのであれば理解は出来ます。

(質問) 園 理事

チラシにQRコードがありますので、下のWEBサイトやInstagramを削除してもいいと思います。QRコードからTwitterに繋がらないので総務広報委員会と協力して繋がるようにしてください。

(応答) 西村 地域共創委員長

写生大会の広告としては総務広報委員会でInstagramの広告を打ち出してもらいます。

(応答) 西村 地域共創委員長

URLのことでしょうか。

(質問) 園 理事

写生大会は自分の事業ではないのですか。

(意見) 園 理事

QRコードで全て繋がるのであれば記載の必要はないと思います。Twitterのリンクがないので追加してください。

(応答) 西村 地域共創委員長

表彰式や作品展示は地域共創委員会で広告を打ち出します。

(意見) 木田 監事

後援の順番が気になりますので確認をお願いします。裏面のプロシードアリーナの正式名称を記載してください。

(意見) 園 理事

駐車場の地図を詳細なものに変更してください。

(質問) 木田 監事

チラシの裏面、中止が決定した場合は議案書に時間の記載はございますか。

(応答) 西村 地域共創委員長

議案書に記載しております。

(意見) 木田 監事

チラシにも記載をお願いします。事業で撮った写真の使用についても記載をお願いします。

(質問) 夏原 理事

作品入りマフラータオルは表彰者全員に渡されますか。

(応答) 西村 地域共創委員長

佳作以上ですので入選と優秀賞のみですので表彰者全員には渡しません。

(決定) 取り下げ

1. 依頼事項

夏原 専務理事

次回理事会につきましては、本日取り下げとなった議案書を臨時理事会という形で開催させていただきたいと思っております。臨時理事会については、後ほど上田事務局長からご連絡させていただきます。

澤田 総務広報委員長

本日、5月臨時総会の議案書をご審議し、承認していただきありがとうございます。できる限り早く皆様に告知させていただいて、参加率を高めたいと思っております。ここにいらっしゃる皆様は全員参加ということで、今から予定をしていただきたいと思います。

丸山 組織の輪確立委員長

本日、5月度例会「大人の運動会」をご審議、ご承認していただき、ありがとうございます。大変集まりにくい日程とはなりますが、皆様にとって実りある例会となるよう、委員会メンバー全員で設営したいと考えますので、皆様ご参加よろしくお

願いいたします。

西村 地域共創委員長

本日、5月度事業が取り下げとなりました。皆様のお時間を頂戴してすみません。次回臨時理事会にて再度上程させていただきますので、よろしく願いいたします。

澤井 副理事長

お疲れ様です。本日3つの議案書について協議していただきましてありがとうございました。次回理事会にてこの3議案を審議していただきます。もっと活発に部会を開催し、全員で創り上げる周年にしたいと思っておりますので、引き続きご参加の程よろしく願いいたします。そして4月6日木曜日19時より文教スタジオにて4月度例会を開催いたします。現役メンバーで迎える周年を創り上げるにあたって、大切な例会となりますので、ご参加の程よろしく願いいたします。

上田 事務局長

次回臨時理事会についてですが、3月30日の20時より開催にて予定させていただきたいと思っております。会場については追ってご連絡いたします。

(質問) 木田 監事

マスクの着用についてですが、3月13日から個人の判断に委ねるといった政府の方針が出されました。企業であれば「こういった場合はマスクを着用しなさい」という取り決めをされています。彦根青年会議所としてどうするのか、何か案があればお聞かせ下さい。

(応答) 夏原 専務理事

改めて執行部で相談させていただき、通達させていただきたいと思っておりますが、密になる状況ではマスクの着用を行った方が良く個人的には考えております。

(意見) 木田 監事

今日のような青年会議所の活動を行って、感染者が出たというようなことにならないようにだけ、しっかりと皆様に周知していただきたいと思います。

1. 監事講評

官川 監事

第4回理事会、長丁場でしたが、皆様お疲れ様でした。まず

は1号議案新年交流例会の報告ということで、大野副理事長お疲れさまでした。本年度はコロナ以降初めてのフルスペック開催となりました。来賓、特別会員共にこのようなご時世にも関わらず大変多くの皆様にご参加いただき、活気のある例会になったものと感じています。リハーサルから例会終了まで細かな反省点は見受けられたものの、概ね円滑であり、メンバーの皆さんが頼もしく感じられました。70周年の祝賀会を7月に控えた今、この経験は必ず活きると感じますし、出てきた課題は祝賀会でクリアにしなければならないと思います。担当された大野副理事長はきっとこの報告書に記載されていること以外にも、感じられたこと、経験されたことがたくさんあるはずで、中西理事も仰いましたが、是非この経験を祝賀会にフィードバックしてほしいと考えます。続きまして2号議案 新入会会員承認ということで、2名の新入会会員が承認されました。まずは西川副理事長おめでとうございます。仮入会会員も含めて言えることですが、本年度入会されたメンバーの皆さんを是非70周年に関わる事業の最前線に巻き込んで欲しいと思います。まだ入ったばかりの彼らにはきっと分からないことがたくさんあり、そもそも何をやっているのかもわからない状態のはずです。理事会構成メンバーを始めとして、我々はこの先70周年に全力を注ぐでしょう。新入会会員、仮入会会員が置いてけぼりにならない工夫は必ず考えていただきたいと感じます。続きまして3号議案 5月度例会ということで丸山委員長お疲れ様でした。丸山委員長はきっとこの運動会をととてもやりたかったのだろうという気持ちが伝わる答弁だったと感じますが、理事の皆様から活発な意見が多く出たのを見ていてもわかるように、議案書の精度に関しては課題が残ると感じました。誤字や表現の間違いや説明が不足している点が多々あったと思いますので今後の議案作成には反省を踏まえて作成していただきたく思います。この議案に私が感じるの課題は1つです。ラジオ体操から始まり、47人48脚まで、メンバーが友情を育む、仲間意識を高揚させるという意図に対して、種目の内容に頼りすぎているということです。借り物競争をすれば仲間意識が高まるだろう、新聞紙リレーをすれば団結する大切さを感じられるだろう、これはもしかすると実際にやってみると非常に効果があるかもしれませんが、本日の上程時点では想像でしか語れません。理事の皆様も委員長の言葉を信じるしか判断をする術がありません。例えば過去に大野副理事長が委員長をされていた時に行った同様の事業では、チーム毎に作戦タイムを取って、どのようにすればその種目で勝つことができるのかを皆で話し合うという委員会の工夫がありました。種目の持つ魅力やチカラに頼るのではなく、委員会のもう一步踏み込んだ工

夫こそが目的の達成に必要なことだと思っています。これは運動会だけに限ったことではなく全ての事業に言えることです。委員会の工夫がどこにあるのか、それが見える事業構築を行なって欲しいと感じます。4号議案5月臨時総会ということで、澤田委員長お疲れさまでした。被選挙人名簿についての意見がありました。総会は定款や規則に則って進められて行くものです。万が一この被選挙人名簿のミスに気付かないまま選挙を行ってしまうと、最悪は総会のやり直しまであったかもしれない。例年通りだからと何となくで資料を作成するのは非常に危険な行為です。特に総会関連については十分に定款、規則を確認、把握した上で進めていただければと思います。続いて5号議案、写生大会ということで、西村委員長お疲れさまです。残念ながら取り下げとなりましたが議案作成の上で精査の甘さが至る所に見受けられ、予算書にもミスがあるとなればこれは致し方ない判断だと思います。臨時になるということなので数日しか猶予がありませんが、今回指摘を受けた部分はもとより、できる限りのブラッシュアップをお願いしたいと考えます。サッと見ただけでも誤字が目立ちます。次回上程時はツッコミどころのない議案となることを期待しています。そして協議事項3議案に関しましては関連議案ですので一括で講評いたします。まずは70周年実行委員会の皆様お疲れ様でした。いよいよ来月の理事会が審議上程になるということで、周年関連の議案構築も大詰めとなってきました。細かな部分は言い始めるとキリがないので部会等で指摘したいと思いますが、一点だけ、周年関連事業に関して大切なことは自分たちが何をしたいのかではなく、来賓を始めとする参加される方や関連団体、市民が青年会議所の周年事業に何を求めているのか、何を期待されているのかということです。自分たちのやりたいことを表現することも大事ではありますが、その視点は通常の事業で持っていただきたいです。自分たちのエゴで周年事業を構築すると、メンバーの素敵な思い出にはなるかもしれませんが、對外参加者の記憶にはきっと何も残らないはずで、約270万円も費やしてやるのが思い出作りにならないように、参加者の皆様の記憶に残る、インパクトのある事業構築を進めていただきたいと切に願います。我々のおもてなしとは何かということを変更して考えていただければと思います。締めになりますが、随分と春めいて来て、ついに彦根も桜の開花が宣言されました。観光都市彦根として、コロナが落ち着いてから初めての観光ハイシーズンを迎えます。既に彦根城周りでは多くの観光客を見かけます。観光都市としての側面が大きい彦根は、来訪者が多ければ多いほど、そういった季節にこそまちの魅力が見えてくる、一方でまちの課題も浮き彫りになって来るものだと感じます。

世界遺産登録推進の動きもいよいよ大詰めとなりつつある中、彦根は大きな時代のうねりの中で変わって行きます。また、変わろうとしています。まちが変化をしている、または変化が求められている中で、青年会議所が例年通りの、いつもと変わらない活動、運動をしていて良いわけがない。この70周年という節目はJCI彦根が大きく変わる最大のチャンスです。自分たちが求めること、まちに求められること、これらをしっかりと見据えて、進化の機会にさせていただきたいと思います。そのためにも周年関連事業まであと3ヶ月と僅か、妥協なく事業構築を進めていただけることをご期待申し上げまして監事講評といたします。

1. 閉会宣言・点鐘

事務局 長 上田 一八 君

理 事 長 橋本 一幾 君

理 事 長 橋本 一幾



監 事 木田 乃輔



監 事 宮川 佳典



公益社団法人 彦根青年会議所

2023年度 第5回理事会議事録

理事長 橋本 一幾



議事録作成人 事務局



日時 2023年 3月30日 (木) 20:00 ~ 20:50

場所 WEB

出席状況

出席：○ 遅刻：△ 途中退席：▽ 欠席：×

理事	橋本 一幾	○	大野 勝輝	○	澤井 雄一	○	飛松 龍	○
	西川 隼世	○	夏原 大輝	○	青木 克実	×	北川 凌	○
	北村 忠征	○	園 一生	×	車 宝超	×	中西 雄也	○
	夏原 慶	○	藤井 肇	○	上田 一八	○		
	出席理事 以上 12名							
監事	木田 乃輔	×	宮川 佳典	○	出席監事 以上 1名			
直前理事長	横津 優騎	○						
委員長	澤田 晃仁	○	丸山 義樹	○	西村 直人	○		
会計	西村 健太郎	○						
シクレタリー	北川 凌	重	清水 翔太	×	出席非理事 以上 6名			

1. 開会宣言・点鐘

理事長 橋本 一幾 君

1. 出席調査

事務局長 上田 一八 君

1. 議長選出

定款第47条により、理事長が 大野 勝輝 君を指名した。

1. 定足数の確認

理事定数15名、出席理事数12名、定足数10名
定款第48条の規定により本理事会は成立した。

1. オブザーバーの承認

なし

1. 議事録作成人の指名

議事録作成人 事務局

議事録署名人 橋本 一幾 君 木田 乃輔 君 宮川 佳典 君

1. 理事長報告

橋本 理事長

皆様お疲れ様です。第5回理事会20時より開会出来たことをまず感謝したいと思います。ありがとうございます。前回の理事会の23日から今日までの間に私は日本青年会議所の総会や近畿地区協議会、会員会議所があり忙しくしておりました。まず25日の土曜日に日本青年会議所の総会が東京ビックサイトで行われましたので出席してきました。総会の内容は2022年度の事業報告書と決算、予算とあり全てが審議可決され、中島直前会頭がお礼の言葉を述べられていました。その次は月曜日、火曜日に近畿地区協議会の役員会議が滋賀県の水口の地でありました。「滋賀県の理事長は全員出席してください」とのことでしたので、そこにオブザーブさせていただきました。先日は会員会議所に参加していました。その中で近畿地区協議会の役員会議に出席した時に柿野地区長が「ナンバー2」の話がされていて、聞いていて凄く内容が良かったので少し喋りたいと思います。私は今彦根青年会議所で理事長という職をさせていただいていますが、私も場所に応じての立場も変わります。会員会議所ですとブロック長がいます。各地区協議会ですと地区長がいます。LOMで言いますと委員長も担当の副理事長がいて、副委員長には委員長がいます。立場が変われば皆ナンバー2だということをまず認識しました。その中でナンバー2の役割の話がされていて、ナンバー2は自分の上の方と自分の下の方、会社に置き換えますと専務という立場になると思いますが、社長と部長の中継役、言い方的に中間管理職というのが一番良いのかと思いますが、間に挟まれて上の意見を聞きながら下の意見も聞き、まとめるというポジションが一番大変で辛い立場だと考えております。ただそこが両方の気持ちを知れるという一番勉強にもなるポジションだとも思っております。その時の話で役員会議の中で会長の代わりに専務が委員長に対して凄くビシビシと発言されていて、内容をフォローするつもりで言っていたとは思いますが、それも私が言うと同角が立ちますので、専務に代わりに言っているという言葉を、専務をフォローしながら会長が言っておられました。私も思いましたが、委員長も副委員長の気持ちを汲まないといけないと思います。副委員長も委員長の気持ちを汲まないといけないと思います。もちろん副理事長は委員長の気持ちを汲まないといけない。そのお互いが思いやる心が大事なことだと地区長の話聞いて改めて実感しました。先日の会員会議所でもブロック長が言っておられましたが、理事長の皆様は鋭い意見をされています。その議案がより良い物にするために質問をしている。LOMの理事会でも同じですね。理事の皆様が委員長

に質問するのはその議案をより良い物にしていきたいということと、委員長の意気込みの部分を試しているということと、ブロック長は挨拶で言っておられました。どれだけ議案に向き合って精度を高めるのか、そこをどの様に想うのかは委員長の答弁次第だと思います。理事に納得していただけるように。私は議案をサボっているとは思いません。ただ、言葉の表現が難しいのかと思います。そこはこれからも理事会はありますので、話し方や伝え方というのを学んでいただきたいと思いました。話が変わりますが、近畿地区協議会のインクルーシブ推進委員会から急遽案内が来まして、今週の土曜日に大津のピアサ淡海という場所でウェルビーイング経営ということで会社の従業員の幸福感の向上と比例する生産性の向上というセミナーを企画しておられます。会社の健康経営認定制度を進めておられまして、東京海上さんが全面的にサポートをされるというセミナーです。興味のある方は夏原専務も行かれます。私も行こうと思っています。一緒に行きたい方は夏原専務にお声掛けいただければと思います。4月1日の土曜日18時30分から20時30分までとなっております。本日は1議案と当日動議で1議案ですね。この議案が皆様にとって実りある有意義な時間になりますことと、写生大会が大成功に終わることをご祈念申し上げます。冒頭の挨拶とさせていただきます。本日もどうぞよろしくお願い致します。

1. 会務報告

夏原 専務理事

皆様第5回の臨時理事会、遅い時間ですがお集まりいただき誠にありがとうございます。会務報告につきましては昨日、上田事務局長の方より配信をさせていただいております。また本日の臨時理事会ですが資料配信が直前になってしまいまして申し訳ありません。本日はどうぞよろしくお願い致します。

1. 副理事長報告

大野 副理事長

本日西村委員長が再度、写生大会の議案上程をさせていただきます。後程、意見の対応等詳しい説明があると思いますが皆様忌憚のない御意見をよろしくお願い致します。

1. 資料の確認

上田 事務局長

資料に関しましては本日2023年度理事会構成メンバーのグループLINEにて配信しております。資料の確認を行います。

○当日配布資料

配布資料

N o . 1 写生大会2023～G o T o彦根城～開催の件

N o . 2 仮入会会員承認の件

N o . 3 写生大会2023～G o T o彦根城～チラシ

1. 動議提案

西川 副理事長

本日仮入会会員承認の件を上程致します。

(セカンド) 飛松 副理事長

議長

1 君のセカンドがございましたので仮入会会員承認の件を審議事項として2号議案に加えます。

1. 審議事項

1号議案 写生大会2023～G o T o彦根城～開催の件

(応答) 西村 地域共創委員長

補足説明の前に資料訂正をお願いします。

(資料訂正) 西村 地域共創委員長

10ページ 事業計画収支予算書 本会計からの繰入金

(誤) 117, 568円

(正) 112, 568円

11ページ 事業計画収支予算書 合計

(誤) 342, 568円

(正) 337, 568円

(補足説明) 西村 地域共創委員長

今回5月事業では彦根オリジナルを体感する事業と致しまして、国宝彦根城一帯で写生大会を行います。付帯事業につきましては事前に近隣の小学校に彦根城世界遺産登録へのロゴマークを分割したものを配り、メッセージ付きで貼り絵をしていただき、一つのロゴを作り上げ大会当日に展示します。補足説明は以上です。前回意見をいただきましたので、Instagramの広告を削除し、事業計画書の誤字脱字を精査致しましたので皆様よろしくお願い致します。

(質問) 夏原 理事

前回の理事会でも質問させていただいたのですが、裏面の記念品プレゼントの件で表彰者には記念品プレゼントと書かれています。佳作の方にはプレゼントはなかったと思います。

(応答) 西村 地域共創委員長

プレゼントは入選、優秀賞のみで佳作の方にはプレゼントの予定は考えておりません。

(質問) 夏原 理事

であればこの表彰者にプレゼントという書き方が誤解を招くかと思えます。書くのであれば優秀賞と入選者の方にプレゼントという書きの方が良いのではないかと思いますがいかがでしょうか。

(応答) 西村 地域共創委員長

最新の写生大会チラシの方をみていただけてますでしょうか。そちらが訂正後の資料になります。

(質問) 北村 理事

チラシの表面にQRコードがありまして、詳細はこちらからと記載されていますが、この詳細とはどのようなことが書かれていますか。

(応答) 西村 地域共創委員長

詳細につきまして、ホームページに繋がっております。写生大会の概要が流れるようにする予定です。

(質問) 北村 理事

このチラシに書かれている以上の細かい情報があるということですか。

(応答) 西村 地域共創委員長

中身に関しましてはチラシに書かれている内容がほとんどになりますが、今までの事業内容の掲載も行う予定です。

(意見) 北村 理事

わかりました。

1. 依頼事項

夏原 専務理事

皆様理事会ご参加いただきありがとうございました。次回理

事会につきましては、第6回理事会4月24日月曜日です。文教スタヂオさんで開催させていただきますのでご参加の程よろしくお願ひ致します。次回理事会に関しましては周年関連の協議議案であったものが審議等々含まれますので非常に重要な理事会になります。ご参加の程よろしくお願ひ致します。

澤田 総務広報委員長

本日写生大会の議案を承認されましたので、4月1日に月報に写生大会特集ということで出させていただきます。あと、ホームページの中に特設ページの方も開設しますので、皆様Instagram等で発信の方よろしくお願ひ致します。

西村 地域共創委員長

本日審議可決されました写生大会、皆様ありがとうございます。5月14日に写生大会本番があるのですが、4月中旬にチラシ配りを考えていますので、皆様ご参加の程よろしくお願ひ致します。

(決定) 全会一致をもって承認

2号議案 仮入会会員承認の件

(補足説明) 西川 副理事長

資料は当日資料ということで、資料発送の時に上田事務局長に議案と共に載せていただいております。滋賀銀行の近久和輝君が仮入会として本日上程させていただきたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。

(報告) 上田 事務局長

只今、履歴書をLINEの理事会構成メンバーのグループに送付いたしましたのでご確認よろしくお願ひ致します。

(報告) 橋本 理事長

去る3月29日に仮入会会員選考委員会を開催させていただきました。選考委員長を飛松副理事長にお願ひし選考していただきました。

(報告) 飛松 副理事長

去る3月29日に選考委員会を開催いたしました。議案に上程している近久和輝君は会員規則第2章第5条に基づいて資格を有すると報告します。

(決定) 全会一致をもって承認

1. 監事講評

宮川 監事

皆様お疲れ様でございます。本日は第5回理事会ということで久しぶりのWEB開催となりました。ご設置いただきました事務局の皆様本当にありがとうございます。このような場合の時にZOOMの会員になっておくのが良いのか、なかなか使う機会もないので今回の様に個人のアカウントを使うのもあるのかと思ひます。使う機会が多ければ有料会員になるほうが良いと思ひます。ただ、今はなかなか使う機会を想定しづらいと思ひますので、個人の有料アカウントを使うのもありなのか。なかなか難しいところではありますが、今後この様なことがあるのであれば、執行部でご検討いただければと思ひます。本日は2議案でした。まずは写生大会です。前回取り下げでしたので出直しになりました。西村委員長お疲れ様でございます。短い時間でしたがしっかりと対応いただけたと思っております。内容に関しましては良いと思ひますが、そもそも写生大会という半世紀にわたる継続事業、彦根青年会議所にとっては誇りある事業の一つであるかと思っております。半世紀にわたる継続事業の是非というのは毎年難しい形で考えていかなければならないかと思っております。特に彦根青年会議所のOBの方のみならず、青年会議所に関わる方が「彦根青年会議所がいつまで写生大会をやっているの」という声が少なからず聞こえてきます。その中でも毎年やっているということでは彦根青年会議所としての意義はあると思ひます。一方で青年会議所としての務め以前橋本理事長が挨拶の時に「おっしゃっていましたが「事業というのは誰かに移管する。青年会議所が先立って立ち上げてそれをどこかに移管する。というのが本筋である」というのもまた、事実であります。その青年会議所の在るべき姿に対して写生大会というのがどうであるかというのは非常に難しい問題ではあるかと考えております。ただ、事実として写生大会が市民から求められている事業というのは間違いないと思ひます。写生大会というのはOBの方々からは当初写生大会が立ち上げられた目的というのは今とは随分変わってきております。その中で何故今でも現役のメンバーが写生大会をやっているのかということとはよく言われますが、例えば去年、一昨年は世界遺産を目指す上での事業としての流れがありました。写生大会というのは年度によって目的、意義を変えながら続けて行く意義があるだろうという判断の上でこの様に続けているものなのかと感じております。そこで一つ気になるのが、前回の理事会であえて言いませんでしたが、西村委員長が

上程の冒頭に昨年もやっていた写生大会だから今年もやりま
すというニュアンスでおっしゃっていました。これは過去の理
事会であればこの発言をした瞬間に取り下げになると思いま
す。確かに写生大会というのは例年やっている事業であります。
執行部が事業計画に挙げているから事業の委員会としてやっ
ているというのは事実ではありますが、本人が写生大会をやる
ための意義、目的というのは例年とは違うものが必ずそこには
あると思います。それをしっかりと答えられて、それが実現出
来る事業でなければいけないという風を感じておりますので、
写生大会も年度ごとに目線を変えながらやっていかないと
いけないと思っています。今年の写生大会はこの様にします。こ
の様なことを実現します。この様なことを市民に伝えたいです。
という視点から本番までもう少し時間がありますので、西村委
員長含め委員会メンバーの皆様は写生大会の準備をそういう
視点でぜひ進めていただきたいと思います。例年と同じことを
やっているのであればやめた方がいいとも思いますので、少し
ずつ目線を変えながら理事長の掲げる所信を達成するために、
または彦根をより良くするために時代と共に写生大会の在り
方を少しずつ変えていかないと絶対にダメだと思っています。
今後も続けるならですが。やめるなら違う事業をすればいいと
思います。写生大会を続けるのであれば視点を変えて目線を変
えて続けて行くべきだと感じておりますので、その意識を持ちな
がら事業に取り組んでいただければと思います。つづきまして2
号議案仮入会会員の承認ということで、本日の臨時理事会がな
ければこの仮入会会員の承認というのは前期で挙げることが
出来なかったということです。今月内の臨時理事会ということ
でかなり短い納期でしたが、早急に資料の修正をいただきまし
て本日挙げていただけたからこそ、本日上程いただいた仮入会
会員が前期で承認出来たというのは非常に大きいことだと思
います。特に今年度に関しましては前期か後期で違いがありま
す。周年を経験出来るか、出来ないかというのは非常に大きい
ことだと思っています。特に今回上程いただきました近久和輝君は
自ら志願をして彦根青年会議所の門を叩いていただいた方で
すので、この周年を是非とも最前線で経験させてあげたいと思
っております。前回も言いましたが、仮入会会員また新入会員
が周年の事業におきまして蚊帳の外にならない様に是非とも
各種事業に役割を与えていただいて、最前線で戦っていただけ
る様に配慮をしていただきたいと思います。話が変わりますが、
私も上田事務局長も白衣を来ております。桜が満開ですので非
常に飲食店は忙しいです。有り難い話ですが非常に職務に追わ
れている日々であります。しかし桜が咲くのが非常に早いので
彦根市や観光協会などの事業が例年通りに進めていると桜の

開花に追いつかなくて、桜が散った頃に事業の本番みたいなこ
と彦根市内でもあります。旅行会社のツアーもですが、この
時期だと桜が散っているだろうという時期でもツアーが入っ
て来ていたりします。ということで、かなり時代というのは変
化しているのだと思いました。問題は彦根の桜が高齢化してい
るということで、温暖化だけの問題でなく彦根の桜が咲くのが
早いというのはおそらく木の老齢化の問題もあるのかと思いま
す。桜は木が成長しないので花が咲くのが早いみたいです。
基本的に桜前線というのは南から北の方へ咲くものですが、今
年はそういったこともなく全国一斉に咲いているみたいでした。
もちろん異常気象の問題もあると思います。しかし彦根の
桜の木というのも老齢化していますのでそろそろ植え替えを
していかないとなかなか難しい状況になるのかという話もあ
ります。これから世界遺産登録に向けて目指し、いよいよ本格
的に世界遺産登録が目の前に見えてきている状況の中で彦根
の桜というのは一つの目玉であると思いますので、こういった
ことに対しても彦根青年会議所として注視をしていかなけれ
ばならないのかと思っていたりします。なかなか行政で動きづ
らい部分ではあると思います。彦根の問題点をなくすというの
も青年会議所の課題としては良いと思いますので、桜という強
みを生かすというのも今後事業として考えて行ってもいいの
かと思いました。以上で監事講評とさせていただきます。本日
はお疲れ様でございました。

1. 閉会宣言・点鐘

事務局長 上田 一八 君

理事長 橋本 一幾 君

理事長 橋本 一幾



監事 木田 乃輔



監事 宮川 佳典



公益社団法人 彦根青年会議所

2023年度 事業報告書

第6回理事会1号議案

議案名 : 2月度例会～彦根城一帯堪能ツアー～開催
 提案者 : 地域共創委員会
 作成者 : 西村 直人
 上程月日 : 2023年 4月24日

目次	上程スケジュール
事業報告書 (1) ページ～ (3) ページ	第22回執行部会 2023年 3月15日 協議
収支決算書 (4) ページ	第23回執行部会 2023年 3月29日 協議
添付資料 (5) ページ～ (20) ページ	第10回財政規則特別委員会 2023年 4月 3日 審査
最終ページ (20) ページ	第24回執行部会 2023年 4月 5日 審議
	第6回理事会 2023年 4月24日 審議

1. [事業報告提案名]

2月度例会～彦根城一帯堪能ツアー～開催の件

2. [運動指針該当項目]

- ・本事業は運動指針「We can go to the next stage～私たちのチカラがひこねの未来を創造する～」において、下記の項目に該当する
 - 「まち」のチカラ・・・“ひこねオリジナル”の提唱による活気溢れる地域の創造
 - 「ひと」のチカラ・・・使命感と行動力をもった“ひこねびと”の伝承
 - 「こころ」のチカラ・・・“ひこねスピリット”が漲る活力ある地域社会の継承

3. [事業の目的と意義：対外]

なし

4. [事業の目的と意義：対内]

私たちの暮らすまちを活気に満ち溢れた明るい未来へ創出するためには、地域を先導すべき我々青年経済人が積極的に地域資源を探求し理解を深め魅力を再認識するとともに愛郷心を育む必要があると考えます。

本例会を通じて、メンバーが新たな観点で彦根城一帯のひこねオリジナルを探求し、新たな魅力や価値に触れ合うことにより、愛郷心を育み地域活性に対して意欲を高める契機にしたいと考えます。

5. [事業報告の概要・推進方法]

- ① (実施日時) 2023年 2月 5日 (日) 9:00～15:26
- ② (実施場所・会場) 株式会社文教スタジオ 5階
住所：滋賀県彦根市佐和山町6-15
電話：0749-22-7681
- ③ (決算額) 10,000円
※詳細は別紙 [様式：報-2-1～3] 事業収支決算書参照
- ④ (外部協力者) なし
- ⑤ (対象者) メンバー47人 (正会員30名、仮入会会員15名、外部監事 2名)
- ⑥ (参加人数) メンバー24名 (正会員19名、仮入会会員 3名、外部監事 2名)
- ⑦ (事業推進状況)
1月12日 出席確認

- 1月16日 委員長連絡会議にてPR
- 1月28日 メーリングリストにてPR開始
- 1月28日 総務広報委員会へ委員会訪問にてPR
- 2月 1日 組織の輪確立委員会へ委員会訪問にてPR
- 2月 4日 前日準備及びリハーサル
- 2月 5日 2月度例会～彦根城一帯堪能ツアー～開催

1. 受付開始	9:00
1. 開会宣言・点鐘	9:30
1. 国歌斉唱	9:31
1. JCソング斉唱	9:32
1. JCI Creed唱和	9:35
1. JCI Mission並びにJCI Vision唱和	9:37
1. JC宣言文朗読並びに綱領・LOMスローガン唱和	9:39
1. 理事長挨拶	9:40
1. 会務報告	9:43
1. 委員会報告	9:47
1. 出向報告	9:50
1. 委員会タイム	9:53
1. 趣旨説明	9:54
1. 彦根城魅力発表タイム	9:55
1. ～彦根城一帯堪能ツアー～説明	10:03
1. 行先選定	10:07
1. 彦根城一帯探索	10:51
1. グループまとめ	13:45
1. グループ発表	14:55
1. 終了	15:18
1. 監事所感	15:19
1. 若い我ら斉唱	15:24
1. 閉会宣言・点鐘	15:25
1. 終了	15:26

- 2月10日 欠席者に事業内容を報告
- 2月11日 委員会にて検証及び事業報告書作成
- 4月24日 事業報告書を理事会へ上程

6. [開催目的の実現と成果]

- ・2月度例会を通して、メンバーが彦根城一帯を探索したことにより、ひこねの魅力や再認識したとともに、地域活性の意欲を促す一助になったと考えます。
- ・彦根城の魅力発表タイムにおいて、様々な彦根城の魅力や歴史をメンバーに伝えたことにより、彦根城についての知識をこれまで以上に深めていただけたとともに、ひこねの地域資源への理解と関心を深める一助になったと考えます。
- ・メンバーに、彦根城一帯の観光資源を配布したことにより、このまちの多くの地域資源への探索の意欲を促すとともに、スムーズに進行する一助になったと考えます。
- ・探索エリアを旧城下町にすることで、彦根城があるからこそその文化やまち並みなど彦根独自の地域資源に触れるとともに、ここにしかない魅力を再認識する一助になったと考えます。
- ・グループまとめにおいて、彦根城一帯をテーマに沿って探索し新たな発見や地域の課題をグループで話し合いまとめたことにより、この地域についての想いや理解を深めたとともに、課題の解決策を見出す一助になったと考えます。
- ・グループ発表で、写真や資料を用いてメンバー発表することで、新たな発見やひこねの地域資源の魅力が存分に伝えられたとともに、地域への理解と関心を深め、愛郷心を育む一助になったと考えます。

7. [実施上の問題点]

- ・セレモニーにおいて本年度から導入されたJCIMission並びにJCIVisionの和訳唱和がスムーズに行えませんでした。本番同様のリハーサルによる確認が必要でした。
- ・グループまとめの時間が想定より大幅に超過いたしました。委員会でグループまとめにかかる時間のシミュレーションが必要でした。
- ・アンケートにおいて誤ったQRコードをスクリーンに表示してしまいました。本番までに確認が必要でした。

8. [次年度への引継事項]

- ・彦根城一帯を探索するに当たり、グループごとにテーマをきめ、このまちの魅力に向き合いました。テーマに沿ったツアーを計画し実行することにより、新たな観点から地域資源に向き合う事業構築を検討していただきたい。

9. [添付資料の種類]

- ・参考資料ー1 グループ分け一覧
- ・参考資料ー2 例会風景
- ・参考資料ー3 グループまとめ資料

10. [その他]

なし

事業収支決算書

[様式:報-2-1]

<事業報告収支決算書>

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差額	摘要
(収入の部)				
1. 本会計からの繰入金	10,000	10,000	0	
収入計	10,000	10,000	0	
(支出の部)				
1. 会場設営費	10,000	10,000	0	
支出計	10,000	10,000	0	
収支差額	0	0		

※上記収支差額(剰余金)は第6回の理事会の承認を経て本会計に繰り入れる

[様式:報-2-2]

<収入明細書>

(単位:円)

科目	細目	摘要	予算額	決算額	差額	備考
1. 本会計からの繰入金		2月度例会～彦根城一帯堪能ツアー～	10,000	10,000	0	
	小計		10,000	10,000	0	
合計			10,000	10,000	0	

[様式:報-2-3]

<支出明細書>

(単位:円)

科目	細目	摘要	予算額	決算額	差額	備考
1. 会場設営費	会場費	文教スタジオ5階	10,000	10,000	0	
	小計		10,000	10,000	0	
合計			10,000	10,000	0	

予算との主な差異

(収入) なし
(支出) なし

1

グループ分け一覧

グループ	メンバー									行き先			
A	横津	木田	澤田	西村健	清水	北川	原田			天寧寺	まち中華	明性寺	本町宿
B	橋本	宮川	大野	夏原大	夏原慶	北村	藤井	土田	奥田	銀水	屋台船	楽々園	
C	飛松	澤井	園	西村直	中西	藤本	高橋	西川		護国神社	玄宮園	近江や	キャッスルロード

・彦根城魅力発表タイム



・行先選定



・グループ発表



・集合写真



- ・グループまとめ資料
- ・B グループ発表資料

彦根城一帯 満喫ツアー (高齢夫婦向け)



時間	場所	詳細	料金
10:00	彦根城		
10:30		城内散策	800
11:00			
11:30			
12:00	銀水		
12:30		寿司御膳、飲み物	3,000
13:00			
13:30			
14:00	楽々園		
14:30		散策	無料
15:00			
15:30	屋形船		
16:00		45分間	1,300
16:30			
17:00 ~翌日	宿泊先	キャッスルホテル	11,000

楽々園



おすすめのポイント	歴史
江戸時代の初期にこれだけの庭を造る技術が圧巻。風情があり、ゆっくりと落ち着いて歴史を感じることができる。無料で散策できる。	旧藩主の下屋敷で現在は楽々の間に因んで楽々園と呼ばれている。1677年四代目藩主直興より造営が始まり1679年に完成。その後数回に渡り増改築が行われ、現在の形で残存している。

銀水



おすすめのポイント	食レポ
<p>高齢者向けプランとして、個室もあり、落ち着いた雰囲気でお食可。 ちょっとしたリッチなランチを味わえる。 サービス○</p>	<p>海に面していない滋賀県においてこれだけ新鮮な海鮮をいただける店舗は少ない。 昼と夜とメニューが異なり魚以外にも豊富なメニューが提供されている。 地酒を含む多くのアルコールメニューが豊富。</p>

屋形船



どんな体験をしたか	おすすめのポイント	歴史
<p>彦根城屋形船 彦根城のお堀を45分かけて往復</p>	<p>ガイドさんが笑いも含めたトークで彦根城の歴史を解説。 四季折々の景観を楽しめる。 散策では見られない景色を堪能できる。</p>	<p>彦根藩は近江国第一の大藩として琵琶湖の水上交通を支配していた。そのため彦根藩には大小120船の御用船が備えられていた。彦根城屋形船はそのうちの1船を復元したもの。</p>

キャッスルホテル



料金	おすすめのポイント	アクセス
<p>1人11,000円 朝食込</p>	<p>彦根城間近で遠方でなく高齢者としては彦根城を堪能して宿泊可能。 きれい。 ご飯おいしい。 部屋から彦根城が見れる。</p>	<p>彦根城近隣 彦根駅より徒歩10分</p>

一日のツアー を振り返って

問題点	解決策
<p>屋形船はシーズンにより来客数が異なり、5名以上の乗船客がいないと出航できない。 往復45分間は少し長く感じた。 今日のツアー内容では高齢者としては彦根城一帯で堪能可能であると考える。</p>	<p>屋形船と、人力車を融合させたプランの提供。 若者は2市4町の地域資源を含める必要がある。</p>

彦根城一帯 満喫ツアー (4人家族向け)



時間	場所	詳細	料金
10:00	彦根サイクルステーションめぐりんこ	自転車リース	300円
10:30			
11:00	天寧寺	入山料	400円
11:30	五百羅漢		
12:00			
12:30	まち中華	ラーメン定食	1000円
13:00			
13:30			
14:00	彦根城	入山料	800円
14:30			
15:00			
15:30			
16:00	彦根城周辺散策	足軽屋敷	
16:30		明性寺	
17:00 ~翌日	宿泊先	本町宿	5891円



天寧寺 五百らかん

おすすめのポイント

五百体の羅漢像が整然と安置されている
様々な羅漢があるので自分の好みの羅漢を探してみましょう

歴史

文政2年(1819年)、彦根城下・上藪下の宗徳寺が移転し、文政5年(1822年)頃、寺号を変えて成立した。移転以前の文化8年(1811年)に本堂が、その後、文政11年(1828年)に羅漢堂(仏堂)が建てられた。井伊氏11代直中が、宗徳寺移転と堂宇建設を行った。伝承によると、腰元・若竹が不義の子を妊娠したとの風評を耳にしたため藩の法度として死罪に処したところ、不義の相手が長子・直清だったことが判明し、母子の追善供養のため寂室堅光に相談して造らせたという

まち中華



おすすめのポイント

早い、安い、旨いの三拍子が揃った言わずと知れた中華の名店

食レポ

餃子にんにくマシマシマシマシマシが最強です



明性寺

おすすめのポイント	歴史
鐘楼門(2階)から眺望する彦根城	古来近江の国で由緒ある真宗寺院を江州六大坊と申し、当明性寺はその一つに数え上げられる浄土真宗本願寺派の寺院です。 寺伝によると、当山



本町宿

料金	おすすめのポイント	アクセス
4名利用時 5,891~6,873円/人 (消費税込6,480~7,560円/人)	江戸時代からの町家を改装した宿泊施設です。町家を改装しているため、お部屋は襖区切りの和室(洋室もございます)、トイレもお風呂も共同となりますが、城下町の風情をそのままに残す歴史的建造物の中で宿泊・滞在していただける施設となっております。 お食事、料理旅館のような豪華なものはお出しできませんが、地元の食材をお楽しみいただける地産地消の朝食をご	〒522-0064 滋賀県彦根市本町3-3-55 JR琵琶湖線 彦根駅より徒歩20分 / 彦根城まで徒歩3分 / 琵琶湖湖岸まで徒歩15分 / 無料駐車場あり 駐車場有り 要予約 無料 彦根城まで徒歩5分

一日のツアー を振り返って

問題点	解決策
自転車で各地を巡りましたが自転車置き場が少なく、狭い道が多いので歩行者、車と接触する危険性が高い。	ピワイチが推奨されているので道路環境の改善を行政に訴えかけていく

彦根城一帯 満喫ツアー (学生グループ向け)



時間	場所	詳細	料金
10:00	彦根城 周辺		
10:30			
11:00			
11:30	彦根城 周辺		
12:00		護国神社	
12:30		玄宮園	200円
13:00	彦根城 周辺		
13:30		近江や	2156円
14:00			
14:30	キャッス ルロード 四番町	近江牛コロッケ	250円
15:00		近江牛にぎり	800円
15:30		たねや	1200円 ~
16:00	彦根城 周辺		
16:30			
17:00 ~翌日		宿泊先	ガーデンホテル大和

護国神社



おすすめのポイント

井伊家の兜の御朱印を押せる人気スポット。
季節ごとの限定御朱印もある。
第3日曜日には朝市などが行われている。
歴史を振り返り、平和への想いをはせる機会になる。

歴史

明治9年に官祭招魂社として創建され、後「護国神社」と改称されました。
明治戊辰の役から西南の役、日清・日露戦争さらには大東亜戦争に至る滋賀県出身の戦没英霊を祭祀し、今は世界平和を願い祈る参拝者が数多く訪れています。

玄宮園



おすすめのポイント

茶室(鳳翔台)で彦根城や玄宮園の風景を見ながら、抹茶と彦根の和菓子である埋もれ木をいただける。

歴史

四代目藩主井伊直興(なおおき)がつくった庭園であり、隣接する楽々園とともに国の名勝に指定されている。
広大な池水を中心に、池中の島や入江に架かる9つの橋などにより、変化に富んだ回遊式庭園となっています。池の水は、湧水の豊富な外堀からサイフォンの原理により導水して供給し、小島の岩間から水を落として滝に仕立てていました。池には船小屋があり、園内で風流に舟遊びの一興を催すこともありました。また、松原内湖に面した庭園の北側には水門が開き、大洞(おおほら)の弁財天堂や菩提寺の清凉寺・龍潭寺への参詣、あるいは松原のもう1つの下屋敷である御浜(おはま)御殿への御参りには、そこから御座船(ぎざぶね)で出向

昼食 近江や



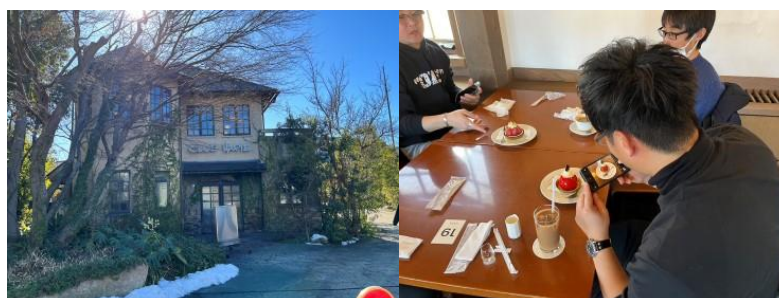
おすすめのポイント	食レポ
三成醤油プリン 近江牛たたき丼	とてもおいしい近江牛をお手頃価格で楽しめる。

キャッスルロード



どんな体験をしたか	おすすめのポイント
キャッスルロードの店舗で食べ歩き 近江牛コロッケ 近江牛にぎり	町並みを楽しみながら、この地域ならではの食べ物を楽しめる。

たねや



どんな体験をしたか	おすすめのポイント
カフェでコーヒーや紅茶、ケーキを楽しんだ。	観光の合間にちょっと一息休憩ができる。

ガーデンホテル大和



料金	おすすめのポイント	アクセス
5000円/人	安い	

一日のツアー を振り返って

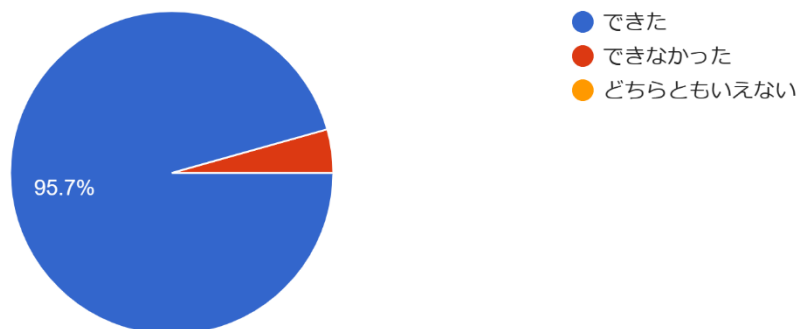
問題点	解決策
飲食店など日曜日にも関わらず、休日の店舗があった。改装中の店舗もあったので、選択肢が少しくないように感じられた。	観光客が増えることにより、日曜日でも開けてもらえるようになるのでは。 観光客に楽しんでもらえるよう、店舗に開けてもらえるよう働きかける。

・グループ発表まとめ

本例会では、メンバーに彦根城一带のここにしかない魅力に触れこのまちに対してのより一層の愛郷心を育てていただくために、地域資源に更なる興味をもち、体感するとともに、新たな魅力を発見し、理解と関心を深める一助にしたいと考えました。グループ発表を通して、メンバーが他のメンバーに地域資源の魅力を伝え、共に理解と関心を深め、地域資源に誇りをもつ一助になるとともに、我々彦根青年会議所の今後のまちづくりの活動へ繋がったと考えます。

2. 彦根城一帯の探索を通して彦根城一帯の新たな魅力や価値を発見することができましたか？

23件の回答



問3、2質問において、そう感じられた要因をお聞かせください。

じっくり探索できた

屋形船からの景色がよかった

近くに住んでいたが知らない所がありました

地元だから普段身近にあるが、行かないところにも行けたから。

徒歩で回ることによって普段見れない魅力が発見できた

新たな魅力はなかった

これまでになく目線で地域を探索することができたから

知っているが普段わざわざ行かない場所にも行くきっかけになったため。

まだまだ経験していない場所にいき、魅力を感じることもできた

自転車移動を取ったので車で入って行けないスポットにも行けた。

初めて屋形船に乗りましたが、彦根城の違う景色が見れました。

自転車で回ることによって徒歩では回りにくい地域資源にも触れ合うことができた。

現地に赴き新たな価値を実感したから

普段、彦根城一帯を観光しないから観光客目線で探索する事ができたから。

ツアーの一環で天寧寺の五百らかんを観、関連する彦根の歴史を学べた。

地元だからこそ今まで観光をしなかったですが、知らなかった地域資源を回れました

屋形船に初めて乗ったんですが、普段みている景色とは全くちがう新たな魅力の一つだと感じました。

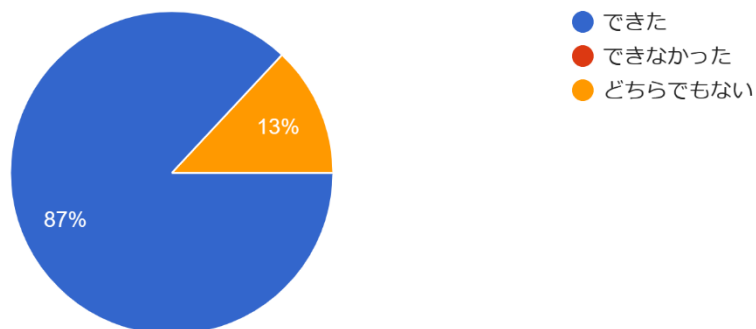
普段車での移動ですが自転車とゆうことで普段行けない場所に行けたから。

目線を変えたこと

地元の観光スポットに行ったことがなかったから

4. 彦根城の魅力発表タイムにおいて彦根城の新たな魅力を知ることができましたか？

23件の回答



問5、4の質問において、そう感じられた要因をお聞かせください

屋形船

五百羅漢が詳しくなった

近くに住んでいたが知らない所がありました

知らない魅力を知ることができた。

知っている建物でも歴史までは知らなかった

ほとんど知っている場所だから

いつも観る街並み以外の発表が少なかったから

違うチームの行ったことのない場所など、知ることができたため。

自転車で移動するツアーなど、彦根にはまだまだ知られていない地域資源があると感じた

新たな魅力はそう感じられなかった。

まだまだ知らないことが多かったと、他のグループ発表を聞いてわかりました。

それぞれのグループが別の体験をし、魅力を説明されているのを聞いたから。

他グループの発表をみて自分も行ってみたいと感じたから

自分が行っていない場所を知る事ができた。

屋形船はなかなか乗る機会がないので、その感想を聞いたのは貴重だった。 銀水も気になった。

他のグループのツアーも楽しそうだと感じました

知らない事があった

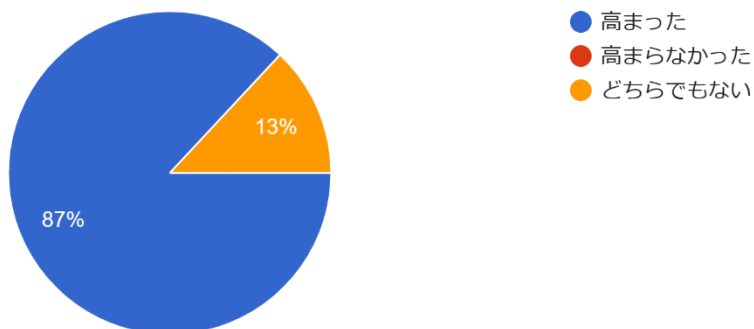
知らない事を聞いたから。

各世代によって様々な計画や楽しみ方があり、プレゼンにより具体的なイメージができました。

彦根の知らない所を知れた

6. グループまとめを通して地域の課題や問題点を考えることで地域活性への意識は高まりましたか？

23件の回答



問7、6の質問において、そう感じられた要因をお聞かせください。

知らないことが知れた

彦根を元気にしたいと感じたから

たかまった

各ツアー毎にそれぞれ違う問題があることを知った。

地元なのに知らないことが多いと感じた

我々ができることが少ない

世界遺産登録に向けて、JCとして何か発信すべきだと感じたから

実際に回ってみないとわからない問題点などが見え、課題解決の重要性は感じたため。

実際に経験することは大切だと感じた

高まりました。

問題点や課題の本質にまでは辿り着けていないし、時間も足りないと感じました。

実際に回ってみた上で課題が見えたから。

高まったがもう少し課題については深掘する必要があると思います

彦根城世界遺産登録に向けて、問題点を考える中で、地域活性に繋がる

家族、学生、高齢者という異なるグループで模擬ツアーを行い、それぞれで異なる彦根の魅力を学べた点。

実際に回ったからこそ体感できました

もともと高まっているがなんとなくさらに高まった

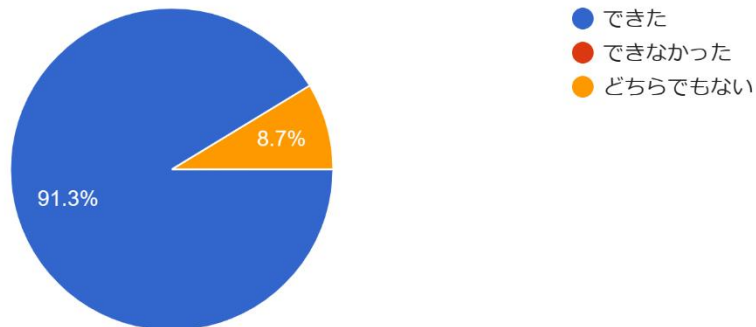
実際に自分が危険に遭遇したことでそう思えた。

コロナ禍前と現在で観光客数を比較すると現在は圧倒的に少なく危機を感じた

特になし

8. 2月度例会を通して、愛郷心を育む事ができましたか？

23件の回答



8の質問において、そう感じられた要因をお聞かせください。

より彦根城一帯が好きになった
まだまだ沢山ある地域資源をもっと発掘したいと感じた
まちについてより深く知ることができたから。
もっと地元のたくさんの魅力を知りたいと思った
特になし
改めて地域の良さを感じることができたから
彦根をPRしていく上で、素材として素敵なものが多く、より発信していきたいと感じたため。
まだまだ知らない地域資源を発掘したいと思った
今一度彦根というまちの素晴らしさを実感した。
更なる魅力を知れました。お疲れ様でした。
まだまだ自分達も知らないひこねの魅力を発見できたから。
地域資源にふれ、よりこのまちへの関心が高まったから
多くの観光客にひこねにきてほしい
住んでいるところなので中々見逃していたところを発見できた。
魅力を知り、問題点も考えたことで育めました
たぶん
普段行くことのない場所に行き学ぶ事が出来たから。
歴史や文化を守りたいと感じたから
特になし

【アンケート考察】

2の質問において彦根城一帯の探索において参加したメンバー95、7%が新たな魅力や価値を発見できたことから、ひこねに住み暮らす人びとでもテーマに沿った移動方法や観光をしたことにより違った目線で彦根城の魅力に向き合ったことが新たな魅力や価値を発見につながったと考えます。4の質問において、彦根城の魅力発表タイムにおいて、87%の方が彦根城の新たな魅力を知ることができたことから、ひこね一帯に住み暮らす人びとでも彦根城について知らないことあり、「知っている建物でも歴史までは知らなかった」「近くに住んでいたが知らない所がありました」という意見から、知っている場所でも魅力や歴史を発表することで新しい発見につながると考えます。そして、「ほとんど知っている場所だから」「新たな魅力はそう感じられなかった」などの意見もあることから、ひこねのシンボルでも彦根城の事をよく知っている方も一定数おり、メンバー全体に新たな魅力を発表する中では、有名ではない歴史や魅力を発表する必要があると考えます。6の質問において、87%の方がグループまとめを通して地域の課題や問題点を考えることで地域活性への意識が高まったことからテーマに沿ったツアーを実際に探索しながら計画することで「実際に回ったからこそ体感できました」「各ツアー毎にそれぞれ違う問題があるこ

とを知った。」という意見があり、問題点に触れ解決策を考え合うことで地域活性の意欲を上げる一助になったと考えられます。8の質問において、総じてポジティブな意見が多く、愛郷心を育む為には、さらにこのまちの魅力を
知る必要があったと考えられます。

公益社団法人 彦根青年会議所
2023年度 事業報告書

第6回理事会2号議案

議案名：2月通常総会開催

提案者：総務広報委員会

作成者：澤田 晃仁

上程月日：2023年 4月24日

目次	上程スケジュール
事業報告書 (1) ページ～ (3) ページ	第23回執行部会 2023年 3月29日 協議
収支決算書 (4) ページ	第9回財政規則特別委員会 2023年 4月 3日 審査
添付資料 (5) ページ～ (7) ページ	第24回執行部会 2023年 4月 5日 協議
最終ページ (7) ページ	第25回執行部会 2023年 4月12日 審議
	第6回理事会 2023年 4月24日 審議

1. [事業報告提案名]

2月通常総会開催の件

2. [運動指針該当項目]

・本事業は運動指針「We can go to the next stage～私たちのチカラがひこねの未来を創造する～」において、下記の項目に該当する
「組織」のチカラ・・・目指すべき彦根青年会議所像

3. [事業の目的と意義：対外]

なし

4. [事業の目的と意義：対内]

公益社団法人彦根青年会議所定款第3章第23条の定めにより、2月通常総会を開催致します。

5. [事業報告の概要・推進方法]

① (実施日時) 2023年 2月10日 (金) 19:30～20:06

② (実施場所・会場) 文教スタジオ 5F
住所：彦根市佐和町6-15
電話：0749-22-7681

③ (決算額) なし
※詳細は [様式：報-2-1～3] 事業収支決算書参照

④ (外部協力者) なし

⑤ (対象者) 47名 (正会員30名、仮入会会員15名、外部監事2名)

⑥ (参加人数) 23名 (正会員20名、仮入会会員 1名、外部監事2名)

⑦（事業推進状況）

2022年12月	8日	会場正式予約
2023年	1月10日	メンバーに電話にて出欠確認
	1月16日	委員長連絡会議にてPR実施
	1月27日	地域共創委員会へ委員会訪問にてPR実施
	1月31日	組織の輪確立委員会へ委員会訪問にてPR実施 2月通常総会の資料発送
	2月5日	2月度例会にてPR実施
	2月10日	2月通常総会実施

アジェンダ

1. 開会宣言・点鐘	19:30
1. JCI Creed 唱和	19:31
1. JCI Mission並びにJCI Vision 唱和	19:32
1. JC 宣言文朗読並びに綱領・LOMスローガン 唱和	19:33
1. 出席調査	19:34
1. 理事長挨拶	19:36
1. 議長選出	19:46
1. 定足数の確認	19:46
1. オブザーバーの承認	19:47
1. 議事録作成人及び署名人指名	19:48
1. 資料の確認	19:49
1. 審議事項	19:49
第1号議案 2022年度 事業及び会計報告書承認の件	19:50
第2号議案 2022年度 剰余金処分(案)承認の件	19:55
第3号議案 2023年度 修正収支予算書(案)承認の件	19:57
1. 監事総評	19:58
1. 閉会宣言・点鐘	20:06

6. [開催目的の実現と成果]

- ・委員会訪問にて総会が組織の最高意思決定機関であることの周知を行うことで、メンバーに総会の重要性を理解いただく契機になったと考えます。
- ・総会の出欠確認を開催1ヶ月前から実施したことにより、メンバーが予定の調整をしやすくなり、出席率向上の一助になったと考えます。

7. [実施上の問題点]

- ・より多くのメンバーの出席を促すツールとして全体 LINE やメンバーFacebook ページが活用出来ておりませんでした。今後の総会については、出欠確認開始時などにメンバー SNS を活用し、総会が組織の最高意思決定機関であることを周知していきます。

8. [次年度への引継事項]

- ・出席率向上を狙い総会開会時間を19時30分としたことについて、出席率の結果を見ると結果が出ていないように見えるものの、社業の都合上19時開始では間に合わなかったというメンバーも実際に存在していることから、一定の効果はあるものと考えます。総会が最高意思決定機関であることの周知を徹底し参加意識向上を図ることはもとより、メンバーが定刻に参加しやすい環境を整えることも重要であるため、総会開始時間などの工夫は次年度も検討いただきたい。

9. [添付資料の種類]

- ・参考資料-1 総会風景
- ・参考資料-2 欠席理由ヒアリング結果
- ・参考資料-3 過去5年間正会員及び卒業生出席状況

10. [その他]

- ・以下、2月総会決議事項

第1号議案	2022年度事業及び会計報告書承認の件	全会一致をもって承認
第2号議案	2022年度剰余金処分(案)承認の件	全会一致をもって承認
第3号議案	2023年度修正収支予算書(案)承認の件	全会一致をもって承認

事業収支決算書

[様式:報-2-1]

<事業報告収支決算書>

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 額	摘 要
(収 入 の 部)				
1. 本会計からの繰入金	10,000	10,000	0	
収 入 計	10,000	10,000	0	
(支 出 の 部)				
1. 会場設営費	10,000	10,000	0	
支 出 計	10,000	10,000	0	
収 支 差 額	0	0		

[様式:報-2-2]

<収入明細書>

(単位:円)

科 目	細 目	摘 要	予算額	決算額	差 額	備 考
1. 本会計からの繰入金		2023 年度 2 月通常総会	10,000	10,000	0	
		小 計	10,000	10,000	0	
合 計			10,000	10,000	0	

[様式:報-2-3]

<支出明細書>

(単位:円)

科 目	細 目	摘 要	予算額	決算額	差 額	備 考
1. 会場設営費	会場費	文教スタジオ 5 階	10,000	10,000	0	
		小 計	10,000	10,000	0	
合 計			10,000	10,000	0	

予算との主な差異

(収入) なし

(支出) なし

< 2月総会風景 >



＜欠席理由ヒアリング結果＞

欠席者：14名（内 正会員11名）

- ・仕事の都合 11名（78.6%）
- ・家庭の事情 2名（14.3%）
- ・体調不良 1名（7.1%）

●三役

- ・大野 勝輝君 …… ご家族の体調不良により欠席

●総務広報委員会

- ・木村 佳史君 …… 仕事の都合で時間調整が出来ず欠席
- ・檜原 大輝君 …… 仕事の都合で時間調整が出来ず欠席
- ・福原 悠平君 …… 仕事の都合で時間調整が出来ず欠席
- ・村上 元気君 …… ご家族の体調不良により欠席

●組織の輪確立委員会

- ・西村 健太郎君 …… 仕事の都合で時間調整が出来ず欠席
- ・奥田 拓郎君 …… 仕事の都合で時間調整が出来ず欠席
- ・杉 康輔君 …… 仕事の都合で時間調整が出来ず欠席
- ・山田 雅崇君 …… 病院通院のため時間調整ができず欠席

●地域共創委員会

- ・中西 雄也君 …… 急な仕事が入ったため時間調整が出来ず欠席
- ・土田 浩史君 …… 仕事の都合で時間調整が出来ず欠席

●仮入会会員

- ・有田 嘉樹君 …… 仕事の都合で時間調整が出来ず欠席
- ・高橋 寛之君 …… 仕事の都合で時間調整が出来ず欠席
- ・原田 佳祐君 …… 仕事の都合で時間調整が出来ず欠席

過去5年間正会員及び卒業生出席状況

	開催日	正会員	卒業会員	場所
2018年	2月 9日 (金)	19/38 (50.0%)	5/ 7 (71.4%)	龍鱗
2019年	2月12日 (火)	20/33 (60.6%)	5/ 6 (83.3%)	文教スタジオ
2020年	2月12日 (火)	16/32 (50.0%)	3/ 3 (100.0%)	文教スタジオ
2021年	2月10日 (水)	23/33 (69.6%)	2/ 3 (66.6%)	文教スタジオ
2022年	2月10日 (木)	18/30 (60.0%)	1/ 3 (33.3%)	文教スタジオ
2023年	2月10日 (金)	20/30 (66.6%)	0/ 0	文教スタジオ

公益社団法人 彦根青年会議所

2023年度 事業報告書

第6回理事会3号議案

議案名 : 会員研修～人間力溢れる人財へ～開催
 提案者 : 組織の輪確立委員会
 作成者 : 丸山 義樹
 上程月日 : 2023年4月24日

目次	上程スケジュール
事業報告書 (1) ページ～ (3) ページ	第22回 執行部会 2023年 3月15日 協議
収支決算書 (4) ページ	第23回 執行部会 2023年 3月29日 協議
添付資料 (5) ページ～ (12) ページ	第10回 財政規則特別委員会 2023年 4月 3日 審査
最終ページ (12) ページ	第24回 執行部会 2023年 4月 5日 審議
	第6回 理事会 2023年 4月24日 審議

1. [事業報告提案名]

会員研修～人間力溢れる人財へ～開催の件

2. [運動指針該当項目]

・本事業は運動指針「We can go to the next stage～私たちのチカラがひこねの未来を創造する～」において、下記の項目に該当する
 「ひと」のチカラ・・・使命感と行動力を持った“ひこねびと”の伝承
 「組織」のチカラ・・・目指すべき彦根青年会議所像

3. [事業の目的と意義：対外]

なし

4. [事業の目的と意義：対内]

メンバー一人ひとりが率先して行動するJAYCEEとして飛躍を遂げるためには、組織の礎となるメンバーの資質を向上させる必要があると考えます。

本会員研修では、自分の意志を言葉にして想いを伝える場を創出し、メンバーが相互研鑽に励むことにより、人間力溢れる魅力的な人財へと成長する契機になると考えます。

5. [事業報告の概要・推進方法]

- ① (実施日時) 2023年 2月17日 (金) 19:00～20:34 (受付18:30～)
- ② (実施場所・会場) 文教スタジオ 5F会場
住所：滋賀県彦根市佐和町6-15
電話：0749-22-7681
- ③ (決算額) 10,000円
※詳細は [様式：報-2-1～3] 事業収支決算書参照
- ④ (外部協力者) なし
- ⑤ (対象者) 47名 (正会員30名、仮入会会員15名、外部監事2名)
- ⑥ (参加人数) 18名 (正会員18名)
- ⑦ (事業推進状況)
 - 1月 6日 1月度例会にてPR
 - 1月16日 委員長連絡会議にてPR

1月28日	総務広報委員会、地域共創委員会へ委員会訪問にてPR	
2月6日	2月度例会にてPR 出欠確認開始	
2月10日	メーリングリストにてPR開始	
2月14日	委員会にてリハーサル	
2月17日	会員研修～人間力溢れる人財～開催	
1.	受付開始	18:30
1.	開会	19:00
1.	理事長挨拶	19:00
1.	レイアウト変更	19:02
1.	会員研修タイム	19:03
1.	趣旨説明	19:04
1.	第一部ディベートタイム説明	19:05
1.	第一部ディベートタイム	19:06
1.	第二部大声タイム説明	19:37
1.	第二部大声タイム	19:38
1.	第三部意気込みタイム説明	20:12
1.	第三部意気込みタイム	20:13
1.	アンケート記入	20:25
1.	若い我ら斉唱	20:30
1.	会員研修タイム終了	20:32
1.	閉会	20:34
2月18日	メーリングリストにて御礼、録画ムービー配信	
3月4日	委員会にて検証及び事業報告書作成	
4月24日	事業報告書を理事会へ上程	

6. [開催目的の実現と成果]

- ・本会員研修を開催した事により、メンバーが相互研鑽をする中で、話すチカラと聞くチカラを磨き、今後の青年会議所活動に活かせる資質の向上を行って、メンバー一人ひとりがどのような場でも活躍できる人財の育成に繋がる一助になったと考えます。
- ・趣旨説明にて本会員研修の意義や目的を伝えたため、本会員研修の位置づけや理解を深める一助になったと考えます。
- ・ディベートを行い、自分の意見を明確に伝え、相手の意見に素早く対応した事により、理解力や発信力の向上に繋がる契機になったと考えます。
- ・三人一組でディベートを行った事により、第三者の聞き手からの意見をもらい、欠点や良さに気付く事が出来て自身を見直し、より成長するための一助となったと考えます。
- ・大声タイムを行った事によりメンバー一人ひとりがセレモニーやJC活動において大きな声をだせるようより成長するとともに、恥じらいなく自信に満ち溢れた活動を展開できる人財になる契機になったと考えます。
- ・大声タイムをグループに分かれて少人数で行った事により、一人ひとりが自身で大きな声を出さなければという自覚をもてたため、人任せではなく責任感をもつ契機になったと考えます。
- ・意気込みタイムを行い、前に出て2023年度JC活動への想いを伝える事が出来たため、青年会議所活動において必要な人前に立つ経験、人前で話す力を向上させ、自ら前に出るという強い意志を持ち、発言できる人財へと成長する契機になったと考えます。

7. [実施上の問題点]

- ・参加メンバーが18名と少ない結果となり、その結果予定閉会時間より35分早い閉会となりました。事前にPRを重ねて行い、会員研修を開催する目的や意義を周知することで参加要請を十分に実施する必要があったと考えます。

8. [次年度への引継事項]

- ・会員研修はメンバーの参加が重要です。1人でも多くのメンバーに参加していただけるよう、委員会の想いや事業の目的、意義を十分に伝えて効果的なPRを実施し、魅力ある設えを検討していただきたい。
- ・三人一組のグループ分けを事前にしていましたが、当日欠席のメンバーや、遅参されたメンバーがおられ、人数合わせのため余計な移動をしていただく事になりました。事前にそうなった際の対応を考え無駄な時間の削減に繋げていただきたい。

9. [添付資料の種類]

- ・参考資料ー1 事業風景写真
- ・参考資料ー2 2023年度意気込み
- ・参考資料ー3 アンケート考察

10. [その他]

なし

事業収支決算書

[様式:報-2-1]

<事業報告収支決算書>

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差額	摘要
(収入の部)				
1. 本会計からの繰入金	10,000	10,000	0	
収入計	10,000	10,000	0	
(支出の部)				
1. 会場設営費	10,000	10,000	0	
支出計	10,000	10,000	0	
収支差額	0	0		

※上記収支差額(剰余金)は第6回の理事会の承認を経て本会計に繰り入れる

[様式:報-2-2]

<収入明細書>

(単位:円)

科目	細目	摘要	予算額	決算額	差額	備考
1. 本会計からの繰入金		会員研修~人間力溢れる人財へ~	10,000	10,000	0	
	小計		10,000	10,000	0	
合計			10,000	10,000	0	

[様式:報-2-3]

<支出明細書>

(単位:円)

科目	細目	摘要	予算額	決算額	差額	備考
1. 会場設営費	会場費	文教スタジオ 5階	10,000	10,000	0	
	小計		10,000	10,000	0	
合計			10,000	10,000	0	

予算との主な差異

(収入) なし

(支出) なし

事業風景



趣旨説明



ディベートタイム例題



ディベートタイム風景



ディベートタイム風景



大声タイム風景



大声タイム風景



大声タイム風景



意気込みタイム風景



意気込みタイム風景



若い我ら斉唱風景



若い我ら斉唱風景



集合写真

欠席者2023年度JCへの意気込み

横津優騎・・・家族の事情により欠席

意気込み 2023年度も日々の青年会議所活動、運動を有意義なものにし、楽しみながら素晴らしい経験が出来る事を邁進します。

木田乃輔・・・仕事の都合で時間調整が出来ず欠席

意気込み 現役メンバーではないけれども最終年度だと思っていて、今まで経験したことを成果として残せるようにしたいです。

宮川佳典・・・仕事の都合で時間調整が出来ず欠席

意気込み ようやく本当の意味でラストイヤーになるのでこれまでの経験を現役メンバーに伝えつつ、未来を担う皆の邪魔にならないようにしたい。

青木克実・・・仕事の都合で時間調整が出来ず欠席

連絡つかず

車宝超・・・仕事の都合で時間調整が出来ず欠席

意気込み ひこねの未来が活気に満ち溢れ、更なる発展を遂げると確信しよう。

中西雄也・・・どうしても外せない用事があり欠席

意気込み 懇親会部会長として70周年成功するように頑張りたいです。

藤井肇・・・体調不良により欠席

意気込み 財政規則特別委員長としての職務を全うし、70周年もあるので全力で楽しむ1年にしたいです。

奥田拓郎・・・家族の事情により欠席

意気込み 今年は出来るだけ参加し、頑張りたいです。

杉康輔・・・仕事の都合で時間調整が出来ず欠席

意気込み 70周年頑張るぞ。

土田浩史・・・仕事の都合で時間調整が出来ず欠席

意気込み 今年は、周年ということもありますが、積極的に自己成長できるよう皆さんと協力して様々な事業に取り組みたいと思います。

高橋寛之・・・仕事の都合で時間調整が出来ず欠席

意気込み 今年はJC活動に積極的に参加して彦根JCのこと、地元のことを色々知っていきたいです。

藤本夏樹・・・仕事の都合で時間調整が出来ず欠席

意気込み 本年度はJCに入会した年であり、加えて70周年という記念すべき年でもあるためJC活動に全力で取り組み充実した1年にしたいと思っています。

木村佳史

連絡つかず

檜原大輝

連絡つかず

福原悠平

連絡つかず

村上元気
連絡つかず

有田嘉樹・・・仕事の都合で時間調整が出来ず欠席

原田佳祐・・・仕事の都合で時間調整が出来ず欠席

参加者2023年度意気込み

橋本一幾

最後なのでみんなの言う事を聞いて皆さんが言った事を実行出来るか常にチェックしていますので、出来ていなかったら苦言を呈します。今日の会員研修ありがとうございました。1年どうぞよろしく願いいたします。

大野勝輝

事業系の副理事長として、謝辞が回ってきます。今日の経験を生かし大きな声で謝辞を行い、青年会議所の存在感を発揮、PRしたいと思います。

澤井雄一

私は実行委員会をするために彦根青年会議所に入会しました。必ず周年を成功させ、次年度気持ち良く卒業したいと思います。

西川隼世

理事長が掲げた15名拡大を必ず成功させ、メンバー全員で15名拡大を成功し、そして何よりも私が一番拡大に携わり拡大王に俺はなる。

飛松龍

総務広報委員会担当副理事長として、執行部の一人として、周年に向けて何よりも妻の顔を伺いながら頑張りたいと思います。

夏原大輝

2023年度専務理事としてまず第一に橋本理事長をしっかりと支え、そして周年という大事な年に彦根青年会議所を盛り立てることが役目だと思っています。皆さんも橋本理事長にしっかりとついてきていただいて、この周年という大事な年を盛り立てていただきますようお願いいたします。

澤田晃仁

今年7年目で最終年度で委員長をさせていただきます。70周年という記念すべき年に委員長をさせていただける喜びをかみしめながら厳しい中でも頑張って1年間駆け抜けていきたいと思いますので皆さんよろしく願いします。

上田一八

事務局長として、理事会の設営や、議事録作成を主体とする事務局の担いを全うし足元をしっかりと固めたいと思います。

夏原慶

本年度は式典部会長として、1年頑張っていきたいと思っています。式典の方はメンバーの皆様全員の協力が必要不可欠となってきますし、今日のような大きな声で色々声を足していただきたいなと想いますのでよろしくお願いいたします。

岡本英志

総務広報委員会の委員の一人として、委員長をしっかりとお支えし、しっかりと役割を全うしたいと思います。

丸山義樹

委員長職を全うし、一年間やりきることを頑張ります。

西村健太郎

丸山委員長の副委員長として一年間丸山委員長が楽しく活動出来るようにサポートしたいと思います。委員長何でも言ってください。

北村忠征

70周年もあり特別な年なので、例年に比べてよりひとつひとつ頑張っている酒を飲みたい。乾杯

園一生

私は楽しみたいです。頑張るぞ。おー

山田雅崇

まず初めに今抱えている病気と戦い治していきたいと思います。ですが3月に一週間、二週間ほど検査入院をし治療を行います。2023年度まだまだ彦根青年会議所にご協力出来ていないと思っておりますので、今後もっと例会や事業色々な所に参加させていただいて皆様のために頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

西村直人

事業系の委員長をこの1年間頑張れ、事業ひとつひとつ凄く盛り上がる1年にしたいと思います。

清水翔太

地域共創委員会の副委員長と、アカデミー委員会と、セクレと色々任せていただいているので全てを全う出来るように頑張りたいと思います。2月26日にアカデミーの事業がありますので是非参加をお願いします。

北川凌

事務局メンバーとしてセクレ精一杯頑張りたいと思います。式典部会のメンバーとして夏原部会長を精一杯サポートしたいと思います。

アンケート集計結果

1. ディベートを行い、自分の意見を持ち、発言力の向上に繋がりましたか？

繋がった	17名
繋がらなかった	0名
どちらともいえない	1名

2. 1の質問において、そう感じられた理由をお聞かせください。

- ・繋がったから
- ・即座に自分の意見をまとめるきっかけになったから
- ・普段の考えと違う立場で考えて発言することができた。
- ・頭と体を使ったから
- ・普段問題視しない所を考え発言できた。
- ・意思と違う事を分かりやすく伝えるのが難しかったけど、勉強になりました
- ・思っていない逆の事でも、正論を言わないとダメな所で考えながら意見を言ったから。
- ・違う意見の相手と意見を交換し合う中で、考えながら端的に話すということに改めて意識を持ったため。
- ・自分が置かれている立場と違う立場に立って物事を考える事で新たな発信力がついたと思います
- ・自分の意見を声に出すということは、くり返し行うことでできるようになると思う。その練習になった。
- ・普段考えない意見も無理にでも考えるきっかけができました。
- ・自分の考えだけでなく相手の考えを尊重しつつ話すことができたから
- ・相手に納得してもらえるように、考え話せたから
- ・出されたお題に対して、考えディベートを行ったから
- ・自分の考えを言う良いきっかけになった。

どちらともいえない

- ・繋がる部分もあったが、例題をもう少し複雑にしてほしかった。

3. 大声タイムを行い、今後のセレモニーなどで今まで以上に声を出すことができるきっかけとなりましたか？

できるようになった	16人
できるようにならなかった	0人
どちらともいえない	2人

4. 3の質問において、そう感じられた理由をお聞かせください。

- ・できるようになったから
- ・メンバーが思ってる以上の声が出ていたため、出しやすい環境ができた
- ・メンバーの前で大きな声で歌うことが出来た。
- ・恥ずかしがらずにできるきっかけになった。
- ・できます
- ・3月例会も大きな声でセレモニーが出る気がする
- ・一度大きな声を出すと、次から普通に声出せそう。
- ・一度大きな声を出す事により、次回以降に大きな声を出す事の抵抗が和らいだと思います
- ・恥ずかしさが吹っ切れた。
- ・セレモニーで大きな声を出す機会が今までなかったので良かったです
- ・一度大きな声を出して唱和しておくことでベースの声量が上がると感じたから。
- ・セレモニーは粛々とするイメージがあったが元気があるのも良いと思ったから
- ・恥ずかしさを気にせず、いつもより大声をだしたから

どちらともいえない

- ・特に理由はないです。
- ・次の例会でためてみます

5. 意気込みタイムを行い、人前で話す勇気や発言力の向上に繋がったと感じますか？

繋がった	16人
繋がらなかった	0人
どちらともいえない	2人

6. 5の質問において、そう感じられた理由をお聞かせください。

- ・繋がったから
- ・経験として、大声で言う機会ができたから。
- ・人前で発言することがないので
- ・良い経験になりました。
- ・人前で話すことで慣れたから
- ・皆さんの行動を常にチェックします(笑)
- ・短時間で話す内容を考え大勢の前で話す事により発信力向上につながったと考えます
- ・自ら挙手をして前に出るのが良かったと思う。
- ・大きな声で言うことによって、自分自身にも意識付けができた気がします
- ・自ら手を挙げて発言することで、人前で話す度胸をつけるためのスタートラインに立てるように感じたから。
- ・自分の考えを多くのメンバーの前で伝えられたから
- ・人前で大きな声で話すことで自信に繋がると感じたから

どちらともいえない

- ・なし
- ・ちょっと声が小さな人がいた。

7. 本会員研修に参加したことにより、人間力の向上に繋がりましたか？

繋がった	17人
繋がらなかった	0人
どちらともいえない	1人

8. 最後に本会員研修の率直なご意見、ご感想をお聞かせください。

- ・楽しかったお
- ・とてもいい研修となり、そして組織の輪が構築されていたようにも感じた。
- ・簡潔でわかりやすい内容だったが大きな学びになった。
- ・色々な方と話せて、大きな声を出せて良かったです。
- ・楽しい研修だったし、他のメンバーが向上できたと思います。
- ・交流系らしく楽しい例会でした。
- ・純粹に会員研修を楽しむことが、1番の資質の向上に繋がると思いました
- ・楽しみながらできた会員研修でした。
- ・委員長、お疲れ様でした！
- ・今日のように、もっとメンバーが声を出していけるような、そんな雰囲気作りを組織の輪確立委員会に求めています。
- ・総じて良い研修でした！委員長、委員会メンバーの皆様お疲れ様でした。
- ・設営、雰囲気ともに良い研修でしたが、参加人数が少なかったのが残念です
- ・楽しく学べたと思います。
- ・とても楽しくできました。参加したメンバーの成長にも繋がったと思います。参加できてない人も何かできれば尚良いですね。お疲れ様でした！
- ・普段全員で大きな声を出す機会がないので新鮮で良かったです。良い機会だったのでもっと多くのメンバーが集まれば更に良かったと思いました。
- ・良い会員研修でした。もう少し出席率があがればよかったかな
- ・もう少しメンバーが多いとよかったと思う。
- ・ディパートを1組ずつ前で話してもらってもよかったと感じた。
- ・いい会員研修でした！

アンケート考察

質問1. ディベートを行い、自分の意見を持ち、発言力の向上に繋がりましたか?について

どちらともいえないと答えられたメンバー1名おられ「繋がる部分もあったが、例題をもう少し複雑にしてほしかった。」という意見がありました。

例題なのでメンバーの皆様に分かりやすく見本を見ていただくため簡単なテーマにしましたが、もう少し本題にそった例題にする方がより分かりやすく伝えられたと考えます。

17名のメンバーが繋がったと答えていただき、全体的に「自分が置かれる立場と違う立場に立って物事を考える事で新たな発信力がついたと思います」という意見を多くいただき、自身の意志とは関係ない立場に置く事で、新たな考えを生み出し、メンバーの発信力の向上に繋がったと考えます。

質問3. 大声タイムを行い、今後のセレモニーなどで今まで以上に声を出すことができるきっかけとなりましたか?について

どちらともいえないと答えられたメンバーが2人おられ、「特に理由はないです。」「次の例会で試してみます。」という意見がありました。

現状では分からず、例会など試す場があってこそ自覚していただけたと考えます。

16名のメンバーが繋がったと答えていただき、全体的に「恥ずかしさが消えた」という意見を多くいただきました。

恥ずかしさに打ち勝ち大きな声を出せるようになったメンバーが多くいたと考えます。

質問5. 意気込みタイムを行い、人前で話す勇気や発言力の向上に繋がったと感じますか?について

どちらともいえないと答えられたメンバーが2人おられ、「なし」「声が小さい人がいた」という意見がありました。

声量には個人差があるものの、自身では大きな声を出しているつもりでも、周りから見れば大きな声だと思ってもらえていない場合があると考えます。

16名のメンバーが繋がったと答えていただき、全体的に「人前で発言することがないので 良い経験になりました」という意見を多くいただきました。

メンバーの前に出て意気込みを言っていただく事によって、普段人前で話す機会が少ないメンバーにも良い経験していただけたと考えます。

人前で話す事が多いメンバーからは「自分の考えを多くのメンバーの前で伝えられたから」という意見をいただき、自身の考えをメンバーに伝える事で発言力の向上に繋がったと考えます。

質問7. 本会員研修に参加したことにより、人間力の向上に繋がりましたか?について

どちらともいえないと答えられたメンバーが1人おられたが、全体的に人間力の向上に繋がったと思っていただけメンバーが多く、本会員研修を開催した事により得た、話すチカラを生かし、今後の彦根青年会議所活動に活用出来ると考えます。

質問8. 最後に本会員研修の率直なご意見、ご感想をお聞きかせください。について

参加メンバーの少なさを指摘された意見があり、1人でも多くのメンバーに参加していただけるよう、委員会の想いや事業の目的、意義を十分に伝えて効果的なPRを実施してより多くのメンバーに参加していただく事が必要だと考えます。

全体的に「良い会員研修だった」「楽しい会員研修だった」という意見を多くいただき、メンバーの皆様が会員研修～人間力溢れる人財へ～を通して、楽しみながら参加していただき、人間力の向上に繋がった事が分かり、有意義な設えが出来たものと考察します。

公益社団法人 彦根青年会議所

2023年度 事業計画書

第6回理事会4号議案

議案名：周年事業積立資産本会計への切り崩し

提案者：理事長

作成者：夏原 大輝

上程月日：2023年 4月24日

目次	上程スケジュール				
事業計画書 (1) ページ	第22回	執行部会	2023年 3月15日	協議	
行動計画書 (2) ページ	第23回	執行部会	2023年 3月29日	協議	
添付資料 (2) ページ	第24回	執行部会	2023年 4月 5日	審議	
最終ページ (2) ページ	第 6回	理事会	2023年 4月24日	審議	

1. [事業計画提案名]

周年事業積立資産本会計への切り崩しの件

2. [事業の目的と意義：対外]

なし

3. [事業の目的と意義：対内]

公益社団法人彦根青年会議所周年記念事業積立金規則第5条ならびに公益社団法人彦根青年会議所周年関連事業積立金規則第5条の規定に基づき、5月臨時総会上程議案である周年事業積立資産本会計への切り崩しを提案いたします。

4. [事業計画の概要・推進方法]

- ① (実施日時) なし
- ② (実施場所・会場) なし
- ③ (予算総額) なし
- ④ (外部協力者) なし
- ⑤ (参加者動員計画) なし
- ⑥ (宣伝・推進方法) なし
- ⑦ (事業概要) 審議資料 周年事業積立資産本会計への切り崩し 記載のとおり

5. [前年度よりの引継事項]

なし

6. [本年度の工夫と期待される効果]

なし

7. [執行部会での意見]

なし

8. [添付資料の種類]

- ・審議資料 周年事業積立資産本会計への切り崩し

9. [その他]

なし

[様式：計-3]

行 動 計 画 書

事 業 名	周年事業積立資産本会計への切り崩し		
期 間	企画開始 2023年3月15日 ~ 企画終了 2023年5月10日		
行 動 計 画	月 日	内 容	確認印
	2023年 3月15日	執行部会にて周年事業積立資産本会計への切り崩しを協議	済
	3月29日	執行部会にて周年事業積立資産本会計への切り崩しを協議	済
	4月 5日	執行部会にて周年事業積立資産本会計への切り崩しを審議	済
	4月24日	第6回理事会に上程	
	5月10日	5月臨時総会に上程	

審議資料

周年事業積立資産本会計への切り崩し

周年事業積立資産本会計への切り崩し ¥2,000,000

使途の目的 一連の周年事業の運営資金として

以上

公益社団法人 彦根青年会議所

2023年度 事業計画書

第6回理事会5号議案

議案名 : 第37回彦根シティマラソン実行委員会参加
 提案者 : 執行部
 作成者 : 大野 勝輝
 上程月日 : 2023年 4月24日

目次	上程スケジュール
事業計画書 (1) ページ～ (2) ページ	第25回執行部会 2023年 4月12日 審議
行動計画書 (2) ページ	第6回理事会 2023年 4月24日 審議
添付資料 (3) ページ～ (3) ページ	
最終ページ (3) ページ	

1. [事業計画提案名]

第37回彦根シティマラソン実行委員会参加の件

2. [運動指針該当項目]

・本事業は運動指針「We can go to the next stage～私たちのチカラがひこねの未来を創造する～」において、下記の項目に該当する
 「まち」のチカラ・・・“ひこねオリジナル”の提唱による活気溢れる地域の創造
 「こころ」のチカラ・・・“ひこねスピリット”が漲る活力ある地域社会の継承

3. [事業の目的と意義：対外]

地域を代表するスポーツ大会である本大会に実行委員として参加し、行政・諸団体との連携を深めるとともに、市民がこのまちへの関心を深め、地域により良い影響をもたらす大会の構築に貢献できる一助になると考えます。

4. [事業の目的と意義：対内]

本大会実行委員会への参加を通して、メンバーが本大会の運営を担う団体としての意識と自覚を高揚させ、このまちを想うこころや、参加された人びとと積極的に向き合うことができる一助になると考えます。

5. [事業計画の概要・推進方法]

- ① (実施日時) 2023年 5月下旬～2024年 3月31日
- ② (実施場所・会場) なし
- ③ (予算総額) なし
- ④ (外部協力者) なし
- ⑤ (参加者動員計画) なし
- ⑥ (宣伝・推進方法) なし
- ⑦ (事業概要) 第37回彦根シティマラソン実行委員会出向者
 大会役員 橋本 一幾理事長
 実行委員 大野 勝輝、西村 直人、清水 翔太、中西 雄也、藤井 肇、北川 凌

6. [前年度よりの引継事項]

なし

7. [本年度の工夫と期待される効果]

・実行委員会に参加することにより、関係諸団体と彦根青年会議所が意見交換を行い共に大会を構築する中で連携を更に深めるとともに、このまちの魅力を地域に浸透させる一助になると考えます。

8. [執行部会での意見]

- ・1987年から継続してきた大会を成功させるため、行政・諸団体と連携し積極的に運営に協力されたし。

9. [添付資料の種類]

- ・参考資料 大会役員並びに実行委員の選出依頼文

10. [その他]

[様式：計-3]

行 動 計 画 書

事業名		第37回彦根シティマラソン実行委員会参加	
期間		企画開始 2023年 3月29日 ~ 企画終了 2024年 3月31日	
行 動 計 画	月 日	内 容	確認印
	2023年 3月29日	彦根市スポーツ部スポーツ課と事前協議	済
	4月 4日	第37回彦根シティマラソンに関わる大会役員並びに実行委員の選出についての依頼書受理	済
	4月 7日	地域未来創出委員会にて実行委員メンバー選出	済
	4月 8日	大会役員、実行委員報告	済
	4月24日	理事会に事業計画書上程	
	5月 下旬	第37回彦根シティマラソン実行委員会に参加以降、随時実行委員会及び各部会へ参加	
	11月 月上旬	第37回彦根シティマラソン開催 (予定)	
	2024年 3月31日	第37回彦根シティマラソン実行委員会出向完了	

大会役員並びに実行委員の選出依頼文

彦シティマラ 第 1 号
令和 5 年(2023 年)4 月 4 日

彦根シティマラソン実行委員会構成団体 各位

彦根シティマラソン実行委員会
委員長 堀 貴志夫

令和5年度彦根シティマラソン実行委員会に係る大会役員および実行委員の選出について(依頼)

平素は、本大会に格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

標記の件について、貴団体から下記のとおり大会役員および実行委員を選出の上、**4月12日(水)**までに下記担当まで別紙報告書により回答いただきますよう併せてお願いします。

なお、令和5年度につきましては、開催の方向で運営方法等を検討していくこととなりますのでよろしくお願いたします。

記

団 体 名	大会役員(団体長) 依頼人数(名)	実行委員 依頼人数(名)
彦根市学区体育振興会連絡協議会	1	1
公益社団法人彦根青年会議所	1	6
一般社団法人彦根市スポーツ協会	1	1
公益社団法人彦根観光協会	1	1
彦根市スポーツ推進委員協議会	1	2
彦根市陸上競技協会	1	5
彦根商工会議所	1	1
彦根亀の子ランナーズクラブ	1	2
彦根市内郵便局	1	1
彦根市文化スポーツ部スポーツ振興課	0	1
計	9	21

■彦根シティマラソン実行委員会事務局
 (彦根市文化スポーツ部スポーツ振興課内)
 担当 安部(肅)・竹内
 〒522-8501 彦根元町4番2号 彦根市役所本庁舎4階
 TEL: 0749-22-5955
 FAX: 0749-23-2660
 E-mail: sports@na.city.hikone.shiga.jp

公益社団法人 彦根青年会議所

2023年度 事業計画書

第6回理事会6号議案

議案名 : 6月度例会～コンプライアンスコンプライト～開催
 提案者 : 財政規則特別委員会
 作成者 : 藤井 肇
 上程月日 : 2023年 4月24日

目次	上程スケジュール
事業計画書 (1) ページ～ (3) ページ	第22回 執行部会 2023年 3月15日 協議
収支予算書 (4) ページ	第23回 執行部会 2023年 3月29日 協議
行動計画書 (5) ページ	第10回 財政規則特別委員会 2023年 4月 3日 審査
添付資料 (6) ページ～ (17) ページ	第24回 執行部会 2023年 4月 5日 審議
最終ページ (17) ページ	第6回 理事会 2023年 4月24日 審議

1. [事業計画提案名]

6月度例会～コンプライアンスコンプライト～開催の件

2. [運動指針該当項目]

・本事業は運動指針「We can go to the next stage～私たちのチカラがひこねの未来を創造する～」において、下記の項目に該当する
 「組織」のチカラ・・・～目指すべき彦根青年会議所像～

3. [事業の目的と意義：対外]

なし

4. [事業の目的と意義：対内]

彦根青年会議所がこれまで以上に地域や関係諸団体との信頼関係を築き上げるためには、組織運営に必要な不可欠なコンプライアンスについて周知徹底するだけでなく、メンバーがその重要性を再認識した上で意識向上を目指す必要があると考えます。

本例会では、メンバーがコンプライアンスについて理解を深めるとともに、意識付けを徹底することで、健全かつ円滑な組織づくりを構築する契機にしたいと考えます。

5. [事業計画の概要・推進方法]

- ① (実施日時) 2023年 6月 6日 (火) 19:00～21:08
- ② (実施場所・会場) 株式会社文教スタジオ 5階
住所：滋賀県彦根市佐和町6-15
電話：0749-22-7681
- ③ (予算総額) 12,114円
※詳細は別紙 [様式：計-2-1～3] 事業計画収支予算書参照
- ④ (外部協力者) 公益社団法人日本青年会議所総務グループ 規則審査会議 議長
JCI静岡 栗田 泰吉君
- ⑤ (参加者動員計画) メンバー47名 (正会員32名、仮入会会員13名、外部監事2名)

- ⑥ (宣伝・推進方法)
- ・月報6月号にてPR
 - ・5月度例会にてPR
 - ・委員会訪問にてPR
 - ・委員長連絡会議にてPR
 - ・メーリングリスト及びSNSにてPR

⑦ (事業概要) 6月度例会 アジェンダ

1. 受付開始	18:30
1. 開会宣言・点鐘	19:00
1. 国歌斉唱	19:01
1. JCソング斉唱	19:03
1. JCI Creed唱和	19:05
1. JCI Mission並びにJCI Vision唱和	19:06
1. JC宣言文朗読並びに綱領・LOMスローガン唱和	19:07
1. 理事長挨拶	19:08
1. 会務報告	19:13
1. 委員会報告	19:15
1. 出向報告	19:25
1. レイアウト変更	19:30
1. 委員会タイム(83分)	19:32
1. レイアウト変更(アンケート回答)	20:55
1. 監事所感	21:00
1. 若い我ら斉唱	21:05
1. 閉会宣言・点鐘	21:07
1. 終了	21:08

6. [前年度よりの引継事項] (2022年度5月度例会報告書より)

- ・時代によって変わりゆくコンプライアンス、セレモニー、ドレスコードについて違反探しを通じてメンバーが学びを得る場を設えました。時代に沿って変化するコンプライアンス等について、彦根青年会議所が順応し健全且つ円滑な組織づくりを構築する取り組みを検討していただきたい。

7. [本年度の工夫と期待される効果]

- ・本例会を開催することにより、コンプライアンスの重要性を再認識し今後の活動に活かすことが出来るとともに、メンバー一人ひとりがJCプロトコルへの高い意識を持ち、健全な組織を構築する契機になると考えます。
- ・公益社団法人日本青年会議所総務グループ 規則審査会議 議長である栗田君を講師としてお招きすることにより、青年会議所活動に必要なコンプライアンス、セレモニーや身だしなみに関するJCプロトコルへの知識を深めるとともに、同じ組織でありながらより徹底された審査基準や身だしなみを知る契機になると考えます。
- ・事前取り組みとして、ドレスコードと身だしなみに関して委員会からメンバーに伝えることにより、今一度身だしなみを見つめ直すとともに、JCI彦根格付けチェックへの意欲を高める一助になると考えます。
- ・JCI彦根格付けチェックにおいて、講師から学んだセレモニー所作を実演し、講師と理事長からチェックしていただくことにより、メンバー一人ひとりが所作や身だしなみを再認識しながら、統一感をもたらすとともに、70周年の式典セレモニーに役立てる一助になると考えます。
- ・アンケートを実施することにより、意見を収集するとともに、本例会の検証を行う一助になると考えます。

8. [執行部会での意見]

- ・メンバーにコンプライアンスの必要性や重要性を認識していただくだけでなく、今後のJC活動に生きる内容の事業構築をされたし。

9. [添付資料の種類]

- ・審議資料ー1 委員会タイム概要
- ・審議資料ー2 会場レイアウト
- ・審議資料ー3 アンケートレイアウト
- ・参考資料ー1 講師プロフィール
- ・参考資料ー2 格付けチェックシート
- ・参考資料ー3 コンプライアンスとは
- ・参考資料ー4 セレモニーに関するJ Cプロトコル
- ・参考資料ー5 ドレスコード

10. [その他]

事前取り組みとして、委員会訪問とメーリングにてドレスコードをメンバーに伝えます。

事業計画収支予算書

[様式:計-2-1]

<事業計画収支予算書>

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	摘 要
(収入の部)				
1. 本会計からの繰入金	12,114	10,000	10,000	
収入計	12,114	10,000	10,000	
(支出の部)				
1. 会場設営費	10,000	10,000	10,000	
2. 講師関係費	1,946	0	0	
10. 通信費	168	0	0	
支出計	12,114	10,000	10,000	
収 支 差 額	0	0	0	

[様式:計-2-2]

<収入明細書>

(単位:円)

科 目	細 目	摘 要	金 額	備 考
1. 本会計からの繰入金		6月度例会～コンプライアンスコンプライト～開催	12,114	
	小 計		12,114	
合 計			12,114	

[様式:計-2-3]

<支出明細書>

(単位:円)

科 目	細 目	摘 要	金 額	備 考
1. 会場設営費	会場費	文教スタジオ 5階使用料	10,000	
	小 計		10,000	
2. 講師関係費	講師記念品	講師手土産@1,836 埋れ木	1,836	
	講師食事代	水@110	110	
	小 計		1,946	
10. 通信費	対外通信費	外部協力者依頼状及びお礼状@84×2	168	
	小 計		168	
合 計			12,114	

行 動 計 画 書

事業名		6月度例会～コンプライアンスコンプライート～開催	
期間		企画開始 2023年 2月 1日 ～ 企画終了 2023年 8月23日	
行 動 計 画	月 日	内 容	確認印
	2023年 2月 1日	委員会にて例会内容検討	済
	2月13日	委員会にて例会内容検討、京都会議のフォーラム動画で講師の講演動画確認	済
	2月14日	講師へ打診	済
	3月 1日	委員会にて例会内容検討	済
	3月28日	委員会にて例会内容検討 講師と打ち合わせ	済
	4月 3日	委員会にて例会内容検討	済
	4月24日	理事会に事業計画書を上程	
	4月25日	講師に正式依頼、依頼状発送	
	5月 上旬	委員会訪問にてPR及びドレスコードについて説明	
	5月 6日	5月度例会にてPR	
	5月 中旬	委員会メンバーにて出欠確認	
	5月16日	委員長連絡会議にてPR	
	5月 下旬	講師と最終打ち合わせ	
	5月30日	メーリングリスト及びSNSにてPR開始	
	6月 上旬	委員会にて最終打ち合わせ	
	6月 6日	6月度例会～コンプライアンスコンプライート～開催	
	6月 7日	礼状発送	
	6月 中旬	委員会にて事業報告書の作成開始	
8月23日	理事会に事業報告書を上程		

委員会タイム概要

[委員会タイムアジェンダ]

1. 講師入場	19:32	(2分)
1. 講師紹介	19:34	(2分)
1. 趣旨説明	19:36	(2分)
1. 栗田 泰吉君による講演		
テーマ1 コンプライアンスとは	19:38	(30分)
テーマ2 JCIプロトコル	20:08	(15分)
1. 質疑応答	20:23	(5分)
1. 会場レイアウト変更	20:28	(2分)
1. JCI彦根格付けチェック	20:30	(20分)
1. 謝辞	20:50	(3分)
1. 講師退場	20:53	(2分)
1. 終了	20:55	

<開催趣旨>

本例会では、青年会議所活動におけるコンプライアンスについて理解を深め、守るべき規律・規則を再認識するとともに、セレモニーの所作や正しい身だしなみへの意識を高めることにより、地域からの信頼を受け続ける組織を構築する契機にしたいと考えます。また、JCIプロトコルをメンバーが今一度しっかり理解することにより、70周年の式典セレモニーに役立てる一助になると考えます。

<趣旨説明> (2分)

【内 容】 本例会の開催趣旨を伝え、目的を理解していただきます。講師にお話して頂く前に、委員会タイムでの取り組み内容について簡単に説明します。

<講 演> (45分)

【講 師】 栗田 泰吉 君

【テーマ1】 コンプライアンスとは (30分)

【内 容】 青年会議所活動において守るべきとされるコンプライアンスについてお話していただきます。JCIマーク使用におけるルールから日本青年会議所でのコンプライアンス審査内容やその基準についてもお話いただきます。

【テーマ2】 JCIプロトコル (15分)

【内 容】 例会や総会において執り行われるセレモニー、ドレスコードや身だしなみについてお話していただきます。

<質疑応答> (5分)

【内 容】 講演内容をもとに、メンバーからの率直な意見や質問を交わしていただきます。

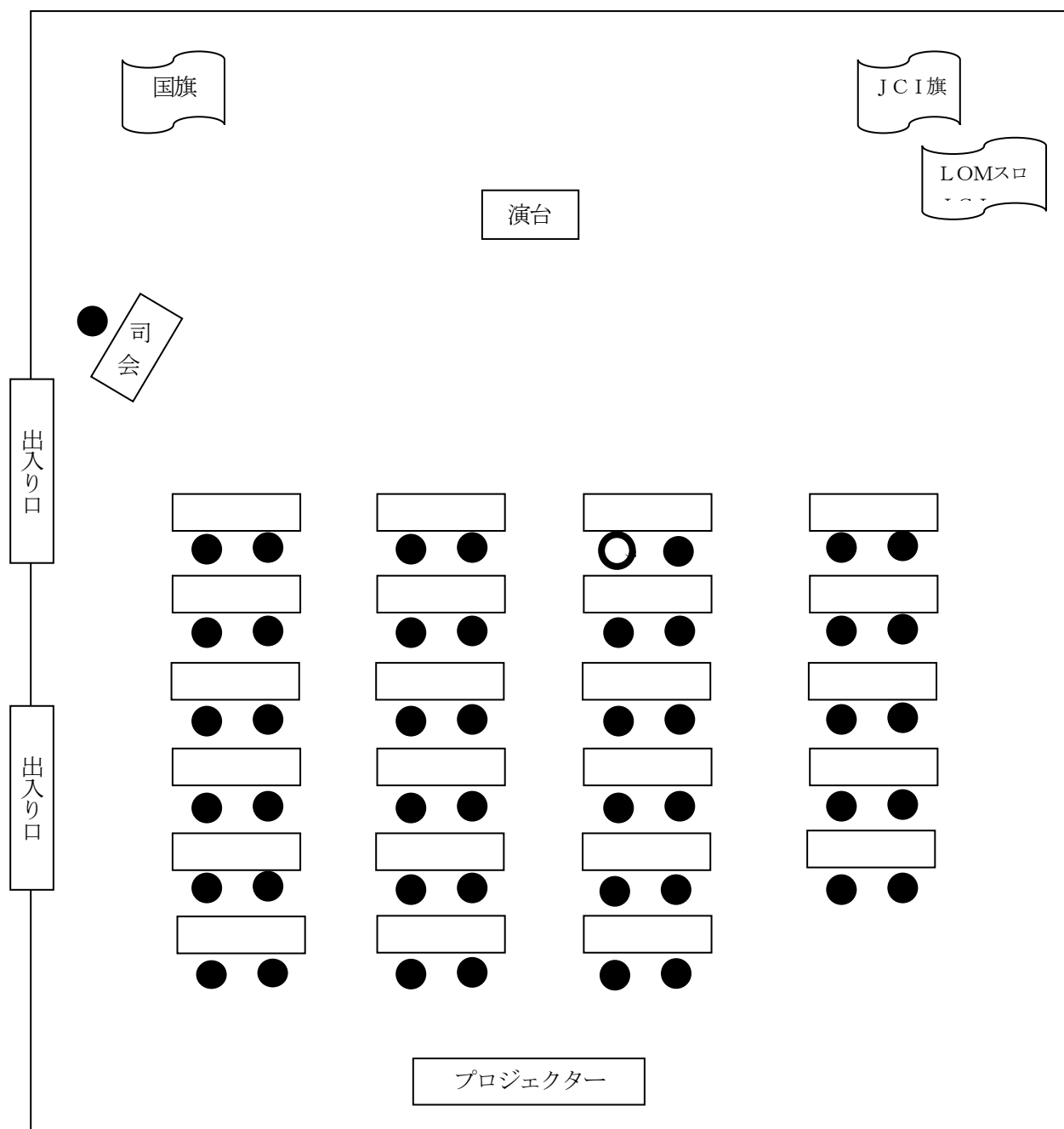
<JCI彦根格付けチェック> (20分)

【趣旨説明】 セレモニーにおける所作や各会議体でのドレスコード、身だしなみの必要性を説明するとともに、JCI彦根格付けチェックのルールを説明します。

【内 容】 メンバー全員に登壇～降壇までの動作をしていただき、所作と身だしなみを講師と理事長にチェックシートをもとに、採点していただき結果発表をします。

会場レイアウト

会場サイズ: 約14m × 約12m
 (セレモニー/監事所感~閉会時)

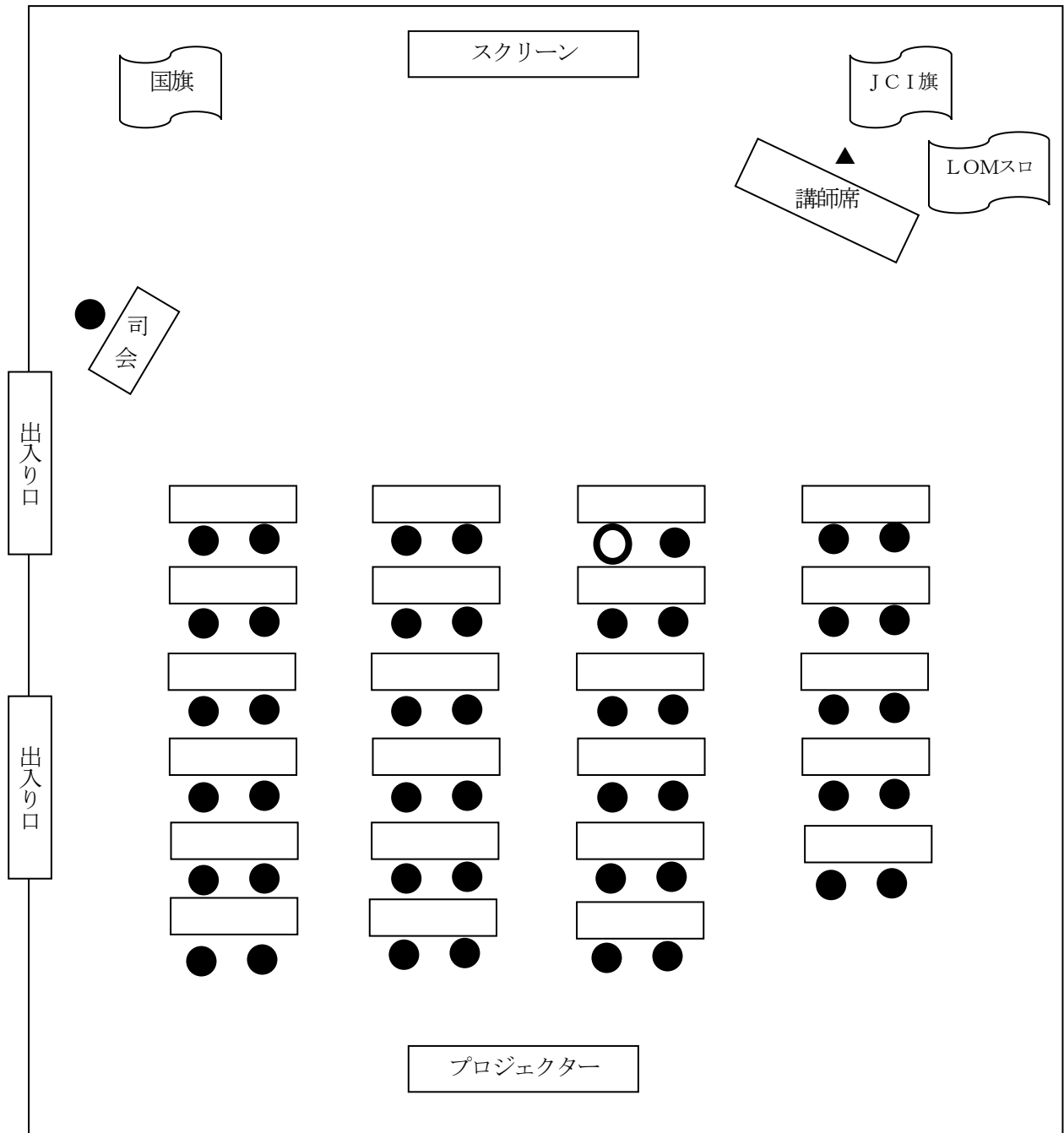


○ 理事長

会場レイアウト

会場サイズ: 約14m × 約12m

(委員会タイム 講師入場～質疑応答/謝辞)

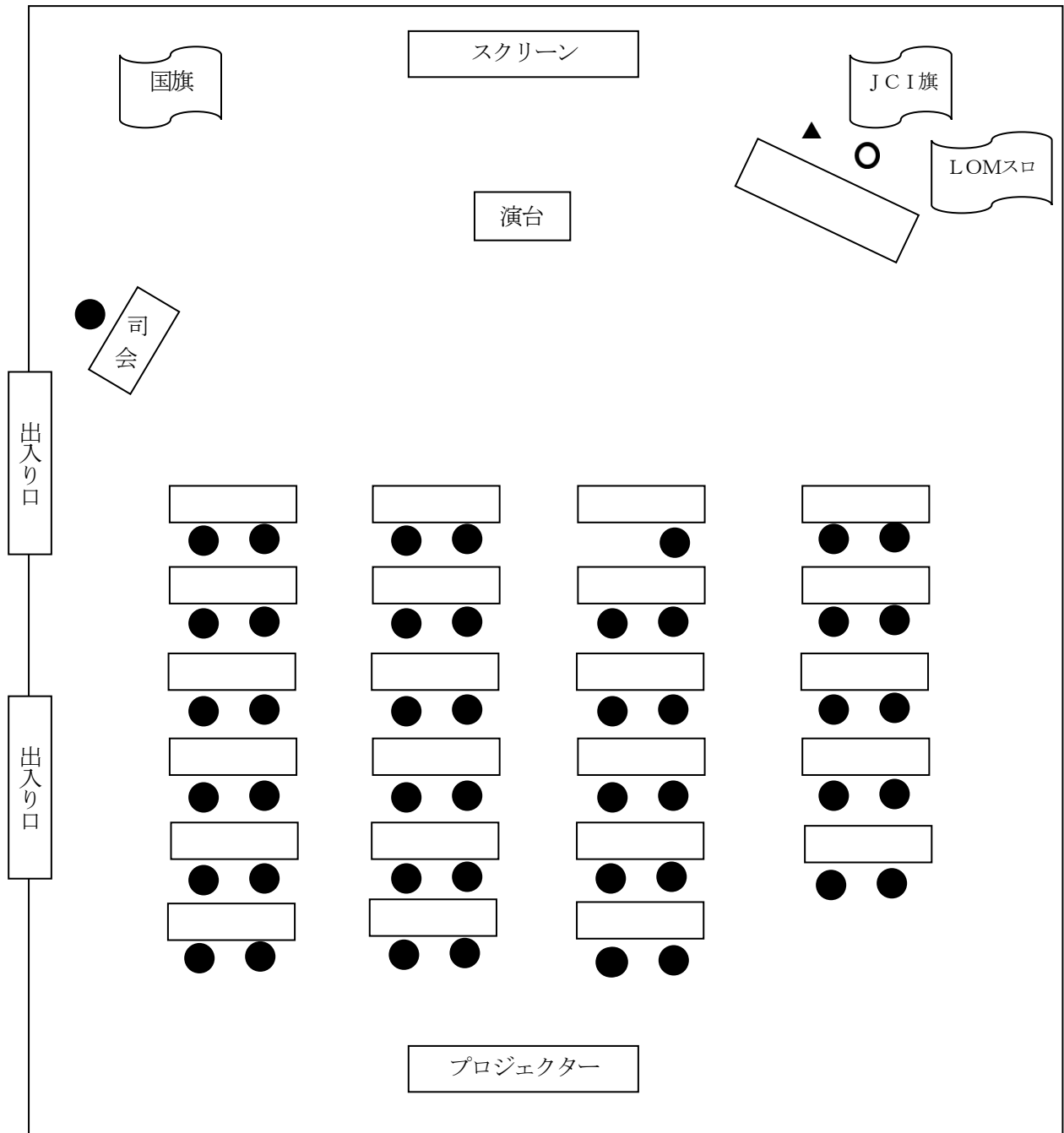


○ 理事長
▲ 講師

会場レイアウト

会場サイズ: 約14m × 約12m

(委員会タイム 彦根JC格付けチェック)



○ 理事長
▲ 講師

アンケート

公益社団法人彦根青年会議所 6月度例会～コンプライアンスコンプリート～ 例会アンケート

6月度例会にご参加いただきありがとうございました。お手数ですが例会アンケートにご協力をお願いいたします。

[Google にログイン](#)すると作業内容を保存できます。[詳細](#)

*必須

氏名 *

回答を入力

1, 本例会を通して、コンプライアンスへの理解を深め、重要性を知ることが出来ましたか？ *

- できた
- できなかった
- どちらともいえない

2, 1の質問において、そう感じられた要因をお聞かせください *

回答を入力

3, J Cプロトコルへの理解を深めることが出来ましたか？ *

- できた
- できなかった
- どちらともいえない

4, 3の質問において、そう感じられた要因をお聞かせください *

回答を入力

5, 格付けチェックを行ったことにより、セレモニー、ドレスコードへの理解を深め意識付けすることが出来ましたか？ *

- できた
- できなかった
- どちらともいえない

6, 5の質問において、そう感じられた要因をお聞かせください *

回答を入力

7, 最後に本例会の率直なご意見をお聞かせください。 *

回答を入力

送信

フォームをクリア

講師プロフィール

栗田 泰吉 (クリタ ヤスヨシ)

青年会議所 役職歴



平成27年	静岡青年会議所	入会
令和元年	静岡青年会議所	世界とつながるSHIZUOKA推進委員会
令和2年	静岡青年会議所	世界への協働確立室 常任理事室長
	日本青年会議所	国際アカデミー委員会 副委員長
令和3年	静岡青年会議所	副理事長
	日本青年会議所	静岡ブロック協議会 副会長
令和4年	静岡青年会議所	理事長
令和5年	静岡青年会議所	直前理事長
	日本青年会議所	規則審査会議議長
	(日本本会への出向5年 ブロック協議会への出向2年)	

学歴・職歴

平成21年	一橋大学法学部法律学科	卒業
平成23年3月	学習院大学法科大学院	卒業
平成23年9月	司法試験合格	
平成23年11月	最高裁判所司法研修所 (新第65期)	
平成24年12月	弁護士登録	まどか法律事務所 入所
平成28年1月	まどか法律事務所	パートナー弁護士就任

講師選定理由

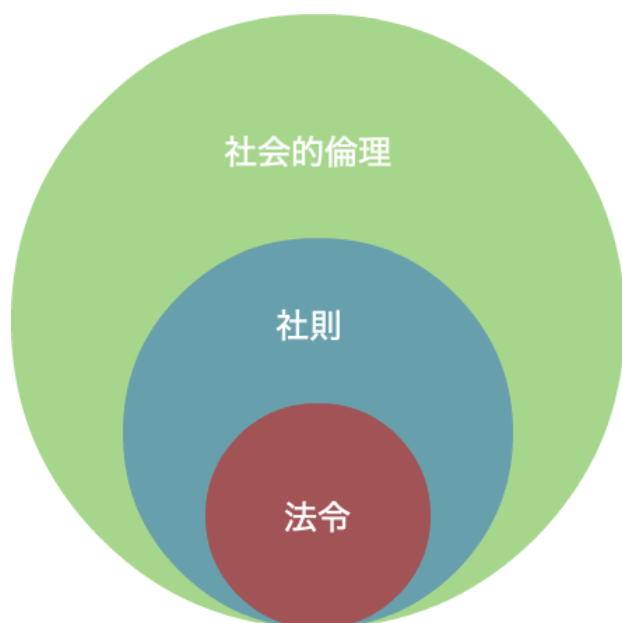
メンバーに日本青年会議所におけるコンプライアンスの扱われ方、またその重要性について学んで頂き、コンプライアンスとJCプロトコルに対する意識付けを更に高めていただきたいと思います。本年度公益社団法人日本青年会議所総務グループ 規則審査会議 議長をされており、コンプライアンスに関する講演を開催されている公益社団法人静岡青年会議所の栗田泰吉君にお越しいただきたいと考えました。また、栗田君は弁護士でもあるため、JC的コンプライアンスだけでなく、幅広いコンプライアンスの知識もお持ちだと考え、本例会の講師として選定いたしました。

格付けチェックシート

チェック項目	良い	普通	悪い
セレモニー編			
・一礼の順番、向き（来賓→国旗→演台前→国旗→来賓）			
・一礼の角度、姿勢			
・全体通して流れの所作は良いか			
服装編			
・JCバッジ、ネームプレートの着用			
・スーツが華美ではないか			
・シャツは柄物、派手なものではないか			
・靴が華美な色ではないか			
・開襟のボタンは第一ボタンのみか			
・全体の身だしなみは清潔か			
計			

- ・全て良い →ザJCマン
- ・悪いがない →JCマン
- ・悪いが1つでもある →努力しよう

コンプライアンスとは



コンプライアンスとは

コンプライアンスとは英語で compliance と表記し、単語そのものの意味は命令や要求に従うことを指します。

日本語では法令遵守と訳されることが多く、企業においては定められた法律や規則を守って経営を行うことを指します。

コンプライアンスと聞くと、法律を守ることだけを想定した方がいらっしゃるかもしれませんが。ですが現在は、法律を守ることだけではなく、倫理観や道德観、社内規範といったより広範囲の意味として使われることが一般的になっています。

セレモニーに関するJCプロトコル

JCの門を叩く際に、多くの方が身構えてしまう「セレモニー」ですが、JC運動に向き合うために、とても重要なプロトコルなのです。

セレモニーの意義・目的

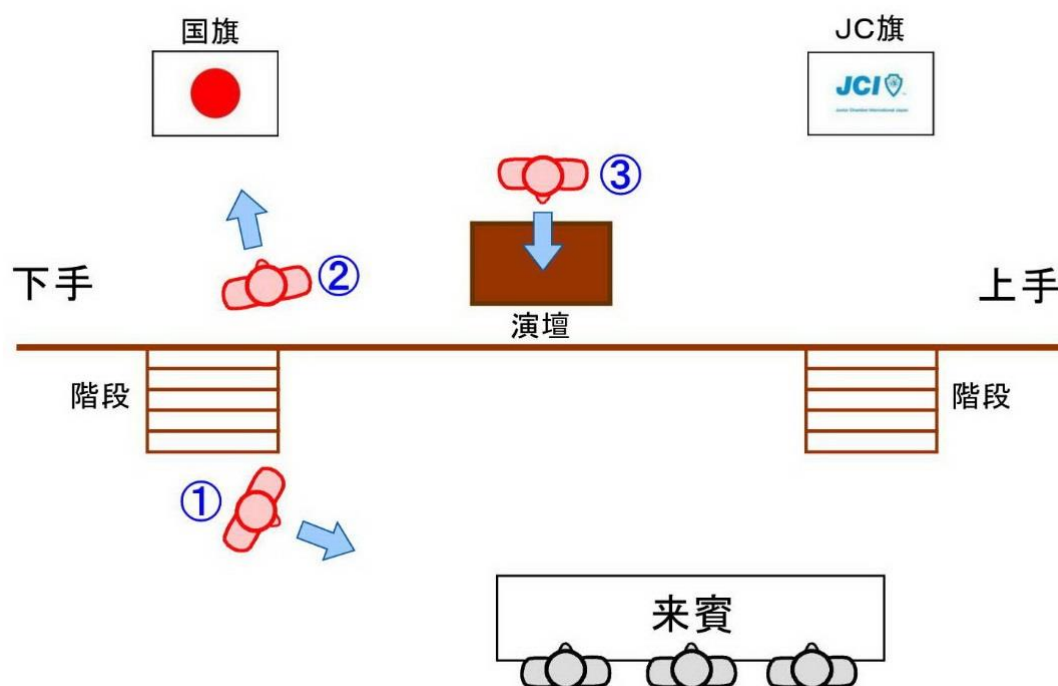
JAYCEE(個人)として…

JC活動をするに際してJCの理念や目的を再確認し、日常生活から気持ちを切り替えます。

JC(組織)として…

職業や年齢、生活環境等が異なる様々なメンバーがJC運動での価値観を共有し、連帯感をもって運動に取り組むための意識統一を図ります。

登壇・降壇時の一礼の仕方



登壇時 (1)→(2)→(3)

降壇時 (3)→(2)→(1)

1. 来賓がご臨席のときは一礼。壇があるときは壇下(登壇前・降壇後)で。
2. 国旗に一礼。壇があるときは壇上(登壇後・降壇前)で。
国旗がない場合には一礼しない。
3. 会場全員に正面より一礼

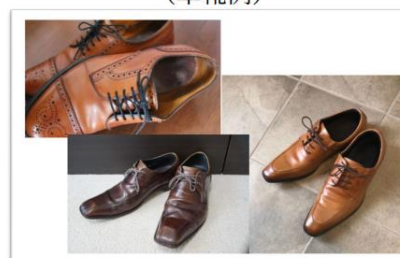


ビジネスのスタイル例（男性版）



- ・JCバッジ、ネームプレート着用
- ・スーツは華美でないもの
- ・シャツは柄、派手なものは避ける
- ・靴は華美でない色の革靴

（革靴例）



ビジネスのスタイル例（女性版）



- ・バッジ、ネームプレート着用
- ・スーツは華美でないもの
- ・シャツは柄、派手なものは避ける



クールビズについて

- ・夏期間（5/1～9/30）を目安とするが、主催者の判断で期間以外でも適用可能とする。
- ・諸会議のうち、推奨服装規定が「スマートカジュアル」となっているものに関しては、8～9ページに示すスマートカジュアルのスタイル例に準ずる。
- ・諸会議のうち、推奨服装規定が「ビジネス」となっているものに関しては、6～7ページに示すビジネスのスタイル例をベースに、男性については、ノーネクタイ可、開襟は第一ボタンのみとする。
- ・諸会議において、開会時閉会時、また、会頭挨拶をはじめとする挨拶の場面においては、ジャケットを着用すること。

スマートカジュアルのスタイル例（男性版）



- ・オーソドックスなジャケットスタイル
- ・シャツ、ジャケット、パンツに革靴
- ・ジャケット着用時Tシャツ可
- ・ジャケットを省く場合は襟付きのもの
- ・デニム不可
- ・スニーカー可（華美でないもの）



スマートカジュアルのスタイル例（女性版）



- ・パンツスタイル
- ・スカートスタイル
- ・ワンピーススタイル
- ・デニム不可
- ・スニーカー、ミュール、サンダル可（華美でないもの）



スマートカジュアルNGスタイル（男性版）

- 短パン
- デニム
デニム地でないものでもダメージパンツはNG
- Tシャツのみ
ジャケットを羽織っていればOK
- サンドル
スニーカーは可

スマートカジュアルNGスタイル（女性版）

- 生足
ストッキング着用を推奨、派手なものは避ける
- デニム
デニム地でないものでもダメージパンツはNG
- Tシャツのみ
ジャケットを羽織っていればOK
- 肌の露出の多い服装
丈の短いスカート、胸元が大きく開いたトップスはNG

カジュアルについて

- 短パン・デニム可
登壇者に限り、デニム地でないものでもダメージパンツはNG
- Tシャツのみ着用も可
- パーカー、トレーナーも可
- サンドル可
ただし、ビーチサンダルは不可。また、登壇者はサンダルNG。

公益社団法人 彦根青年会議所

2023年度 事業計画書

第6回理事会議7号議案

議案名 : 6月臨時総会開催
 提案者 : 総務広報委員会
 作成者 : 澤田 晃仁
 上程月日 : 2023年 4月24日

目次			上程スケジュール				
事業計画書	(1) ページ～	(2) ページ	第22回	執行部会	2023年	3月15日	協議
収支予算書	(3) ページ		第23回	執行部会	2023年	3月29日	協議
行動計画書	(4) ページ		第10回	財政規則特別委員会	2023年	4月3日	審査
添付資料	(5) ページ～	(6) ページ	第24回	執行部会	2023年	4月5日	審議
最終ページ	(6) ページ		第6回	理事会	2023年	4月24日	審議

1. [事業計画提案名]

6月臨時総会開催の件

2. [運動指針該当項目]

・本事業は運動指針「We can go to the next stage～私たちのチカラがひこねの未来を創造する～」において、下記の項目に該当する
 「組織」のチカラ・・・目指すべき彦根青年会議所像

3. [事業の目的と意義：対外]

なし

4. [事業の目的と意義：対内]

6臨時総会において、公益社団法人彦根青年会議所定款第4章第32条、役員選任の方法に関する規則第2章第5条の定めに従い、公益社団法人彦根青年会議所2024年度理事長候補者・監事候補者を発表し承認を得るため、定款第3章第23条の定めに基づき、臨時総会を開催します。

5. [事業計画の概要・推進方法]

- ① (実施日時) 2023年 6月 9日 (金) 19:30～20:26
 ② (実施場所・会場) 文教スタジオ 5F会場
 住所：滋賀県彦根市佐和町6-15
 電話：0749-22-7681
 ③ (予算総額) 10,000円
 ④ (参加者動員計画) メンバー47名 (正会員32名、仮入会会員13名、外部監事2名)
 ⑤ (宣伝・推進方法)
 ・メーリングリストにてPR
 ・委員会訪問にてPR
 ・SNSにてPR
 ・委員長連絡会議にてPR
 ・5月度例会にてPR
 ・月報5月号にてPR

⑥ (事業概要)	6月度臨時総会 アジェンダ	
	1. 開会宣言・点鐘	19:30
	1. JCI Creed唱和	19:32
	1. JCI Mission並びにJCI Vision唱和	19:34
	1. JC宣言文朗読並びに綱領・LOMスローガン唱和	19:36
	1. 出席調査	19:38
	1. 理事長挨拶	19:43
	1. 議長選出	19:48
	1. 定足数の確認	19:49
	1. オブザーバーの承認	19:51
	1. 議事録作成成人及び署名人指名	19:52
	1. 資料確認	19:53
	1. 審議事項	19:55
	第1号議案 公益社団法人彦根青年会議所	
	2024年度理事長候補者・監事候補者承認の件	
	1. 各候補者挨拶	20:05
	1. 監事総評	20:20
	1. 閉会宣言・点鐘	20:25
	1. 終了	20:26

6. [前年度よりの引継事項]

・次年度組織への期待と信望を高めるために各候補者による質疑応答の場「聞かせて！候補者の思い！」を設けました。この6月臨時総会を機に、次年度組織への歩みが具体的にスタートすることを十分に理解したうえで、次年度候補者たちの思いがしっかりとメンバーへ伝わる設えを検討していただきたい。

7. [本年度の工夫と期待される効果]

- ・臨時総会において、メーリングリストやSNS等での案内にて総会の重要性を周知するとともに、SNSと電話による出欠確認を早期から十分に行うことにより、出席率の向上に繋がるものと考えます。
- ・電話による出欠確認を臨時総会開催の1ヶ月前に行うことにより、出席率向上の一助になると考えます。

8. [執行部会での意見]

・2024年度に向けて重要な総会となる事をメンバーへ周知いただくとともに、総会開催にあたり入念な準備とリハーサルをされたし。

9. [添付資料の種類]

- ・審議資料 会場レイアウト
- ・参考資料 過去5年間6月臨時総会メンバー出席率

10. [その他]

- ・資料発送は総会実施日10日前にメール配信にて実施いたします。
- ・議事録の承認は次回総会ではなく、総会終了後議事録を作成し、彦根青年会議所公式WEBサイトのメンバーページに一週間提示したうえ、意見がなければ署名人の署名捺印により承認となります。
- ・ドレスコードはサマーエコスタイル、スーツ、バッジ、ネームプレート着用とさせていただきます。

事業計画収支予算書

[様式:計-2-1]

<事業計画収支予算書>

(単位:円)

科 目	予算額	2023 年度予算額	前年度決算額	摘 要
(収 入 の 部)	10,000	10,000	10,000	
1. 本会計からの繰入金	10,000	10,000	10,000	
収 入 計	10,000	10,000	10,000	
(支 出 の 部)				
1. 会場設営費	10,000	10,000	10,000	
支 出 計	10,000	10,000	10,000	
収 支 差 額				

[様式:計-2-2]

<収入明細書>

(単位:円)

科 目	細 目	金 額	備 考
1. 本会計からの繰入金	6 月度臨時総会	10,000	
	小 計	10,000	
	合 計	10,000	

[様式:計-2-3]

<支出明細書>

(単位:円)

科 目	細 目	摘 要	金 額	備 考
1. 会場設営費	会場費	文教スタジオ 5 階	10,000	
	小 計		10,000	
	合 計		10,000	

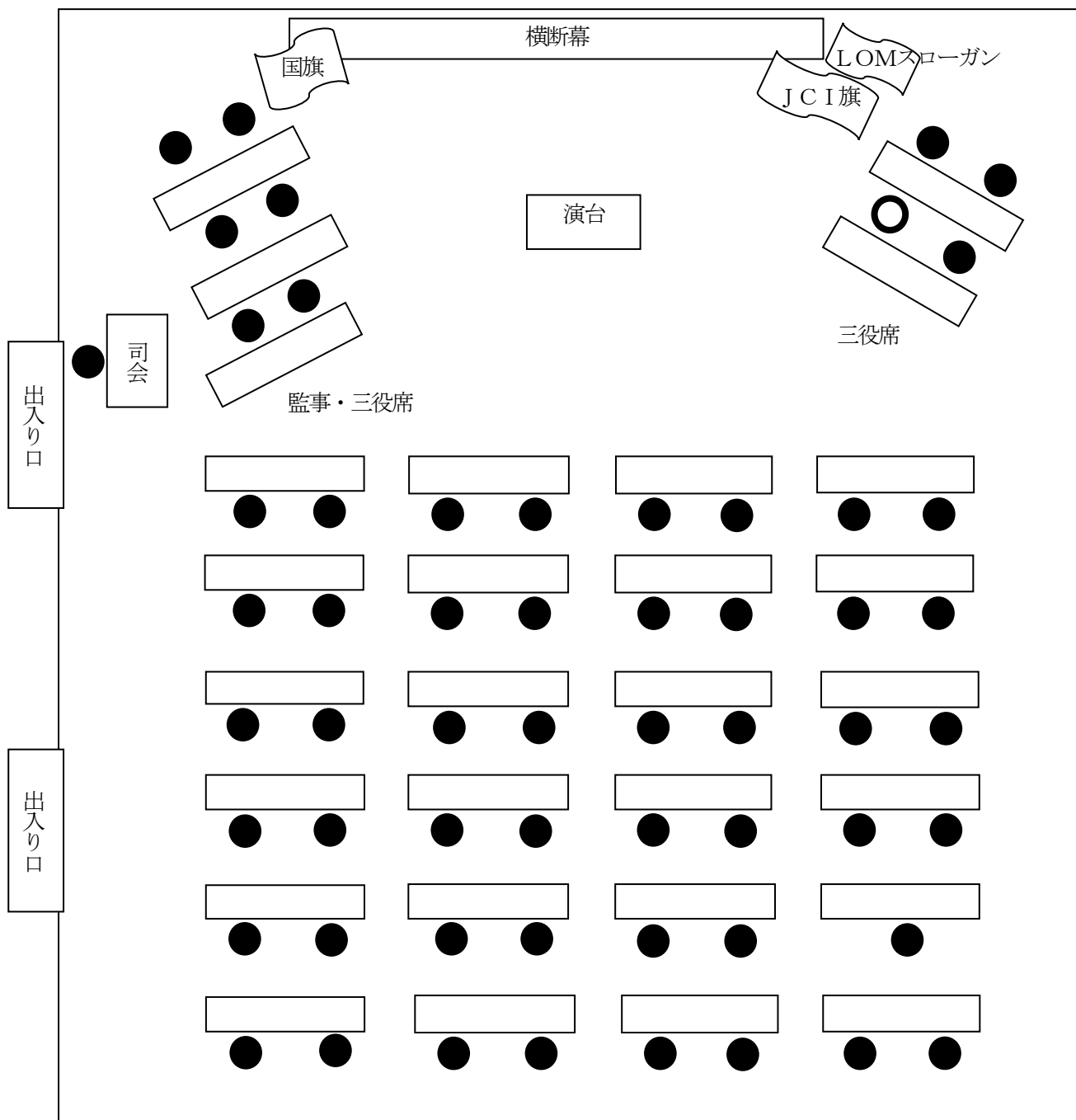
行 動 計 画 書

事業名	6月度臨時総会開催の件		
期 間	企画開始 2023年 3月 2日 ~ 企画終了 2023年 8月23日		
	月 日	内 容	確認印
行 動 計 画	2023年 3月 2日	委員会にて基本コンセプト協議	済
	4月10日	委員会にて詳細を確認	済
	4月24日	理事会に事業計画書上程	
	5月 1日	月報5月号にてPR	
	5月 6日	5月度例会にてPR	
	5月 上旬	委員会訪問にてPR開始 メンバー出欠確認開始	
	5月17日	委員長連絡会議にてPR	
	5月 下旬	メーリングリスト及びSNSにてPR開始	
	5月26日	6月臨時総会資料発送	
	6月 9日	6月臨時総会開催	
	6月10日	6月臨時総会決議事項を配信	
	6月 中旬	委員会にて事業報告書作成開始	
	8月23日	理事会に事業報告書上程	

※会場レイアウト

開場サイズ：約 14m × 12m

※当日の出席状況により席の配置が変動する可能性があります。



○ 理事長

<前列席次詳細>

- 右上1列目 (三役) 演台側から橋本理事長、横津直前理事長
- 右上2列目 (三役) 演台側から大野副理事長、夏原専務理事
- 左上1列目 (監事) 演台側から木田監事、宮川監事
- 左上2列目 (三役) 演台側から澤井副理事長、西川副理事長
- 左上3列目 (三役) 飛松副理事長

過去5年間6月臨時総会メンバー出席率

開催日時	正会員	場所
2018年 6月 6日(水) 19時～	28/42 (66.6%)	文教スタジオ
2019年 6月 6日(木) 19時～	25/35 (71.4%)	文教スタジオ
2020年 新型コロナウイルスの影響により書面決議を実施。		
2021年 6月 6日(日) 19時～	23/33 (69.4%)	文教スタジオ
2022年 6月 6日(月) 19時～	24/31 (77.4%)	文教スタジオ

※2018年は例会と総会を区別し、総会終了後に例会を開催。

公益社団法人 彦根青年会議所

2023年度 事業計画書

第6回理事会8号議案

議案名 : 創立70周年記念祝賀懇親会開催
 提案者 : 70周年実行実行特別委員会
 作成者 : 中西 雄也
 上程月日 : 2023年 4月24日

目次	上程スケジュール
審議事項提案書 (1) ページ～ (3) ページ	第16回 執行部会 2023年 1月11日 協議
収支予算書 (4) ページ～ (5) ページ	第17回 執行部会 2023年 1月26日 協議
行動計画書 (6) ページ	第18回 執行部会 2023年 2月 6日 協議
添付資料 (7) ページ～ (20) ページ	第19回 執行部会 2023年 2月15日 協議
最終ページ (20) ページ	第 3回 理事会 2023年 2月24日 協議
	第21回 執行部会 2023年 3月 8日 協議
	第22回 執行部会 2023年 3月15日 協議
	第 4回 理事会 2023年 3月23日 協議
	第23回 執行部会 2023年 3月29日 協議
	第24回 執行部会 2023年 4月 5日 協議
	第11回 財政規則特別委員会 2023年 4月12日 審査
	第25回 執行部会 2023年 4月12日 審議
	第 6回 理事会 2023年 4月24日 審議

1. [事業計画提案名]

創立70周年記念祝賀懇親会開催の件

2. [運動指針該当項目]

- ・本事業は運動指針「We can go to the next stage～私たちのチカラがひこねの未来を創造する～」において、下記の項目に該当する
 「まち」のチカラ・・・“ひこねオリジナル”の提唱による活気溢れる地域の創造
 「ひと」のチカラ・・・使命感と行動力を持った“ひこねびと”の伝承
 「こころ」のチカラ・・・“ひこねスピリット”が漲る活力ある地域社会の継承
 「組織」のチカラ・・・目指すべき彦根青年会議所像
 「夢」のチカラ・・・希望溢れるひこね愛の高揚と伝播

3. [事業の目的と意義：対外]

創立70周年記念祝賀懇親会に来賓、特別会員および他LOMのJC関係者をお招きし、彦根青年会議所の本質やこれまでの歩みを共有するとともに、懇親を図る中で先輩諸兄姉の尽力と関係者の皆様のご協力によって70年の大きな節目を迎えたことへの感謝と敬意を表すことにより、今後も飛躍し続けていく我々への更なるご支援、ご協力を賜る契機にしたいと考えます。

4. [事業の目的と意義：対内]

創立70周年記念祝賀懇親会を開催し、彦根青年会議所の本質やこれまでの歩みを再認識し今後の運動の方向性を見据えた全メンバーが一致団結しておもてなしを行い、メンバー間の結束力を更に高めるとともに、来賓、特別会員や他LOMのJC関係者との懇親を図る中からこれまでの歴史に感謝と敬意を再認識することにより、今後も更なる躍進を続けていく青年会議所運動への新たな一歩へと繋げたいと考えます。

5. [事業計画の概要・推進方法]

- ① (実施日時) 2023年 7月 7日 (金) 18:30~21:21 (受付17:50)
2023年 7月 7日 (金) 13:00~17:50 (リハーサル)
- ② (実施場所・会場) マリアージュ彦根 4階 シャトアイアンの間 (第一会場)
住所: 彦根市駅東町19-3
電話: 0749-26-1101
ペルテフォーリア (第二会場)
住所: 彦根市駅東町18-21
電話: 0749-21-3508
- ③ (予算総額) 756,675円
※詳細は別紙 [様式: 計-2-1~3] 事業計画収支予算書参照
- ④ (外部協力者)
- ⑤ (参加者動員計画) 298名
(主賓28名、来賓44名、特別会員70名、JC関係者109名、
メンバー47名 (正会員32名、仮入会会員13名、外部監事2名)
※主賓は式典招待状配布リストの名誉会員3名・賛助会員11名・行政関係者15名とする。
- 6 ※招待状数は式典参加者も含む参考資料-1参照
- ⑥ (宣伝・推進方法) 合同部会にてPR
5月度例会にてPR
6月度例会にてPR
月報6月号にてPR
来賓、特別会員及びJC関係者に案内状送付
彦根青年会議所公式Webサイト及びSNSにてPR
メーリングリストにてPR
- ⑦ (事業概要)
・アジェンダ及び事業の詳細な内容については審議資料-1参照

6. [前年度よりの引継事項] (創立60周年記念祝賀懇親会より)

- ・今回は主賓と来賓を分け、来賓からは登録料をいただきましたが、今後は改めて登録料の扱い、線引きについてご検討ください。
- ・ぐい飲みのおもてなしの心を表す品を手作りすることにより、現役メンバー全員が関わり懇親会を創りあげることが出来たと考えます。今後も全員が関わることの出来る取り組みをご検討ください。
- ・オープニングにおいて大江戸吹雪を演舞することにより、郷土の文化を幅広い参加者の方に見て感じて頂けたと考えますが、県外の方も多くおられるので、今後もひこねらしさをアピール出来る限りの取り組みをご検討ください。
- ・参加者の出欠管理について漏れの無いよう確認するために、しっかりと報告できる方法や、取りまとめの方法を事前に検討するとともに、当日のキャンセルや出席への対してもどのように対応するか事前に十分ご検討ください。

7. [本年度の工夫と期待される効果]

- ・創立70周年記念祝賀懇親会を開催し、彦根青年会議所の本質やこれまでの歩みを再認識し今後の運動の方向性を見据えた全メンバーが一致団結しておもてなしを行うことにより、メンバー間の結束力を更に高めるとともに、来賓、特別会員や他LOMのJC関係者との懇親を図り今後も青年会議所活動に積極的に協力していただく一助になると考えます。
- ・70周年記念祝賀懇親会第一会場を、例会等でも利用させていただいている、マリアージュ彦根とすることにより、会場案内からお見送りまで全メンバーでしっかりと対応することができ、彦根青年会議所のおもてなしのこころを来場される方々に示す一助になると考えます。
- ・70周年記念祝賀懇親会第二会場を第一会場の近隣であるペルテフォーリアとすることにより、参加人数を制限することなく、より多くの来賓、特別会員に参加いただき彦根青年会議所のおもてなしのこころを伝える一助になると考えます。

- ・彦根青年会議所現役メンバーでソーラン節を披露することにより、唯一無二のおもてなしのこころを伝えるとともに、理事長を中心にメンバーの団結力を高め懇親会一丸となって懇親会を盛り上げる一助になると考えます。
- ・会場に過去の事業についての写真パネルを設置することにより、彦根青年会議所のこれまでの歩みを振り返っていただくとともに、メンバーと来場される方々との繋がりを深める一助になると考えます。
- ・会場後方に61代からのLOMスローガンを掲示することにより、これまでの10年間の活動や想いを再認識していただくとともに、各年代の歴代理事長に敬意を表す一助になると考えます。
- ・2014年度からの歴代理事長を紹介するとともに、歴代理事長に登壇していただくことにより、60周年以前の先輩方や特別会員・来賓の方に彦根青年会議の70周年まで10年間の活動の想いを再認識していただく一助になると考えます。
- ・現役メンバーは、主賓・来賓・特別会員の各テーブルを挨拶に回らせていただくことにより、同じ時間を共有できるとともに70周年を迎えることができた感謝の意を伝える一助になると考えます。

8. [執行部会での意見]

創立70周年を迎えることができた感謝と敬意を表し、全メンバーでおもてなしのこころが参加者に伝わる取り組みをされたし。

9. [添付資料の種類]

- ・審議資料-1 アジェンダ及び事業の詳細
- ・審議資料-2 会場レイアウト図 (マリアージュ彦根)
- ・審議資料-3 会場レイアウト図 (ペルテフォーリア)
- ・審議資料-4 近隣駐車場
- ・審議資料-5 看板レイアウト図
- ・審議資料-6 旗レイアウト図
- ・審議資料-5 招待状レイアウト図
- ・審議資料-6 返信用はがきレイアウト図
- ・参考資料-1 参加者一覧および招待状配布先資料
- ・参考資料-2 写真パネル
- ・参考資料-3 ソーラン節

10. [その他]

- ・記念祝賀会において登録料は10,000円とし、現役メンバーは前日リハーサルから、その他参加者は当日受付にてお支払い願います。ただし6月7日(火)以降はキャンセル料が必要となります。
- ・主賓、来賓、特別会員は第一会場、現役のJCI関係者は第二会場での参加となります。

・第3回理事会の意見と対応

(意見) ソーラン節はしっかり踊れるメンバーだけで踊った方が良いのではないかと全メンバーで踊ることで、ほかの設えに支障があるのではないかと?

(対応) 彦根青年会議所が唯一無二の懇親会を開催する上で、できる限り全メンバーで踊ることでメンバーの団結力とおもてなしの心を表せると考えております。また、メンバーが余裕をもって準備ができると考え、アジェンダの一部を変更し歓談の合間に行います。

(意見) 会場を分けることで連携はしっかりできるのか?映像がしっかり映るのか?

(対応) 連携がとりやすいよう、アジェンダの一部を変更しました。映像は青年会議所メンバーが行うのではなく外部に委託することで問題なく配信できると考えます。

(意見) お礼のあいさつは外部監事が行うべきではないのではないかと?

(対応) お礼のあいさつは澤井実行委員長に変更しました。

(意見) 懇親会の会場看板に国旗、JCIの記載は不要ではなかと?

(対応) 国旗、JCIの記載を省き、文字のサイズを見やすい大きさに変更しました。

事業計画収支予算書

[様式:計-2-1]

＜事業計画収支予算書＞

(単位:円)

科 目	予算額	2013度予算額	2013度決算額	摘 要
(収入の部)				
1. 本会計からの繰入金	756,675	733,953	733,953	
収入計	756,675	733,953	733,953	
(支出の部)				
1. 会場設営費	260,100	490,136	358,866	
6. 旅費・交通費	0	40,000	0	
8. 参加記念品費	0	203,817	203,817	
9. 印刷費	85,659	0	0	
10. 通信費	124,971	0	0	
16. 雑費	285,945	0	0	
支出計	756,675	733,953	562,683	
収 支 差 額	0	0	171,270	

< 収 入 明 細 書 >

科 目	細 目	摘 要	金 額	備 考
1. 本会計からの繰入金		創立70周年記念祝賀懇親会	756,675	
		小 計	756,675	
		合 計	756,675	

科 目	細 目	摘 要	金 額	備 考
1. 会場設営費	会場費	会場代(マリアージュ彦根シャトアイアンの間)	40,000	
	設営費	吊り看板代 800mm×5,000mm	20,000	
		アルファパネル(写真用)@2,500×8台	22,000	
	会場費	会場代(ベルテフォーリア 会場備品含む)	100,000	
	設営費	吊り看板代 800mm×5,000mm	33,000	
		看板取付部材	5,500	
		アルファパネル(写真用)@2,500×8台	22,000	
		置き看板 900×1,800 @8,000×2	17,600	
		小 計	260,100	
9. 印刷費		招待状成(Wカード) @56.8×541枚	30,723	
		封筒作成(洋封筒) @31.5×541枚	17,066	
		宛名印刷 @70×541枚	37,870	
		小 計	85,659	
10. 通信費	対外通信費	招待状 @84×541枚	45,444	
		返信用はがき@63×541枚	34,083	
		礼状 @84×541枚	45,444	
		小 計	124,971	
16. 雑費		大リボン(赤) @790×28個	22,120	
		中リボン(赤) @565×101個	57,065	
		バラリボン用リボンタレ(大) @120×28枚	3,360	
		バラリボン用リボンタレ(中) @100×101枚	10,100	
		筆耕代@110×129枚	14,190	
		芳名帳@800×10冊	8,800	
		筆ペン@350×10本	3,500	
		サインペン@81×10冊	810	
		70周年ロゴ入り大漁旗 1,200×1,800	13,000	
		和太鼓レンタル費	16,500	
		ムービー作成費(オープニングムービー)	70,000	
		ムービー作成費(ソーラン節ムービー)	50,000	
		運送費	16,500	
		小 計	285,945	
	合 計	756,675		

行 動 計 画 書

事業名	創立70周年記念祝賀懇親会開催		
期 間	企画開始 2022年12月16日 ~ 企画終了 2023年 9月26日		
	月 日	内 容	確認印
行 動 計 画	2022年 12月16日	懇親部会にて基本コンセプト検討	済
	2023年 1月 5日	第一回理事会にて創立70周年記念式典開催日決定	済
	1月 7日	懇親部会にて詳細を検討	済
	1月13日	会場の仮予約 (マリアージュ彦根)	済
	1月17日	委員会にて詳細を検討	済
	2月 1日	委員会にて詳細を検討	済
	2月 8日	委員会にて詳細を検討	済
	2月13日	会場打ち合わせ	済
	2月20日	会場の仮予約 (ペルテフォーリア)	済
	2月24日	第3回理事会に協議事項提案書を上程	済
	2月28日	第一回70周年合同部会 ソーラン節練習開始	済
	3月 9日	懇親部会にて詳細を検討 委員会にて詳細を検討	済
	3月17日	懇親部会にて詳細を検討 委員会にて詳細を検討	済
	3月23日	第4回理事会に協議事項提案書を上程	済
	4月10日	懇親部会にて詳細を検討	済
	4月24日	第5回理事会に事業計画書を審議上程	
	4月 下旬	会場正式予約 招待状発送 会場設営備品発注 記念品発注	
	4月27日	70周年合同部会 ソーラン節練習	
	4月28日	会員会議所にてPR	
	7月 7日	創立70周年記念祝賀懇親会開催	
7月 中旬	滋賀ブロック協議会 会員会議所にて御礼		
9月26日	事業報告を理事会に上程		

アジェンダ及び事業の詳細

テーマ：「挑戦 進化～唯一無二のひこねを～」

1953年の設立以来、志を持つ先輩諸氏の尽力により彦根青年会議所は70周年という大きな節目を迎えることができました。現役メンバーがこれまでの歩みに感謝を持ちつつ、唯一無二のひこねを実現するために更なる挑戦と進化を示すべく70周年事業を開催する。

創立70周年記念祝賀懇親会アジェンダ

進行時間	進行内容 (マリアージュ彦根)	進行時間	進行内容 (ペルテフォーリア)
13:00	1. 当日準備及びリハーサル開始	13:00	当日準備及びリハーサル開始
17:50	1. 受付開始 (40分)		
18:30	1. 開式		
18:31	1. 理事長挨拶 (4分)		
18:35	1. 来賓代表挨拶 (滋賀県知事・彦根市長) (各3分)		
18:41	1. 彦根青年会議所の歩み振り返りムービー (5分)		
18:46	1. 60代以降の理事長登壇 (5分)		
18:51	1. 乾杯 (60代以降の一番古い理事長の方) (4分)	18:50	1. 受付開始 (40分)
18:55	1. 祝宴開始 歓談 (55分)		
		19:20	1. 開式
		19:21	1. 理事長挨拶 (4分)
		19:25	1. 来賓代表挨拶 (近畿地区協議会会長) (3分)
		19:28	1. 彦根青年会議所の歩み振り返りムービー (5分)
		19:33	1. 乾杯 (滋賀ブロック協議会会長) (4分)
		19:37	1. 祝宴開始 歓談 (45分)
19:50	1. ひこねアレンジのソーラン (4分)		
19:54	1. 歓談再開 (45分)		
		20:22	1. ひこねアレンジのソーラン節 (4分)
		20:29	1. 歓談再開 (45分)
20:41	1. お礼のあいさつ (澤井実行委員長) (4分)		
20:45	1. 閉会		
20:46	1. 主賓・来賓・特別会員・JC関係者をお見送り (15分)		
		21:14	1. 若い我ら (2分)
		21:16	1. お礼のあいさつ (澤井実行委員長) (4分)
		21:20	1. 閉会
		21:21	1. 主賓・来賓・特別会員・JC関係者をお見送り (15分)

受付、お出迎え

- ・会場入り口での現役メンバーのお出迎えだけではなく、各部所にメンバーが分かれ案内を行う。
- ・開会10分前には受付で混雑しないように速やかに担当メンバーがお客様を席に誘導する。

彦根青年会議所の歩み振り返りムービー

- ・これまでの彦根青年会議所の歩みを振り返るムービーを会場前方で上映する。
- ・60周年以降は1年ずつの紹介をする。

60代以降の理事長登壇

- ・60周年以降の歴代理事長を紹介し登壇していただく。

乾杯

- ・第一会場では60周年以降の歴代理事長で一番古い歴代の方にご挨拶をいただく。
- ・第二会場では滋賀ブロック協議会会長に挨拶をいただく。
- ・地元の彦根ビールで乾杯を行う。

祝宴・歓談

- ・形式は主賓、来賓、特別会員、JC関係者は着座にてコース料理とする。
- ・メンバーは基本的には席を設けず各テーブルにて挨拶とおもてなしを行う。

ひこねアレンジソーラン節

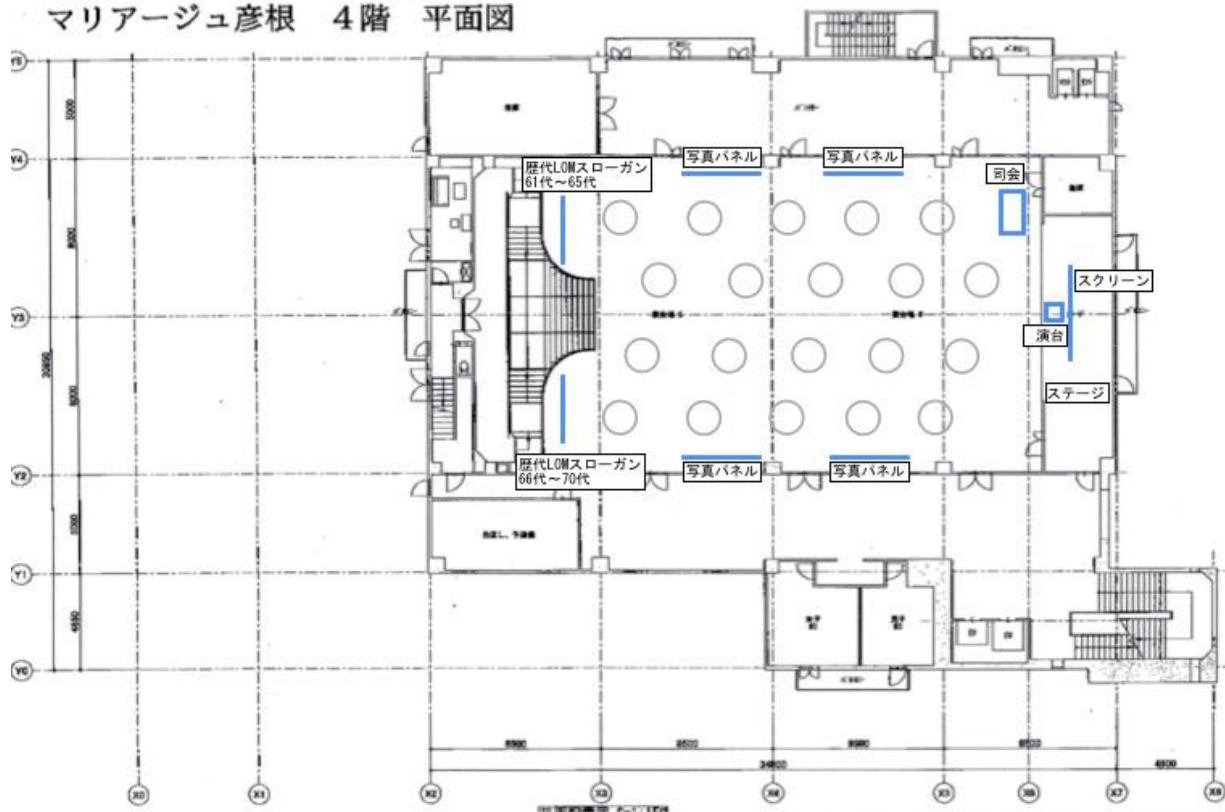
- ・懇親会を盛り上げ、来場者により楽しんでいただけるよう、長法被を着用したメンバーによるソーラン節を披露する。
- ・理事長はメンバーの中心で太鼓を演奏する。メンバーのうち一人が70周年のロゴを入れた旗を振る。

お見送り

- ・ご参加いただいた方に感謝を伝えるため。各会場で理事長、執行部を中心にできるかぎり多くの人数でお見送りする。

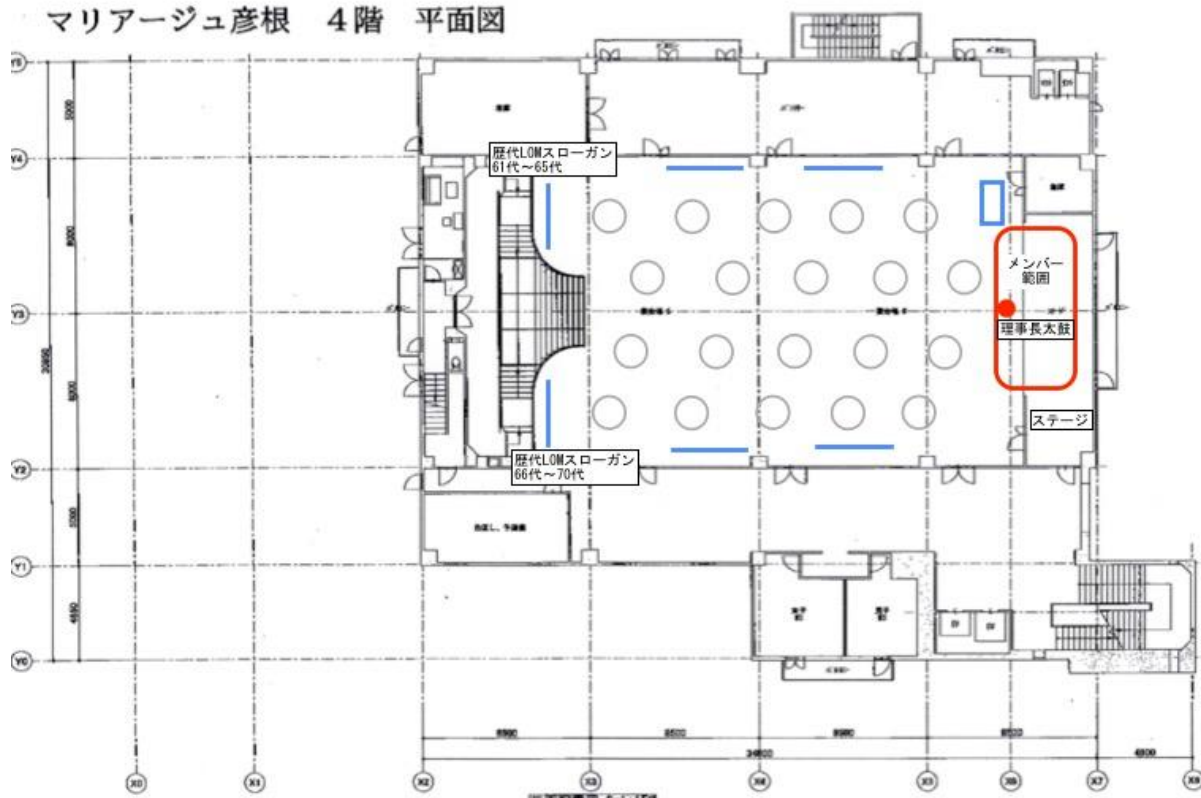
会場レイアウト (マリアージュ彦根)
開会・歓談・閉会時↓

マリアージュ彦根 4階 平面図



ソーラン節時↓

マリアージュ彦根 4階 平面図



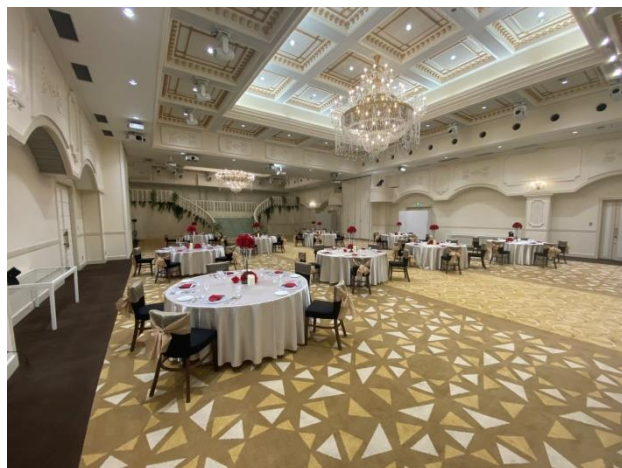
マリアージュ彦根 シャトアイアンの間概要

会場サイズ：30.160m×16.050m

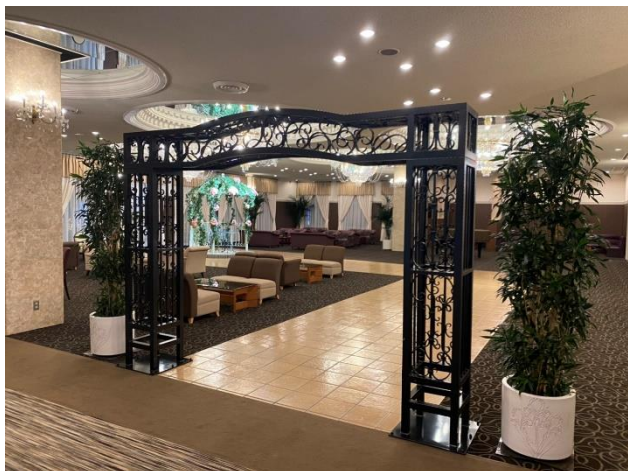
ステージサイズ：2.530m×9.690m

収容人数：140名

会場



受付



休憩所



会場選定理由：70周年記念祝賀懇親会の第一会場を、新年交流例会等で利用させていただいている、マリアージュ彦根とすることで会場案内からお見送りまで全メンバーできっちりと対応することができ、彦根青年会議所のおもてなしのこころを来場される方々に示ことができると考えました。また県内のみならず、県外からも多数ご参加いただくということで会場までのアクセスも考慮し選定しました。

会場レイアウト (ペルテフォーリア)



ペルテフォーリア 披露宴会場概要

会場サイズ：11.915m×17.915m

収容人数：120名



会場選定理由：第一会場の近隣であるペルテフォーリアとすることにより、参加人数を制限することなくより多くの来賓、特別会員に参加していただけたと考えました。また、メンバーの設営においても移動や連携が取れる距離であることから第二会場にふさわしいと考えました。

近隣駐車場

6



会場駐車台数

- マリアージュ彦根 80台
- ペルテフォーリア 30台

近隣駐車場台数

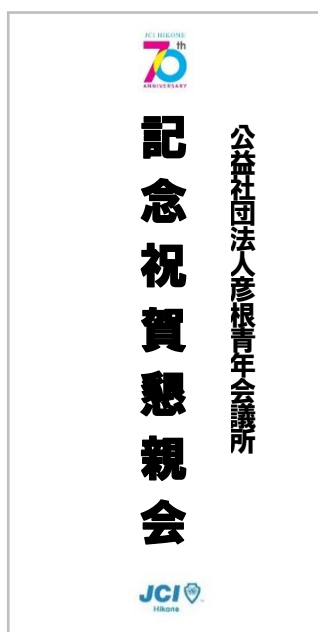
- タイムズ彦根駅東口 115台
- チケパ彦根駅前 7台
- システムパーク彦根駅東第2 7台
- スペースECO彦根駅前第3 36台
- スペースECO彦根駅前第2 50台
- イズミ彦根駅前パーキング 53台

合計 261台

看板レイアウト図



吊り看板 800mm×5, 000mm×2枚 (マリアージュ彦根・ペルテフォーリア)
会場の前方、高所の見えやすい位置に設置



会場看板 900mm×1, 800mm ×2枚 (マリアージュ彦根・ペルテフォーリア)
会場入り口に設置

旗レイアウト図



旗 1, 200mm×1, 800mm
ソーラン節時に使用、それ以外は会場内に掲示する。

招待状レイアウト図 サイズ：204mm×154mm

<p>【記念祝賀懇親会】</p> <p>日時 令和五年七月七日(金曜日)</p> <p>場所 マリアージュ彦根 シャトアイアンの間</p> <p>時間 十八時三〇分より二〇時四五分(十七時五〇分受付開始)</p> <p>【記念式典】</p> <p>日時 令和五年七月八日(土曜日)</p> <p>場所 プロシードアリーナHIKONE 多目的ホール</p> <p>時間 十〇時三〇分より二時(九時三〇分受付開始)</p> <p>尚 お祝金等は辞退させて頂きますので、ご承お願ひ致します。 当日はクールビズでご来場いただいても結構です。 (ご登壇いただく方は上着の着用をお願いします)</p> <p>QRコード</p> <p>マリアージュ彦根地図</p> <p>プロシードアリーナ地図</p>	<p>創立七十周年記念祝賀懇親会・記念式典開催のご案内</p> <p>謹啓 緑風の候 益々、健勝のこととお慶び申し上げます。</p> <p>平素は公益社団法人 彦根青年会議所に対し、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。</p> <p>さて、本年度公益社団法人彦根青年会議所は創立七十周年を迎える運びとなりました。これも一重に、皆様方のご指導、ご鞭撻の賜と心より感謝申し上げます。</p> <p>つきましては、左記の通り創立七十周年記念祝賀懇親会・記念式典を挙行させていただきます。ご多用のところ誠に恐縮ではございますが、是非とも臨席たまわりたくお願い申し上げます。</p> <p>公益社団法人彦根青年会議所 理事長 橋本 一幾 七十周年実行特別委員会 委員長 澤井 雄一</p> <p>謹白</p>
<p>【記念祝賀懇親会】</p> <p>日時 令和五年七月七日(金曜日)</p> <p>場所 ペルテフォーリア 披露宴会場</p> <p>時間 十九時三〇分より二時三〇分(十八時五〇分受付開始)</p> <p>【記念式典】</p> <p>日時 令和五年七月八日(土曜日)</p> <p>場所 プロシードアリーナHIKONE 多目的ホール</p> <p>時間 十〇時三〇分より二時(九時三〇分受付開始)</p> <p>尚 お祝金等は辞退させて頂きますので、ご承お願ひ致します。 当日はクールビズでご来場いただいても結構です。 (ご登壇いただく方は上着の着用をお願いします)</p> <p>QRコード</p> <p>ペルテフォーリア地図</p> <p>プロシードアリーナ地図</p>	<p>創立七十周年記念祝賀懇親会・記念式典開催のご案内</p> <p>謹啓 緑風の候 益々、健勝のこととお慶び申し上げます。</p> <p>平素は公益社団法人 彦根青年会議所に対し、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。</p> <p>さて、本年度公益社団法人彦根青年会議所は創立七十周年を迎える運びとなりました。これも一重に、皆様方のご指導、ご鞭撻の賜と心より感謝申し上げます。</p> <p>つきましては、左記の通り創立七十周年記念祝賀懇親会・記念式典を挙行させていただきます。ご多用のところ誠に恐縮ではございますが、是非とも臨席たまわりたくお願い申し上げます。</p> <p>公益社団法人彦根青年会議所 理事長 橋本 一幾 七十周年実行特別委員会 委員長 澤井 雄一</p> <p>謹白</p>

返信用はがきレイアウト図
 <主賓・来賓用>

公益社団法人 彦根青年会議所
創立70周年記念祝賀懇親会並びに記念式典出欠返信

2023年7月7日 (金)

【祝賀懇親会】 ご出席 ・ ご欠席

会費 10,000円

2023年7月8日 (土)

【記念式典】 ご出席 ・ ご欠席

(※いずれかに○印をお願いします。)

フリガナ
 ご芳名 _____
 事業所名・所属団体名 _____
 役 職 _____

※誠に恐縮ではございますが、2023年5月末日までに返信願います。
 ※誠に勝手ながら6月27日以降のキャンセルにつきましては全額
 キャンセル料を頂戴いたしますのでご了承ください。

<来賓用 (JC関係用) >

公益社団法人 彦根青年会議所
創立70周年記念祝賀懇親会並びに記念式典出欠返信

2023年7月7日 (金)

【祝賀懇親会】 ご出席 ・ ご欠席

会費 10,000円

2023年7月8日 (土)

【記念式典】 ご出席 ・ ご欠席

(7月7日の宿泊の希望)
 希望する・希望しない
 希望する場合 (禁煙 ・ 喫煙)
 (いずれかに○印をお願いします)

※誠に恐縮ではございますが、2023年5月末日までに返信願います。
 ※誠に勝手ながら6月27日以降のキャンセルにつきましては全額
 キャンセル料を頂戴いたしますのでご了承ください。

所属LOM名 _____ 青年会議所
 参加人数 _____ 名
 担当者名 _____
 役職 _____
 連絡先 _____

<特別会員用>

公益社団法人 彦根青年会議所
創立70周年記念祝賀懇親会並びに記念式典出欠返信

2023年7月7日(金)

【祝賀懇親会】 ご出席 ・ ご欠席
会費 10,000円

2023年7月8日(土)

【記念式典】 ご出席 ・ ご欠席

(※いずれかに○印をお願いします。)

フリガナ

ご芳名 _____

※誠に恐縮ではございますが、2023年5月末日までに返信願います。
※誠に勝手ながら6月27日以降のキャンセルにつきましては全額
キャンセル料を頂戴いたしますのでご了承ください。

<市民団体用>

公益社団法人 彦根青年会議所

創立70周年記念式典出欠返信

2023年7月8日(土) 9:00~

プロシードアリーナHIKONE

多目的ホールにて

【記念式典】 ご出席 ・ ご欠席

(※いずれかに○印をお願いします。)

フリガナ

ご芳名 _____

事業所名・所属団体名 _____

役 職 _____

誠に恐縮ではございますが、2023年5月末日までに返信願います

参加者一覧および招待状配布先資料

招待状配布先	招待状送付数	懇親会参加人数
主賓来賓	129	129
特別会員	328	70
J C関係者（来賓を除く）	3	53
関係団体（式典のみ招待）	81	0
賛助会員・特別会員（同一）	-10	-10
合計	541	242

参加者一覧

主賓・来賓 129名（バラリボン）

番号	氏名	役職	備考
主賓 28名	(名誉会員3名+賛助会員10名 +行政関係者15名)		バラ (大)
名誉会員	3名		
1	和田 裕行	彦根市長	
2	未定	彦根市議会議員 (令和5年5月就任)	
3	沼尾 護	彦根商工会議所会頭	
賛助会員	10名		
4	中川 広基	(株)大垣共立銀行彦根支店長	
5	藤本 祐良	(株)りそな銀行彦根支店長	
6	福尾 伸哉	(株)滋賀銀行彦根支店長	
7	谷川 孝司	(株)関西みらい銀行彦根支店長	
8	西堀 孝司	(株)京都銀行彦根支店長	
9	大塚 恵昭	(株)パリヤ代表取締役社長	特別会員
10	飯田 則昭	近江鉄道(株)代表取締役	
11	平松 正嗣	(株)平和堂代表取締役社長	
12	安澤 勝	彦根商店街連盟会長	
13	沼尾 護	滋賀中央信用金庫理事長	名誉会員
14	一圓 泰成	公益社団法人 彦根観光協会会長	特別会員
行政関係	15名		
15	三日月 大造	滋賀県知事	
16	平尾 道雄	米原市長	
17	久保 久良	多賀町長	
18	野瀬 喜久男	甲良町長	
19	伊藤 定勉	豊郷町長	
20	有村 国知	愛荘町長	
21	西島 良年	彦根市教育委員会教育長	
22	上野 賢一郎	衆議院議員	
23	嘉田 由紀子	参議院議員	
24	小鐘 隆史	参議院議員	
25	角田 航也	県議会議員	
26	中沢 啓子	県議会議員	
27	谷口 典隆	県議会議員	特別会員
28	赤井 康彦	県議会議員	特別会員
29	大野 和三郎	県議会議員	

来賓 4 4名	(関係団体 30 名 + 報道関係 14 名)		バラ (中)
関係団体	30 名		
30	五味 由紀子	彦根ワイズメンズクラブ会長	
31	西村 清司	彦根金亀ライオンズクラブ会長	
32	三久保 哲夫	彦根ライオンズクラブ会長	
33	上田 健一郎	彦根南ロータリークラブ会長	
34	細江 正人	彦根ロータリークラブ会長	特別会員
35	金澤 芳夫	彦根シャトーワイズメンズクラブ会長	
36	薩摩 四郎	彦根ユネスコ協会会長	
37	赤井 康彦	日本カラム協会会長	特別会員
38	羽田 賢一	彦根警察署長	
39	山口 雅之	彦根税務署長	
40	岡田 広幸	彦根市消防署長	
41	ベンジャミン・マクラケン	ミシガン州立大学連合日本センター所長	特別会員
42	廣川 能嗣	滋賀県立大学理事長	
43	木村 知子	聖泉大学学長	
44	竹村 彰通	滋賀大学学長	
45	黒杭 隆政	キリンビール滋賀工場長	
46	中村 真人	ブリヂストン彦根工場長	
47	松下 和雅	彦根商工会議所青年部会長	
48	久保田郁夫	稲枝商工会会長	
49	福原 裕人	稲枝商工会青年部長	
50	日向 寛	米原市商工会会長	
51	北村 喜史	米原市商工会青年部長	特別会員
52	尾谷 忠之	多賀町商工会会長	
53	久保田 進吾	多賀町商工会青年部長	
54	大野 均	甲良町商工会会長	特別会員
55	池田 拓	甲良町商工会青年部長	
56	山田 博次	豊郷町商工会会長	
57	浦部 昌紀	豊郷町商工会青年部長	
58	西村 正司	愛荘町商工会会長	
59	東 大裕	愛荘町商工会青年部長	
報道関係	1 4名		
60	谷口 典隆	彦根タイムス社	特別会員
61	猪飼 恵代	彦根文化新聞社	
62	山田 貴之	滋賀彦根新聞社編集長	
63	藤井 匠	朝日新聞彦根支局長	
64	今川 敢士	㈱京都新聞社彦根支局	
65	増村 光俊	中日新聞彦根支局長	
66	伊藤 信司	毎日新聞彦根支局長	
67	西 堂路	読売新聞彦根支局長	
68	大本 亮	NHK彦根支局長	
69	谷口 直記	㈱京都放送滋賀放送局	
70	山田 豊	びわ湖放送彦根支社長	
71	伏木 篤	エフエム滋賀彦根支局長	
72	小幡 善彦	エフエムひこねコミュニティ放送㈱	特別会員
73	松本 公誠	㈱ZTV滋賀彦根放送局長	

J C関係者	57名		バラ (中)
(来賓)	日本 2名	会長、副会長	
	近畿地区 30名	会長、直前会長、内部会計監査人、監査担当役員4、	
		顧問3、副会長11、運営専務、その他9	
	滋賀ブロック13名	会長、直前会長、監査担当役員2、副会長5、	
		運営専務、委員長5	
	県内理事長9名	理事長9名	
	姉妹 2名	理事長2名	
	京都 1名	理事長1名	
J C関係者	52名		
	日本 3名		
	滋賀ブロック 3名		
	県内LOM 36名		
	姉妹LOM 8名		
	京都 2名		
特別会員	328名	内9名は来賓、名誉会員	
関係団体	81名		

関係団体一覧 81名

エコメモリアル・チェンバー・オーケストラ代表者 若林 嘉代子 氏

「彦根一会流」代表：神野 豊子氏（全日本石州茶道教会副理事長）

未来バンク事業組合理事長市民活動家 田中 優氏、ひこね文化プラザ、湖東焼・一志郎窯 工中川一志 郎氏
直弼のこころを伝える会 直心会：会長 小田輝子先生、ひこねこどもアトリエ、NPO法人小江戸彦根、
NPO法人城郭遺産による街づくり協議会、ひこね亀楽車、中井均氏（滋賀県立大学准教授）、彦根キャッスルホテル
千代神社、俳遊館、北野神社、琵琶湖博物館うおの会代表 中尾博行氏、マリアージュ彦根
王歌七舞会（おうかしちぶかゝり）代表：鈴木健太郎氏、一休庵西明寺前本店、彦根市農村環境改善センター
グリーンピアひこね、ひこねステーションホテル、早稲田大学大学院公共経営研究科教授 北川 正恭氏（きた
がわ まさやす）、高取山ふれあい公園、彦根市美術教育研究会、豊郷小学校旧校舎群、ひこね繊維共同組合、
彦根仏壇事業協同組合、(有)クレオ式拾壺（クレオ21）、江州彦根七職家、(株)夢京橋、
井伊家第18代当主 井伊直岳氏、多賀大社、西明寺、びんてまりの館、丸松木材（株）、
とよさと快蔵プロジェクト、工房OLD&NEW、彦根発笑顔いっぱいプロジェクト、(株)千成亭（株）たねや、
京カロム工房&京カロムクラブ、ローザンベリー多和田、清涼寺 桂川 道雄氏、法相宗大本山 薬師寺執事 大谷
徹柴氏（おおたに てつじょう）、井尻彫刻所、滋賀県麻織物工業協同組合、エクシブ琵琶湖
地域活性化伝道師 一般財団法人地域活性化センター 林 光一氏、伊吹の天窓実行委員会 代表 早川 鉄兵氏、
特定非営利活動法人 彦根景観フォーラム 理事長 濱崎 一志氏、夏川記念会館、彦根吹奏楽団、
全国城下町青年会議所連絡協議会近江高等学校、株式会社グッドスマイルカンパニー 代表取締役社長 安藝 貴範氏
柿木花火工業、一般社団法人リディラバ代表 安部 敏樹氏、びわこてらこや専務 西村 忠浩氏、彦根一会流樹聖
会、柏原宿歴史館、料亭旅館やす井、おとくらプロジェクト、(財)淡海文化振興財団、
Grow dance studio、NPO法人彦根景観フォーラム、円照寺、高宮寺、
NPO法人 湖東焼を育てる会、ひろい写真館、コロナカメラ、多賀町B&G海洋センター、
彦根ボランティアガイド協会、パナソニック株式会社 アプライアンス社 彦根工場、彦根市子どもセンター
あけぼのパーク多賀、甲良町図書館、株式会社PRO-SEED 代表取締役 青柳 孝幸（あおやぎ たかゆき）
氏、公益社団法人全国国宝重要文化所有者連盟 井上 優（いのうえ まさる）氏、株式会社いろあわせ 代表取締役
北川雄士氏（きたがわゆうじ）、藤堂高虎ふるさと館和の家、
チョークアートCafe&Bar伊沙羅、萬年山 長松院

写真パネル



アルファパネル 900mm×2, 100mm

会場に過去の事業についての写真パネルを設置し来場いただいた方に彦根青年会議所のこれまでの歩みを振り返っていただきます。

参考資料-3

ソーラン節

前半はムービーでひこねの代表的な場所で事前に撮影し編集したものを流す。
後半の一部をめんばーが会場で披露する。

選定理由：ソーラン節は誰もが馴染みのある民謡であり、理事長を中心にメンバーが一丸となって踊ることで、ご来場いただいた方々に唯一無二のおもてなしのこころを伝えるとともに、懇親会を盛り上げることができると考えました。

公益社団法人 彦根青年会議所

2023年度 事業計画書

第6回理事会9号議案

議案名 : 創立70周年記念式典開催
 提案者 : 70周年実行実行特別委員会
 作成者 : 夏原 慶
 上程月日 : 2023年 3月23日

目次	上程スケジュール
協議事項提案書(1) ページ～(4) ページ	第16回 執行部会 2023年 1月11日 協議
収支予算書(5) ページ～(6) ページ	第17回 執行部会 2023年 1月26日 協議
行動計画書(7) ページ	第18回 執行部会 2023年 2月 6日 協議
添付資料(8) ページ～(20) ページ	第19回 執行部会 2023年 2月15日 協議
最終ページ(20) ページ	第3回 理事会 2023年 2月24日 協議
	第21回 執行部会 2023年 3月 7日 協議
	第22回 執行部会 2023年 3月15日 協議
	第4回 理事会 2023年 3月23日 協議
	第23回 執行部会 2023年 3月29日 協議
	第24回 執行部会 2023年 4月 5日 協議
	第11回 財政規則特別委員会 2023年 4月12日 審査
	第25回 執行部会 2023年 4月12日 審議
	第6回 理事会 2023年 4月24日 審議

1. [事業計画提案名]

創立70周年記念式典開催の件

2. [運動指針該当項目]

- ・本事業は運動指針「We can go to the next stage～私たちのチカラがひこねの未来を創造する～」において、下記の項目に該当する
 「まち」のチカラ・・・“ひこねオリジナル”の提唱による活気溢れる地域の創造
 「ひと」のチカラ・・・使命感と行動力を持った“ひこねびと”の伝承
 「こころ」のチカラ・・・“ひこねスピリット”が漲る活力ある地域社会の継承
 「組織」のチカラ・・・目指すべき彦根青年会議所像
 「夢」のチカラ・・・希望溢れるひこね愛の高揚と伝播

3. [事業の目的と意義：対外]

彦根青年会議所創立70周年という節目の年に、これまで先輩諸兄が築いてこられた彦根青年会議所の歴史を振り返り、我々の運動を支えていただいた各方面の皆様への感謝の念を表すとともに、今後の運動の展望を伝え、更なるご支援、ご協力を賜る契機にしたいと考えます。

4. [事業の目的と意義：対内]

彦根青年会議所設立以来、脈々と受け継がれてきた70年という歴史の重みを現役メンバーが感じ、おもてなしの心を持って一致団結してその記念すべき瞬間を共に過ごすとともに、今後の運動の方向性を再認識することにより、メンバー一人ひとりの意識の向上に繋げ、彦根青年会議所の更なる発展に繋がる契機にしたいと考えます。

5. [事業計画の概要・推進方法]

- ① (実施日時) 2023年 7月 6日(木) 12:30~21:30 (準備及びリハーサル)
7月 8日(土) 10:00~11:45 (受付9:30)
- ② (実施場所・会場) プロシードアリーナHIKONE 多目的ホール
住所: 滋賀県彦根市小泉町640番
電話: 0749-30-9228
- ③ (予算総額) 1,328,245円
- ④ (外部協力者) 滋賀県立大学吹奏楽部
- ⑤ (参加者動員計画) 379名 (主賓28名、来賓44名、特別会員70名、JC関係者109名、
関係団体81名、
メンバー47名 (正会員32名、仮入会会員13名、外部監事2名))
- ⑥ (宣伝・推進方法) 合同部会にてPR
5月、6月度例会にてPR
月報6月号にてPR
来賓、特別会員及びJC関係者に案内状送付
彦根青年会議所公式Webサイト及びSNSにてPR
メーリングリストにてPR

⑦ (事業概要)

70周年趣旨テーマ:「挑戦 進化 唯一無二のひこねを！」

1953年の設立以来、志を持つ先輩諸氏の尽力により彦根青年会議所は70周年という大きな節目を迎えることができました。現役メンバーがこれまでの歩みに感謝を持ちつつ、唯一無二のひこねを実現するために更なる挑戦と進化を示すべく70周年事業を開催する。

・アジェンダ及び事業の詳細な内容については審議資料-1 参照

6. [前年度よりの引継事項] (創立60周年記念祝賀懇親会より)

- ・周年事業は、全メンバーで創り上げるものです。メンバー全員の士気を高められるような取り組みを考えていただきたい。
- ・会場選定において、前年度より綿密な計画立案を行っていただき、事業計画での動員計画に合った会場を選定していただくことにより、事業実行年度にスムーズな引き継ぎを行っていただきたい。
- ・先のことも見据え、経験豊富なメンバーのみが関わるのではなく、若手メンバーも積極的に関わることができる取り組みを行うことにより、今後の組織の更なる活性化につなげていただきたい。

7. [本年度の工夫と期待される効果]

- ・創立70周年に向けて、メンバー一人ひとりがこの記念すべき時を共有出来る喜びを感じ、今まで歩みつけてこられた先輩諸兄、地域の皆様への感謝の想いをしっかりと伝えることにより、今後の運動の方向性を再認識する一助になると考えます。
- ・部会開催時を利用し、式典開催に向けておもてなしのこころを今一度見直す機会を設けることにより、厳粛かつ規律正しい式典が開催出来ると考えます。
- ・式典会場を駅周辺のプロシードアリーナHIKONEにすることにより、沢山の方にお越しいただくことが可能になり、一人でも多くの方に70周年を迎えることができた感謝の気持ちを伝えることが出来ると考えます。
- ・オープニングにおいて、滋賀県立大学吹奏楽部に演奏していただくことにより、参加いただいた皆様におもてなしの心を感じていただくとともに、力強い演奏で彦根青年会議所の活気を感じていただく一助になると考えます。
- ・オープニングにおいて、70年の歩みを映像で映し出すとともに、60周年から今日までの活動実績をご覧いただくことにより、我々彦根青年会議所活動への理解を深めていただくとともに、これまで歴史を築き上げてこられた先輩諸兄や関わっていただいた関係諸団体の皆様に感謝を表す一助になると考えます。

- ・彦根で伝統を受け継いできた湖東焼で親子の盃を作成し、その内の片方をスポンサー J C へ記念品としてお渡しすることにより、地域の伝統の PR になるとともに、彦根青年会議所とスポンサー J C との今後も続く繋がりと感謝を表すことが出来ると思います。
- ・式典内において運動指針の発表を行うことにより、行政をはじめ関係諸団体の方々に今後の活動の方向性を示し、共感を得ることでより一層の協力を得る契機になると考えます。
- ・クロージング映像において今後の彦根青年会議所の明るい未来をイメージさせる映像とすることにより、お越しいただいた皆様に今後も躍進を続けていく彦根青年会議所とひこねを PR する一助になると考えます。
- ・閉会宣言終了後にメンバー全員が登壇し、理事長を先頭にメンバー全員で力強く感謝の気持ちを表すことにより、今後の彦根青年会議所に期待を持っていただく一助になると考えます。
- ・周年誌等を入れて持ち帰っていただくトートバッグを 70 周年のロゴを印刷したものにする事により、彦根青年会議所 70 周年の PR になると考えます。
- ・参加者全員にお渡しする記念品を日常的に持ち歩き使用できる 70 周年のロゴ入りの靴べらにすることにより、靴を着脱する本式典においてすぐに使用していただけるとともに、彦根青年会議所 70 周年の PR になると考えます。
- ・理事長の手書きのメッセージカードを作成しお渡しすることにより、式典にお越しいただいた皆様への心からの感謝の気持ちを表す一助になると考えます。

8. [執行部会での意見]

彦根青年会議所創立 70 周年にふさわしい、厳粛かつ感動的な式典を創り上げてください。

9. [添付資料の種類]

- ・審議資料ー 1 創立 70 周年記念式典アジェンダ
- ・審議資料ー 2 会場レイアウト図
- ・審議資料ー 3 看板レイアウト図
- ・審議資料ー 4 メッセージカードデザイン
- ・審議資料ー 5 スポンサー J C 記念品・感謝状 イメージ
- ・審議資料ー 6 トートバッグデザインイメージ
- ・審議資料ー 7 参加者記念品イメージ
- ・参考資料ー 1 参加者一覧
- ・参考資料ー 2 駐車場概要

10. [その他]

- ・会議室を 2 部屋用意し、控え室とします。
- ・リボン、筆ペンは前日の記念祝賀懇親会で使用したものを流用します。
- ・記念祝賀懇親会で使用した写真パネルを式典会場前に展示します。
- ・会場が土足禁止の為、参加者には受付でスリッパと靴入れ用の袋をお渡しします。
- ・会場駐車場の工事が式典当日までに完了しない可能性が高い為、パナソニック株式会社くらしアプライアンス社彦根工場の駐車場をお借りします。主賓は会場駐車場にとめていただき、主賓以外の参加者にはパナソニック株式会社の駐車場へ集合していただき、バスで送迎いたします。

第 3 回理事会の意見と対応

- (意見) ステージと客席を含め、人が歩く動線が確保されていることが分かるレイアウトを追加してください
- (対応) レイアウトを追加しました
- (意見) 普通のパイプ椅子ではなく、おもてなしの心を持って何か工夫するべきではないでしょうか。
- (対応) 会場の現物を確認し、そのまま使用しても問題ないと判断しました。
- (意見) スポンサー L O M への記念品の湖東焼きは購入したものよりも手作りの物の方が、想いが伝わるのではないかと。
- (対応) 湖東焼きの特徴である繊細な絵付けは素人では難しいと判断し、プロに特別に作成していただきます。
- (意見) スリッパは使い捨ての物では見た目も悪いですし、ゴミにもなりますので工夫していただきたい。
- (対応) スリッパはレンタルの物に変更しました。

(意見) 靴を入れる袋も普通のビニール袋ではなくロゴ入りの物にするなど工夫していただきたい。

(対応) ロゴ入りの不織布製トートバッグに変更し、持ち帰っていただける物にしました。

(意見) 袋にWEBサイトに繋がるQRコードを入れてみるのはいかがでしょうか。

(対応) QRコードを入れました。

第4回理事会の意見と対応

(意見) 式次第の内容は記念誌の中に記載してはどうか>

(対応) 記念誌に記載します。

(意見) 袋は3つもいらないのではないか。

(対応) 記念誌用のポリ袋の案は廃止し、トートバッグと靴用のポリ袋の2つにしました。

事業計画収支予算書

[様式:計-2-1]

<事業計画収支予算書>

(単位:円)

科目	予算額	2013年度予算額	2013年度決算額	摘要
(収入の部)				
1. 本会計からの繰入金	1,016,045	506,110	506,110	
収入計	1,016,045	506,110	506,110	
(支出の部)				
1. 会場設営費	246,520	74,940	75,852	
3. 資料作成費	4,400	133,732	78,327	
6. 旅費・交通費	158,400	0	0	
8. 参加記念品費	234,310	39,608	38,460	
9. 印刷費	0	40,640	31,500	
10. 通信費	0	147,320	88,640	
16. 雑費	372,415	69,870	57,470	
支出計	1,016,045	506,110	370,249	
収支差額	0	0	135,861	

[様式:計-2-2]

<収入明細書>

(単位:円)

科目	細目	摘要	金額	備考
1. 本会計からの繰入金		創立 70 周年記念式典	1,016,045	
		小 計	1,016,045	
合 計			1,016,045	

[様式:計-2-3]

<支出明細書>

(単位:円)

科目	細目	摘要	金額	備考
1. 会場設営費	会場費	プロシードアリーナHIKONE 多目的ホール 7/6~7/8	87,000	
		会議室 2 7/7~7/8	4,430	
		会議室 2 7/7~7/8	6,040	
	設営費	演台・花台	310	
		司会者台	210	
		マイク @520×2 本×2 日分	2,080	
		マイクスタンド @50×2 台×2 日分	200	
		プロジェクター @22,000×2 台	44,000	
		吊看板 800mm×5000mm	33,000	
		立看板 1800mm×900mm @8,800×2	17,600	
		看板取り付け部材一式	5,500	
		ステージ階段	3,300	
		多目的ホール冷暖房費	3,200	
		会議室 2 冷暖房費	800	

		会議室3 冷暖房費	800	
		長机 @50×5 台	250	
		椅子 @30×160 台	4,800	
		演台花	33,000	
		小 計	246,520	
3. 資料作成費	資料作成費	メッセージカード@11×400 枚	4,400	
		小 計	4,400	
6. 旅費・交通費	交通費	バス @52,800×3 台	158,400	
		小 計	158,400	
8. 参加記念品費		賞状用紙	120	
		賞状用額縁	1,590	
		スポンサーJC記念品	33,000	
		参加者記念品@499×400	199,600	
		小 計	234,310	
16. 雑費		ムービー作成費(オープニング)	100,000	
		ムービー作成費(クロージング)	150,000	
		芳名帳 @800×10 冊	8,000	
		バラリボン中 @565×81	45,765	
		リボンタレ中 @100×81	8,100	
		筆耕代 @110×81	8,910	
		スリッパ(レンタル) @110×400	44,000	
		トートバッグ@155×400	6,200	
		ポリ袋16号100枚(靴用)@360×4	1,440	
		小 計	372,415	
		合 計	1,016,045	

行 動 計 画 書

事業名	創立70周年記念式典開催		
期 間	企画開始 2022年11月20日 ~ 企画終了 2023年 9月26日		
	月 日	内 容	確認印
行動計画	2022年 11月20日	2022年度70周年準備特別委員会にて会場仮予約	済
	12月16日	式典部会にて基本コンセプト検討	済
	2023年 1月 7日	式典部会にて詳細を検討	済
	1月17日	委員会にて詳細を検討	済
	2月 1日	委員会にて詳細を検討	済
	2月 8日	委員会にて詳細を検討	済
	2月19日	会場打ち合わせ	済
	2月24日	第3回理事会に事業計画書を協議上程	済
	2月28日	第一回70周年合同部会	済
	3月 9日	懇親部会にて詳細を検討 委員会にて詳細を検討	済
	3月17日	懇親部会にて詳細を検討 委員会にて詳細を検討	
	3月 下旬	ムービー作成開始	
	3月23日	第4回理事会に事業計画書を協議上程	
	4月10日	懇親部会にて詳細を検討 委員会にて詳細を検討	
	4月24日	第5回理事会に事業計画書を審議上程	
	4月25日	会場正式予約 招待状発送 会場設営備品発注 記念品発注	
	4月27日	第二回70周年合同部会	
	4月28日	滋賀ブロック協議会 会員会議所にてPR	
	5月 下旬	参加者確認 ムービー確認及びメンバーから意見聴取	
	6月 中旬	ムービー最終確認	
6月27日	第三回70周年合同部会		
7月 6日	会場準備及びリハーサル		
7月 8日	創立70周年記念式典開催		
7月 中旬	滋賀ブロック協議会 会員会議所にて御礼		
9月26日	事業報告を理事会に上程		

創立70周年記念式典アジェンダ

進行時間	進行内容
9:30	1. 受付開始
10:00	1. 物故会員追悼(3分)
10:03	1. オープニング(15分)
10:18	1. 開式宣言・点鐘
10:21	1. 国歌斉唱
10:23	1. JCソング斉唱
10:25	1. JCI Creed 唱和
10:28	1. JCI Mission 唱和並びに JCI Vision 唱和
10:31	1. JC宣言文朗読並びに綱領唱和、LOMスローガン唱和
10:34	1. 理事長挨拶(10分)
10:44	1. 来賓・来訪JC紹介(12分)
10:56	1. 来賓祝辞(25分) ・滋賀県知事 三日月 大造 氏(5分) ・彦根市長 和田 裕行 氏(5分) ・公益社団法人 日本青年会議所 会頭 麻生 将豊 君(5分) ・公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区協議会 会長 柿野 真吾 君(5分) ・公益社団法人 日本青年会議所 滋賀ブロック協議会 会長 芳田 真史 君(5分)
11:21	1. 祝電披露
11:23	1. 歴代理事長紹介(5分)
11:28	1. 彦根JCシニアクラブより目録贈呈(4分)
11:32	1. 感謝状贈呈(スポンサーJCへ)
11:35	1. 公益社団法人彦根青年会議所 運動指針発表(10分)
11:45	1. クロージング映像(5分)
11:50	1. 閉会宣言
	1. お見送り

記念式典に関する趣旨説明

彦根青年会議所設立70周年を迎えるにあたり、熱き志のもと青年会議所を立ち上げ、明るい豊かな社会の実現を目指し歩み続けてこられた先輩諸兄や、永きにわたり我々の運動を支えてくださった各セクターの皆様への感謝の気持ちを伝えるとともに、今後の更なる発展に向け、今一度メンバー一人ひとりが青年会議所の一員であることへの誇りを胸に、次なる一步を踏み出せる契機となる式典を開催します。

・オープニング

70年前、熱き志と共に彦根青年会議所を設立されたチャーターメンバーの想いは、力強い運動指針として、今もなお途絶える事なく受け継がれています。それは水面に出来る“波紋”の様であり、大きく、更に大きくと幾重にも輪を描いていく様子は、我々の活動と同じであると考えます。

始めに滋賀県立大学吹奏楽部の演奏で始まり、途中から演奏と映像を織り交ぜて見ていただきます。

オープニング映像では、設立以来脈々と受け継がれてきた先人達の熱き血潮が、今もなお我々メンバーの中にしつかりと根付き、これまで私たちが活動をしてこられた感謝の想いを伝える内容とします。

・歴代理事長紹介

参加いただいた歴代の理事長を紹介させていただきます。

・彦根JCシニアクラブより目録贈呈

彦根JCシニアクラブより橋本理事長へ目録を贈呈させていただきます。

- ・感謝状贈呈（スポンサー J C へ）

橋本理事長よりスポンサー J C へ感謝状と記念品を贈呈していただきます。

- ・運動指針の発表

澤井実行特別委員長にパワーポイントを使用しながら説明していただきます。70周年を迎えた彦根青年会議所が、次なる目標へと向かって躍進していくことが感じ取っていただける内容とします。

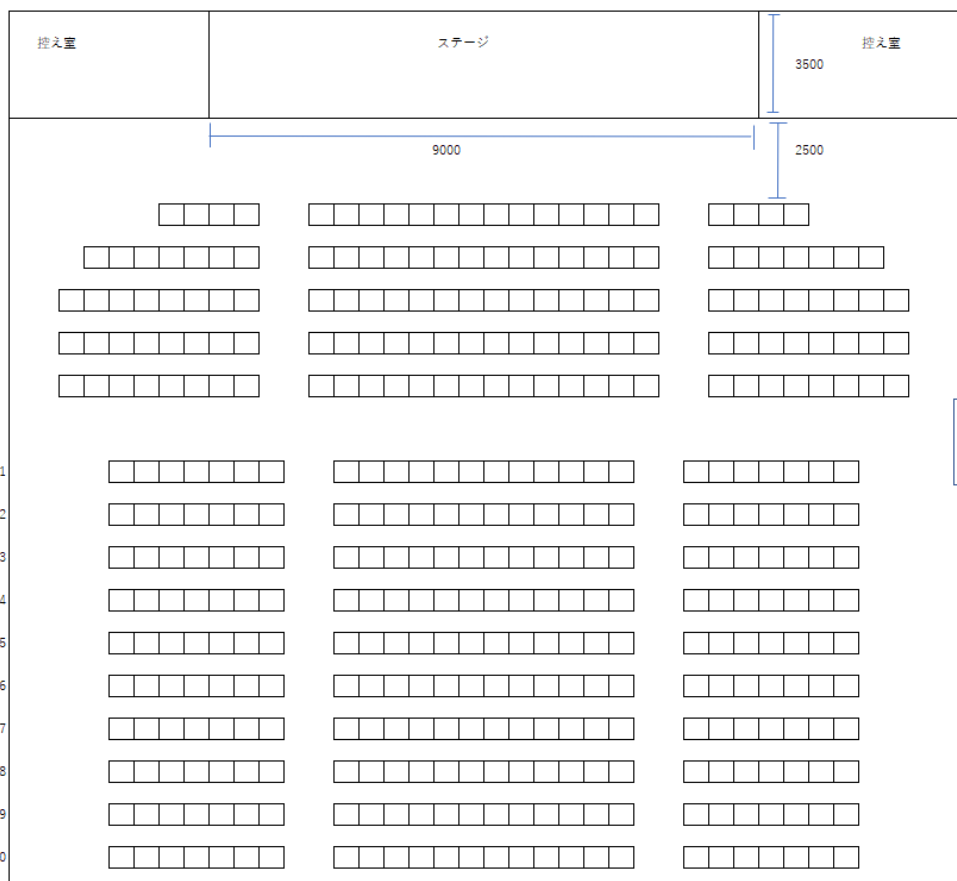
- ・クロージング映像

ひこねと彦根青年会議所がこれからも途絶える事なく続いていくものであることを確信していただくとともに、今後の彦根青年会議所運動が、さらに大きく広がってく様子を感じていただける内容とします。

- ・閉会宣言

委員長の閉会宣言後、メンバー全員が登壇し、理事長を先頭に感謝の言葉を伝えステージの幕を閉じます。

会場レイアウト図
・会場全体



・多目的ホール
観覧席



多目的ホール（観覧席）

20m×17m、445㎡、天井7.5m、
可動席234席、最大看座席410席、
ステージ、楽屋、可動防音壁、
音響、照明完備

観覧席レイアウト図



イス：稼働席とステージの間に設置



靴箱（約100足収納可能）



ステージ

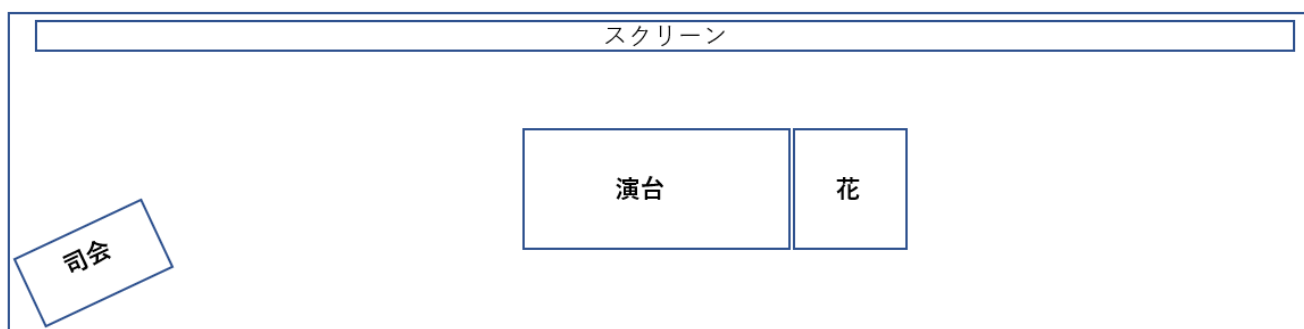


多目的ホール（ステージ）

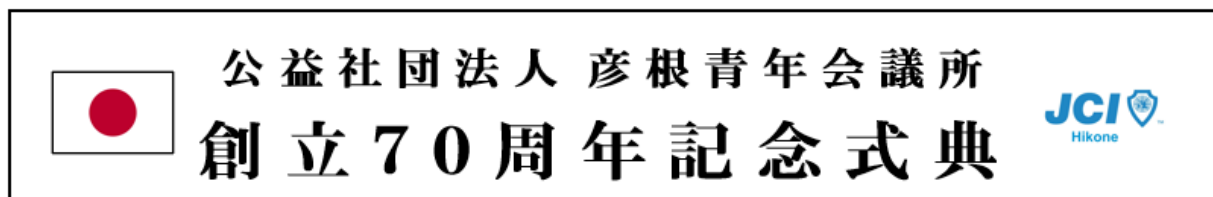
20m×17m、445㎡、天井7.5m、
可動席234席、最大着座席410席、
ステージ、楽屋、可動防音壁、
音響、照明完備

ステージレイアウト図

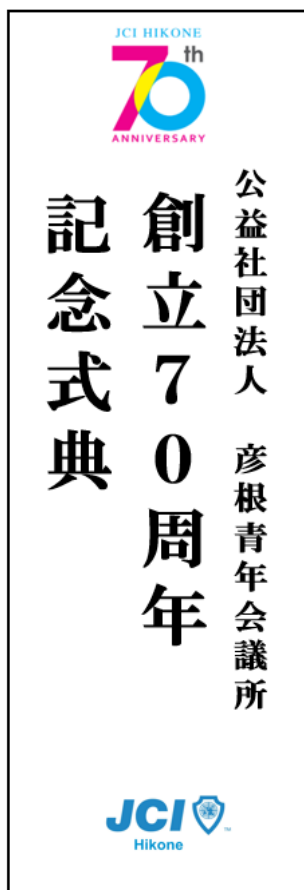
3. 5m×9m



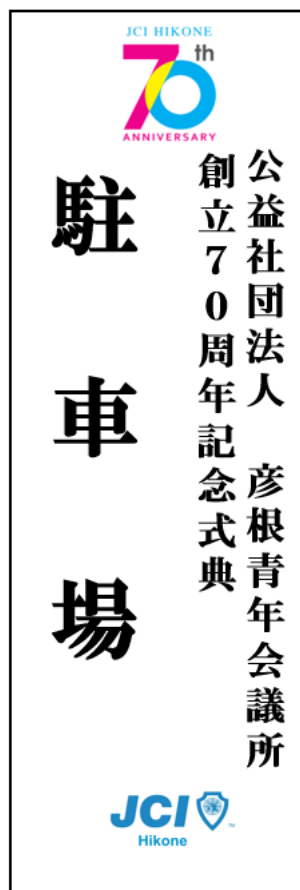
看板レイアウト図



ステージ吊看板 縦800mm×横5000mm



会場入口に設置
縦1800mm×横600mm



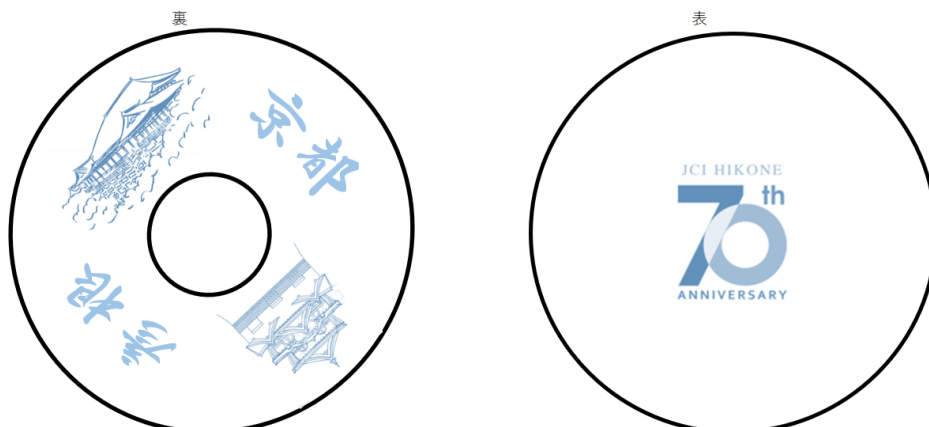
駐車場入口に設置

メッセージカードデザイン イメージ
100mm×148mm

公益社団法人 第七十代理事長 彦根青年会議所 橋本 一哉	○	○	○	○	す	た	本
	○	○	○	○	。	だ	日
	○	○	○	○		き	は
	○	○	○	○		誠	お
	○	○	○	○		に	忙
	○	○	○	○		あ	し
	○	○	○	○		り	い
	○	○	○	○		が	中
	○	○	○	○		と	、
	○	○	○	○		う	お
	○	○	○	○		ご	越
	○	○	○	○		ざ	し
		○	○	○		い	い
		○	○	○		ま	

理事長に手書きで1枚書いていただき、コピーします。

スポンサー J C 記念品・感謝状 イメージ
記念品 湖東焼 盃 デザインイメージ

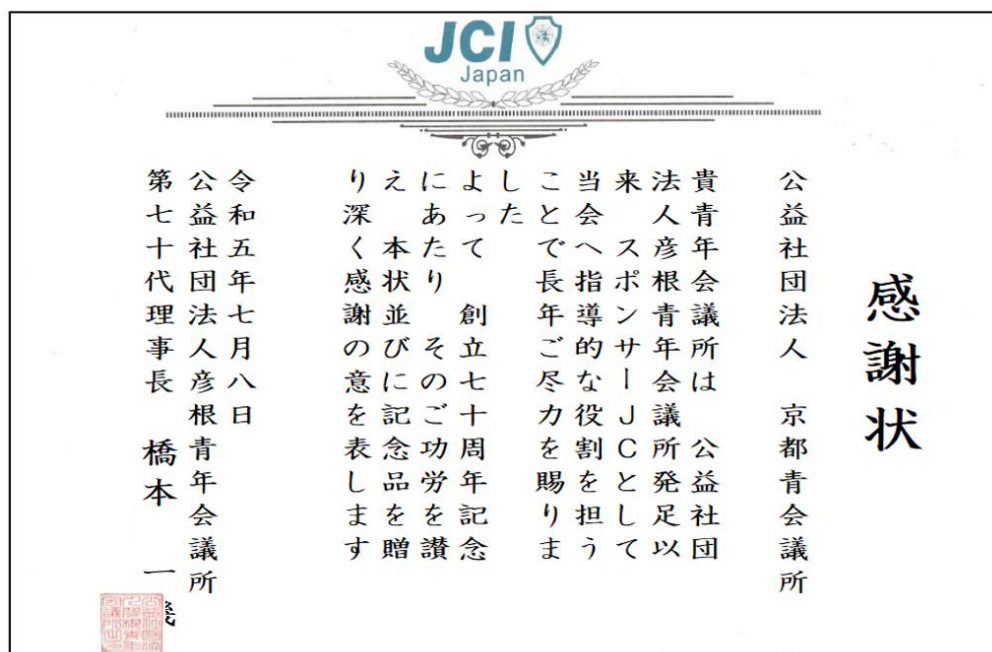


ひこねの代表的な観光地である「彦根城」と京都市の代表的な観光地である「清水寺」を描きます。

湖東焼 盃 サンプル



感謝状イメージ
A3サイズ



トートバッグ イメージ



約W400×H300×D110mm

白黒印刷

参加者に靴を入れていただきます。

トートバッグが汚れないよう、靴用のポリ袋もお渡しします。

参加者記念品イメージ



サイズ：85mm×40mm

材質：ステンレス



70周年ロゴマークを白色で印字

参加者一覧

主賓・来賓 129名 (バラリボン)

番号	氏名	役職	備考
主賓 28名	(名誉会員3名+賛助会員10名 +行政関係者15名)		バラ (大)
名誉会員	3名		
1	和田 裕行	彦根市長	
2	未定	彦根市議会議長 (令和5年5月就任)	
3	沼尾 護	彦根商工会議所会頭	
賛助会員	10名		
4	中川 広基	(株)大垣共立銀行彦根支店長	
5	藤本 祐良	(株)りそな銀行彦根支店長	
6	福尾 伸哉	(株)滋賀銀行彦根支店長	
7	谷川 孝司	(株)関西みらい銀行彦根支店長	
8	西堀 孝司	(株)京都銀行彦根支店長	
9	大塚 恵昭	(株)パリア代表取締役社長	特別会員
10	飯田 則昭	近江鉄道(株)代表取締役	
11	平松 正嗣	(株)平和堂代表取締役社長	
12	安澤 勝	彦根商店街連盟会長	
13	沼尾 護	滋賀中央信用金庫理事長	名誉会員
14	一圓 泰成	公益社団法人 彦根観光協会会長	特別会員
行政関係	15名		
15	三日月 大造	滋賀県知事	
16	平尾 道雄	米原市長	
17	久保 久良	多賀町長	
18	野瀬 喜久男	甲良町長	
19	伊藤 定勉	豊郷町長	
20	有村 国知	愛荘町長	
21	西島 良年	彦根市教育委員会教育長	
22	上野 賢一郎	衆議院議員	
23	嘉田 由紀子	参議院議員	
24	小鐘 隆史	参議院議員	
25	角田 航也	県議会議員	
26	中沢 啓子	県議会議員	
27	谷口 典隆	県議会議員	特別会員
28	赤井 康彦	県議会議員	特別会員
29	大野 和二郎	県議会議員	

来賓 4 4名	(関係団体 30 名 + 報道関係 14 名)		バラ (中)
関係団体	30 名		
30	五味 由紀子	彦根ワイズメンズクラブ会長	
31	西村 清司	彦根金亀ライオンズクラブ会長	
32	三久保 哲夫	彦根ライオンズクラブ会長	
33	上田 健一郎	彦根南ロータリークラブ会長	
34	細江 正人	彦根ロータリークラブ会長	特別会員
35	金澤 芳夫	彦根シャトーワイズメンズクラブ会長	
36	薩摩 四郎	彦根ユネスコ協会会長	
37	赤井 康彦	日本カラム協会会長	特別会員
38	羽田 賢一	彦根警察署長	
39	山口 雅之	彦根税務署長	
40	岡田 広幸	彦根市消防署長	
41	ベンジャミン・マクラケン	ミシガン州立大学連合日本センター所長	特別会員
42	廣川 能嗣	滋賀県立大学理事長	
43	木村 知子	聖泉大学学長	
44	竹村 彰通	滋賀大学学長	
45	黒杭 隆政	キリンビール滋賀工場長	
46	中村 真人	ブリヂストン彦根工場長	
47	松下 和雅	彦根商工会議所青年部会長	
48	久保田郁夫	稲枝商工会会長	
49	福原 裕人	稲枝商工会青年部長	
50	日向 寛	米原市商工会会長	
51	北村 喜史	米原市商工会青年部長	特別会員
52	尾谷 忠之	多賀町商工会会長	
53	久保田 進吾	多賀町商工会青年部長	
54	大野 均	甲良町商工会会長	特別会員
55	池田 拓	甲良町商工会青年部長	
56	山田 博次	豊郷町商工会会長	
57	浦部 昌紀	豊郷町商工会青年部長	
58	西村 正司	愛荘町商工会会長	
59	東 大裕	愛荘町商工会青年部長	
報道関係	1 4名		
60	谷口 典隆	彦根タイムス社	特別会員
61	猪飼 恵代	彦根文化新聞社	
62	山田 貴之	滋賀彦根新聞社編集長	
63	藤井 匠	朝日新聞彦根支局長	
64	今川 敢士	㈱京都新聞社彦根支局	
65	増村 光俊	中日新聞彦根支局長	
66	伊藤 信司	毎日新聞彦根支局長	
67	西 堂路	読売新聞彦根支局長	
68	大本 亮	NHK彦根支局長	
69	谷口 直記	㈱京都放送滋賀放送局	
70	山田 豊	びわ湖放送彦根支社長	
71	伏木 篤	エフエム滋賀彦根支局長	
72	小幡 善彦	エフエムひこねコミュニティ放送㈱	特別会員
73	松本 公誠	㈱ZTV滋賀彦根放送局長	

J C関係者	57名		バラ (中)
(来賓)	日本 2名	会長、副会長	
	近畿地区 30名	会長、直前会長、内部会計監査人、監査担当役員4、	
		顧問3、副会長11、運営専務、その他9	
	滋賀ブロック13名	会長、直前会長、監査担当役員2、副会長5、	
		運営専務、委員長5	
	県内理事長9名	理事長9名	
	姉妹 2名	理事長2名	
	京都 1名	理事長1名	
J C関係者	52名		
	日本 3名		
	滋賀ブロック 3名		
	県内LOM 36名		
	姉妹LOM 8名		
	京都 2名		
特別会員	328名	内9名は来賓、名誉会員	
関係団体	81名		

関係団体一覧 81名

エコメモリアル・チェンバー・オーケストラ代表者 若林 嘉代子 氏

「彦根一会流」代表：神野 豊子氏（全日本石州茶道教会副理事長）

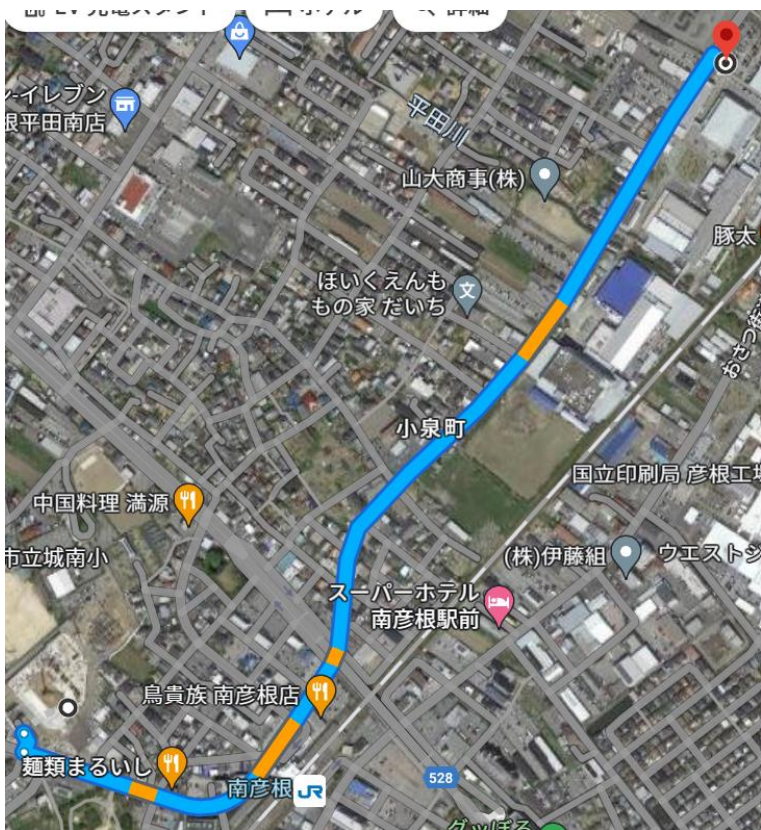
未来バンク事業組合理事長市民活動家 田中 優氏、ひこね文化プラザ、湖東焼・一志郎窯 工中川一志 郎氏
直弼のこころを伝える会 直心会：会長 小田輝子先生、ひこねこどもアトリエ、NPO法人小江戸彦根、
NPO法人城郭遺産による街づくり協議会、ひこね亀楽車、中井均氏（滋賀県立大学准教授）、彦根キャッスルホテル
千代神社、俳遊館、北野神社、琵琶湖博物館うおの会代表 中尾博行氏、マリアージュ彦根
王歌七舞会（おうかしちぶかむ）代表：鈴木健太郎氏、一休庵西明寺前本店、彦根市農村環境改善センター
グリーンピアひこね、ひこねステーションホテル、早稲田大学大学院公共経営研究科教授 北川 正恭氏（きた
がわ まさやす）、高取山ふれあい公園、彦根市美術教育研究会、豊郷小学校旧校舎群、ひこね繊維共同組合、
彦根仏壇事業協同組合、(有)クレオ式拾壺（クレオ21）、江州彦根七職家、(株)夢京橋、
井伊家第18代当主 井伊直岳氏、多賀大社、西明寺、びんてまりの館、丸松木材（株）、
とよさと快蔵プロジェクト、工房OLD&NEW、彦根発笑顔いっぱいプロジェクト、(株)千成亭（株）たねや、
京カロム工房&京カロムクラブ、ローザンベリー多和田、清涼寺 桂川 道雄氏、法相宗大本山 薬師寺執事 大谷
徹柴氏（おおたに てつじょう）、井尻彫刻所、滋賀県麻織物工業協同組合、エクシブ琵琶湖
地域活性化伝道師 一般財団法人地域活性化センター 林 光一氏、伊吹の天窓実行委員会 代表 早川 鉄兵氏、
特定非営利活動法人 彦根景観フォーラム 理事長 濱崎 一志氏、夏川記念会館、彦根吹奏楽団、
全国城下町青年会議所連絡協議会近江高等学校、株式会社グッドスマイルカンパニー 代表取締役社長 安藝 貴範氏
柿木花火工業、一般社団法人リディラバ代表 安部 敏樹氏、びわこてらこや専務 西村 忠浩氏、彦根一会流樹聖
会、柏原宿歴史館、料亭旅館やす井、おとくらプロジェクト、(財)淡海文化振興財団、
Grow dance studio、NPO法人彦根景観フォーラム、円照寺、高宮寺、
NPO法人 湖東焼を育てる会、ひろい写真館、コロナカメラ、多賀町B&G海洋センター、
彦根ボランティアガイド協会、パナソニック株式会社 アプライアンス社 彦根工場、彦根市子どもセンター
あけぼのパーク多賀、甲良町図書館、株式会社PRO-SEED 代表取締役 青柳 孝幸（あおやぎ たかゆき）
氏、公益社団法人全国国宝重要文化所有者連盟 井上 優（いのうえ まさる）氏、株式会社いろあわせ 代表取締役
北川雄士氏（きたがわゆうじ）、藤堂高虎ふるさと館和の家、
チョークアートCafe&Bar伊沙羅、萬年山 長松院

駐車場概要

パナソニック(株) くらしアプライアンス社 彦根工場
滋賀県彦根市岡町3 3



パナソニック⇒プロシードアリーナHIKONEまでのルート



車で約5分

公益社団法人 彦根青年会議所

2023年度 事業計画書

第6回理事会10号議案

議案名：70周年記念誌作成提案者：70周年実行特別委員会作成者：澤井 雄一上程月日：2023年4月24日

目次

上程スケジュール

事業計画書(1)	ページ～(4) ページ	第19回執行部会	2023年	2月15日	協議
収支予算書(5)	ページ	第20回執行部会	2023年	2月22日	協議
行動計画書(6)	ページ	第21回執行部会	2023年	3月8日	協議
添付資料(7)	ページ	第22回執行部会	2023年	3月15日	協議
最終ページ(68)	ページ	第4回理事会	2023年	3月23日	協議
		第23回執行部会	2023年	3月29日	協議
		第10回財政規則特別委員会	2023年	4月3日	審査
		第24回執行部会	2023年	4月5日	協議
		第25回執行部会	2023年	4月12日	審議
		第6回理事会	2023年	4月24日	審議

1. [事業計画提案名]

70周年記念誌作成の件

2. [事業の目的と意義：対外]

彦根青年会議所創立70周年を記念し、設立当初から今日に至るまでの歴史を振り返るとともに、次代に繋げる大切な資料として記念誌を作成することにより、関係諸団体をはじめとする各セクターの方々に我々の活動をより一層深く知っていただく一助になると考えます。

3. [事業の目的と意義：対内]

創立70周年を機に記念誌を作成することにより、設立当初から今までの歩みを今一度メンバー一人ひとりが振り返り、歴史ある彦根青年会議所に所属していることへの誇りを再認識するとともに、今後の活動の方向性を示す一助になると考えます。

4. [事業計画の概要・推進方法]

- ① (実施日時) 2023年7月8日(土)
- ② (実施場所・会場) 創立70周年記念式典会場
- ③ (予算総額) 847,250円

※詳細は別紙 [様式：協-2-1～3] 事業計画収支予算書参照

- ④ (外部協力者) 三日月 大造氏 和田 裕行氏 麻生 将豊氏 柿野 真吾氏

芳田 真史氏 田附 弘先輩

- ⑤ (参加者動員計画) なし
- ⑥ (宣伝・推進方法) 例会にてPR
月報にて記事掲載

⑦ (事業概要)

彦根青年会議所創立70周年を記念し、設立当初からの歩みとともに、50年から59年間の活動、更には今後の方向性を記載した記念誌を作成する。

・70周年記念誌

サイズ A4

規格 表紙 カラー

本文 69頁 カラー

発行部数 700冊 ※配布先詳細については参考資料参照

・70周年記念誌目次

式典式次第

目次

- | | | |
|-------------|-------|--|
| | P 1 | J C I C r e e d J C I M i s s i o n J C I V i s i o n
J C 宣言 綱領 |
| | P 2 | 入会認証書・第一回設立総会 |
| ・ご挨拶 | P 3 | 70周年ロゴ 開催テーマ |
| | P 4 | 理事長 橋本 一幾君 |
| ・ご祝辞 | P 5 | 滋賀県知事 三日月 大造氏
彦根市長 和田 裕行氏 |
| | P 6 | 公益社団法人 日本青年会議所 会頭 麻生 将豊君
公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区協議会 会長 柿野 真吾君 |
| | P 7 | 公益社団法人 日本青年会議所 滋賀ブロック協議会 会長 芳田 真史君
彦根 J C シニアクラブ代表幹事 田附 弘先輩 |
| ・創立70周年記念対談 | P 8 | 理事長と第72代会頭(麻生 将豊君)との会談 |
| ・あゆみ | P 1 0 | 1 9 5 3 ~ 2 0 1 2 年のあゆみ(表紙的に) |
| | P 1 2 | 1 9 5 3 年 ~ 2 0 1 2 年までの設立当初からの59代までの理事長写真と共に
事業計画、事業内容を白黒で記載。1ページに各2年分を記載。 |
| | P 4 2 | 2 0 1 3 年 ~ 2 0 2 2 年のあゆみ(表紙的に) |
| | P 4 4 | 60代目から69代目までの10年間に関しては、1ページ使用し、理事長
写真、スローガンと共に事業内容、組織図を記載。 |
| ・運動指針 | P 5 4 | 70周年を機に新たに打ち出された運動指針を記載する。 |
| ・名簿 | P 5 8 | 現役会員 委員会別に、氏名・生年月日・入会年度・役職・事業所名・顔写 |

真を委員会メンバーごとに記載。

P 6 4 特別会員 氏名・卒業年度を記載

P 6 7 物故会員 氏名のみ記載

- ・御礼 P 6 8 実行委員長挨拶 澤井 雄一君
式典部会長挨拶 夏原 慶君
懇親部会長挨拶 中西 雄也君

- ・最終ページ P 6 9 発行日や彦根青年会議所住所、電話番号を記載。

5. [前年度よりの引継事項]

- ・掲載記事において内容に誤りがございました。より念入りに確認するべきであったと考えます。
- ・式典に来ていただけなかった特別会員への周年発送分の予算を計上していなかったため、7・8月月報に同封しました。特別会員の方々から周年誌が届かないとの声も頂戴しましたので、特別会員分の周年誌発送費の予算を計上しておく必要があったと考えます。
- ・「特別会員ページ」において、卒業年度順に掲載したのですが、データの誤りがあり記載漏れの方がおられました。より念入りに確認するべきであったと考えます。

6. [本年度の工夫と期待される効果]

- ・70周年を記念し周年誌を作成することにより、彦根青年会議所の活動を今一度振り返る契機になるとともに、関係諸団体や各セクターの方々に、我々の運動をより深く知っていただく契機になると考えます。
- ・公益社団法人 日本青年会議所 麻生会頭と橋本理事長の会談の機会を設け、その内容を周年誌に掲載することにより、日本青年会議所本会からの期待と祝福の言葉を周年誌の一部として記録に残せるだけでなく、周年誌をご覧いただく多くの方々の期待と関心を促す契機になると考えます
- ・滋賀県知事を始め、各市町村の首長、青年会議所近畿地区並びに滋賀ブロック関係者からご祝辞をいただき周年誌に掲載することにより、各地域からの期待や関心の声を多くの方々と共有するとともに、70周年以降も続く関係諸団体、及びJC関係者と私たち彦根青年会議所との結びつきをより一層強くするための契機になると考えます。
- ・1953年の設立当初からのあゆみを記載することにより、先人達の活動を知るとともに、歴史の重みを感じる契機になると考えます。
- ・60年目から69年目の10年間を詳しく記載することにより、60周年以来のあゆみをより深く周知することができるかと考えます。
- ・過去10年間において協力していただいた関係諸団体にも配布することにより、今後の活動における相互理解を深める一助になると考えます。
- ・周年誌に会員名簿を記載することにより、70年というあゆみの中で、彦根青年会議所に在籍した会員名が周知されるとともに、現役メンバーに関しては顔写真を掲載することにより、現在所属しているメンバーに関する情報がより深く伝えられると考えます。
- ・周年誌を69ページまでにすることにより、69年の歴史をページでも感じていただくとともに、粋な計らいで読者に喜んでいただける一助になると考えます。
- ・周年誌のデータを公式WEBサイトに掲載することにより、JC関係者だけでなく一般の方にも

見ていただけ、青年会議所を知っていただく契機になると考えます。

- ・現役会員紹介ページにおいて写真を新しく取り直すことにより、最新の情報を伝える一助になると考えます。

7. [執行部会での意見]

69年の歴史を感じていただける周年誌にされたし。

8. [添付資料の種類]

- ・参考資料ー1 記念誌配布先資料
- ・参考資料ー2 周年誌イメージ

9. [その他]

(意見) 周年誌の重さを確認してください。

(対応) 業者に確認し500g以下でした。

(意見) 対外通信費の発送部数をもう少し余裕をみたらどうか。

(対応) 発送部数を増やしました。

(意見) 1953年から2012年までのあゆみでここまでの詳細を本当に記載できるのか

(対応) 過去の周年誌、ハンドブックを参考にし、データを集めました。

(意見) 対外通信費、86円であっているのか。

(対応) 対外通信費を調べた結果99円でしたので予算書を修正いたしました。

(意見) 予備65部は妥当なのか

(対応) 印刷部数の関係上予備を65部にしました。

(意見) 周年誌のデータでの活用方法を考えてください。

(対応) 総務広報委員会と打合せを行い、公式WEBサイト掲載してもらいます。

(意見) メンバーの顔写真を撮り直してはどうか

(対応) 撮り直しをしたいと思います。

事業計画収支予算書

[様式:計-2-1]

(単位:円)

科 目	予算額	2013 年度予算額	2013 年度決算額	摘 要
(収 入 の 部)				
1. 本会計からの繰入金	847,250	788,655	788,655	
収 入 計	847,250	788,655	788,655	
(支 出 の 部)				
3. 資料作成費	47,000			
9. 印刷費	750,750	787,500	787,500	
10. 通信費	49,500	1,155	1,155	
支 出 計	847,250	788,655	788,655	
収 支 差 額	0	0	0	

[様式:計-2-2]

(単位:円)

<収入明細書>

科 目	細 目	摘 要	金 額	備 考
1. 本会計からの繰入金		70 周年記念誌作成	847,250	
1. 本会計からの繰入金	1. 本会計からの繰入金	小 計	847,250	
合 計			847,250	

[様式:計-2-3]

(単位:円)

<支出明細書>

科 目	細 目	摘 要	金 額	備 考
3. 資料作成費	資料作成費	@47×1,000	47,000	
3. 資料作成費	3. 資料作成費	小 計	47,000	
9. 印刷費		@1,072. 5×700 部	750,750	
9. 印刷費	9. 印刷費	小 計	750,750	
10. 通信費	対外通信費	@99×500	49,500	
10. 通信費	10. 通信費	小 計	49,500	
合 計			847,250	

行動計画書

[様式：計-3]

事業名	創立70周年記念誌作成		
期間	企画開始 2022年9月18日～企画終了 2023年9月26日		
	月日	内 容	確認印
行 動 計 画	2022年 10月 3日	業者と打合せ	済
	1月 11 日	委員会にて概要検討	済
	10月20日	委員会にて概要検討	済
	11月12日	委員会にて概要検討	済
	11月18日	委員会にて概要検討	済
	12月20日	委員会にて概要検討	済
	2023年 1月11日	委員会にて概要検討	済
	2月 6日	委員会にて概要検討	済
	2月15日	委員会にて概要検討	済
	2月22日	委員会にて概要検討	済
	3月 8日	委員会にて概要検討	済
	2月15日	委員会にて概要検討	済
	3月23日	理事会に協議事項提案書上程	済
	3月28日	委員会にて資料作成	済
	4月 5日	式典部会にて概要検討	済
	4月 中旬	資料・写真等確認作業	
	4月24日	理事会に審議上程	
	4月 下旬	ゲラ校正	
	4月25日	記事正式依頼 資料作成開始	
	5月10日	文教スタジオにてメンバーの写真撮影	
	5月25日	理事会にて周年誌内容協議上程	
	6月 1日	原稿入稿	
	7月01日	周年誌完成	
7月0 中旬	7月度例会にてメンバーに配布		
7月 8日	創立70周年記念式典にて配布		
7月 中旬	委員会にて検証及び事業報告書作成開始		
9月26日	理事会に事業報告書上程		

周年誌配布先資料						
名誉会員 3	彦根市 市長	(1)	関係団体 30	彦根南ロータリークラブ	(1)	
	彦根市議会 議長	(1)		彦根ロータリークラブ	(1)	
	彦根商工会議所会頭	(1)		彦根シャトーワイズメンズクラブ	(1)	
				彦根ユネスコ協会	(1)	
賛助会員 11	㈱大垣共立銀行	(1)		日本カロム協会	(1)	
	近江鉄道㈱	(1)		彦根警察署長	(1)	
	㈱京都銀行	(1)		彦根税務署長	(1)	
	㈱滋賀銀行	(1)		彦根市消防署長	(1)	
	滋賀中央信用金庫	(1)		ミシガン州立大学連合日本センター	(1)	
	(株) バリヤ	(1)		滋賀県立大学	(1)	
	公益社団法人 彦根観光協会	(1)		聖泉大学	(1)	
	彦根商店街連盟	(1)		滋賀大学	(1)	
	㈱関西みらい銀行	(1)		キリンビール滋賀工場	(1)	
	㈱平和堂	(1)		ブリヂストン彦根工場	(1)	
	㈱りそな銀行	(1)		彦根商工会議所青年部	(1)	
				稲枝商工会	(1)	
	行政関係 15	滋賀県知事	(1)		稲枝商工会青年部	(1)
		彦根市教育委員会教育長	(1)		米原市商工会	(1)
愛荘町長		(1)		米原市商工会青年部	(1)	
甲良町長		(1)		多賀町商工会	(1)	
多賀町長		(1)		多賀町商工会青年部	(1)	
豊郷町長		(1)		甲良町商工会	(1)	
米原市長		(1)		甲良町商工会青年部	(1)	
参議院議員		(2)		豊郷町商工会	(1)	
衆議院議員		(1)		豊郷町商工会青年部	(1)	
県議会議員		(5)		愛荘町商工会	(1)	
				愛荘町商工会青年部	(1)	
				彦根ワイズメンズクラブ	(1)	
				彦根金亀ライオンズクラブ	(1)	
				彦根ライオンズクラブ	(1)	

報道関係 14	彦根タイムス社		彦根市立図書館	(1)
	彦根文化新聞社		愛荘町立愛知川図書館	(1)
	滋賀彦根新聞社		愛荘町立秦荘図書館	(1)
	朝日新聞彦根支局		甲良町立図書館	(1)
	(株)京都新聞社彦根支局		多賀町立図書館	(1)
	中日新聞彦根支局		豊郷町立図書館	(1)
	毎日新聞彦根支局		米原市立近江図書館	(1)
	読売新聞彦根支局		米原市立山東図書館	(1)
	NHK彦根支局		薬師寺執事	(1)
	(株)京都放送滋賀放送局		井尻彫刻所	(1)
	びわ湖放送彦根支社		滋賀県麻織物工業協同組合	(1)
	エフエム滋賀彦根支局		エクシブ琵琶湖	(1)
	エフエムひこねコミュニティ放送(株)	(1)	地域活性化伝道師	(1)
	(株)ZTV滋賀彦根放送局		一般財団法人地域活性化センター	(1)
関係団体 88			伊吹の天窓実行委員会	(1)
	エコメモリアル・チェンバー・オーケストラ	(1)	特定非営利活動法人	(1)
	彦根一会流	(1)	彦根景観フォーラム	(1)
	夏川記念会館	(1)		
	未来バンク事業組合	(1)	彦根吹奏楽団	(1)
	ひこね文化プラザ	(1)	近江高等学校	(1)
	湖東焼・一志郎窯	(1)	株式会社グッドスマイルカンパニー	(1)
	直弼のこころを伝える会	(1)	柿木花火工業	(1)
	ひこねこどもアトリエ	(1)	一般社団法人リディラバ	(1)
	NPO法人小江戸彦根	(1)	びわこてらこや	(1)
	NPO法人城郭遺産によるまちづくり協議会	(1)	彦根一会流樹聖会	
			柏原宿歴史館	(1)
	ひこね亀楽車	(1)	料亭旅館やす井	(1)
	彦根キャッスルホテル	(1)	おとくらプロジェクト	(1)
	千代神社	(1)	(財)淡海文化振興財団	(1)
	俳遊館	(1)	Grow dance studio	(1)
	北野神社	(1)	円照寺	(1)
	琵琶湖博物館うおの会	(1)	高宮寺	(1)
	マリアージュ彦根	(1)	NPO法人 湖東焼を育てる会	(1)
	王歌七舞会	(1)	ひろい写真館	(1)
	彦根市農村環境改善センター	(1)	コロナカメラ	(1)
	グリーンピアひこね	(1)	多賀町B&G海洋センター	(1)
	ひこねステーションホテル	(1)	彦根ボランティアガイド協会	(1)
	早稲田大学大学院公共経営研究科	(1)	パナソニック株式会社 アプライアンス社	彦
	高取山ふれあい公園	(1)	彦根市子どもセンター	(1)
	彦根市美術教育研究系	(1)	あけぼのパーク多賀	(1)
	豊郷小学校旧校舎群	(1)	株式会社PRO-SEED	(1)
	ひこね繊維共同組合	(1)	公益社団法人全国国宝重要文化所有者連盟	
	彦根仏壇事業協同組合	(1)	株式会社いるあわせ	(1)
	(有)クレオ式拾壺	(1)	藤堂高虎ふるさと館和の家	(1)
	江州彦根七職家	(1)	チョークアートCafe&Bar伊沙羅	
	(株)夢京橋	(1)	萬年山 長松院	(1)
	多賀大社	(1)	醒ヶ井養鱒場	(1)
	西明寺	(1)		
	びんてまりの館	(1)	JC関係152	メンバー (47)
	丸松木材(株)	(1)		日本青年会議所 (1)
	とよさと快蔵プロジェクト	(1)		近畿地区協議会 (30)
	工房OLD&NEW	(1)		滋賀ブロック協議会 (16)
	彦根発笑顔いっぱいプロジェクト	(1)		県内9LOM (45)
	(株)千成亭	(1)		姉妹LOM (10)
	(株)たねや	(1)		京都青年会議所 (3)
			特別会員328	内9名は主賓、名誉会員
			予備 65	

70周年記念式典 式次第

オープニング映像

開会宣言

国歌斉唱

J C ソング斉唱

J C I C r e e d 唱和

J C I M I S S I O N 唱和ならびに J C I V I S I O N 唱和

J C 宣言文朗読並びに綱領唱和

物故会員追悼

来賓・来訪 J C 紹介

挨拶 公益社団法人彦根青年会第70代理事長 橋本 一幾

祝辞 滋賀県知事 三日月 大造

彦根市長 和田 裕行

公益社団法人 日本青年会議所 会頭 麻生 将豊

公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区協議会 会長 柿野 真吾

公益社団法人 日本青年会議所 滋賀ブロック協議会 会長 芳田 真史

祝電披露

歴代理事長紹介

彦根 J C シニアクラブより目録贈呈

スポンサー J C へ感謝状贈呈

公益社団法人彦根青年会議所 運動指針発表

クロージング映像

閉会宣言

目次

The Creed Junior Chamber International

We Believe;

That faith in God gives meaning and purpose to human life;

That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;

That economic justice can best be won by free men through free enterprise;

That government should be of laws rather than of men;

That earth's great treasure lies in human personality;

And That service to humanity is the best work of life

【和訳】

我々はかく信じる

真理は人生に意義と目的を与え

人類の同胞愛は国家による統治を超越し

公正な経済は我々の自由な経済活動によってこそ果たされ

政府には人治ではなく法治が必要であり

人間の個性はこの世の至宝であり

人類への奉仕が人生最大の使命である

JCI Mission

To provide leadership development opportunities
that empower young people to create positive change.

【和訳】

青年会議所は、青年が社会により良い変化をもたらすために
リーダーシップの開発と成長の機会を提供する。

JC 宣言

日本の青年会議所は
希望をもたらす変革の起点として
輝く個性が調和する未来を描き
社会の課題を解決することで
持続可能な地域を創ることを誓う。

JCI Vision

JCI Vision:

To be the foremost global network of young leaders.

【和訳】

青年会議所が、若きリーダーの国際的ネットワークを先導する組織となる。

綱領

われわれJAYCEEは
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者 相集い 力を合わせ
青年としての英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう。

彦根青年会議所設立趣意書

大戦により打ちひしがれた日本経済も漸く再建の軌道に乗りつつありますが、幾多苦難に充ちた情勢にあり、世界に伍して完全な自立日本経済を確立するの重責は愈々吾等青年の双肩にあるものと存じます。斯く吾々青年の重責を思考する時、吾々は青年としての覺醒を促されると共に強き奮起を覺ゆるものであります。

幸ひ先に青年の國際的機關として「國際青年會議所」の設立を見、更に數十ヶ國に各國青年會議所が結成せられ國籍、人種を超越したる青年の交歓が行はれて居ります。

我國に於ても既に東京を初め主要都市には續々その設立が實現され、社団法人日本青年會議所も設立されたのであります。

當彦根市も産業都市、觀光都市として更に一層の充實と飛躍が要望せらるる時に當り、かかる國際的連繫と國內諸都市との協調に依つて、より健全なる郷土の發達を期して市内在住の青年經濟人が大同團結し、茲に「彦根青年會議所」の設立を企圖した次第であります。

吾々は茲に志を同ふする青年相寄り彦根青年會議所を設立して、商工青年の親睦を通じ、「個人の修練」「社会への奉仕」「世界との友情」の三大目標を掲げて活潑なる実践活動を行ひ、良き經濟人として、彦根産業の進運に寄與致したいと念願するものであります。

幸ひ郷土諸賢の賛同と御支援により吾々の企圖するところの實を擧げしめられんことを切望するものであります。

昭和廿八年七月



入会認承証



挑戦 進化

～唯一無二のひこねを～

創立70周年ロゴマークは色の三原色をイメージし作成いたしました。
原色から全ての色の元になり、色んな色、即ち（人 歴史 文化）を
彦根青年会議所が中心となることでどんな色にも変化できると想いを込め作成いたしました。



ご挨拶
理事長

滋賀県知事
三日月 大造

彦根市長
和田 裕行

顔写真

公益社団法人日本青年会議所

第72代会頭 麻生 将豊

公益社団法人彦根青年会議所 創立70周年記念誌への祝辞依頼

公益社団法人彦根青年会議所の皆様、創立70周年誠におめでとうございます。

70年という長きにわたり、青年会議所活動を通して、地域に多くの運動を生み出してこられたことに対しまして、心より敬意を表します。

創立70周年という記念すべき本年度、橋本一幾理事長のもと、スローガンに「初志貫徹！～新たな時代の魁に！～」を掲げられ、感謝の心を忘れず、明るい豊かな社会の実現を目指し邁進されておりますことと存じます。

日本青年会議所といたしましても、全国各地で夢を描く仲間とともに運動を展開し、日本の底力を世界へ発信してまいります。引き続き本会に対し、深いご理解、ご支援を賜るとともに、大いにご活用いただければ幸いです。結びに、貴青年会議所のさらなるご発展、並びに地域において素晴らしい運動を展開されますこと、先輩諸氏、現役会員の皆様にとって実り多き一年となられますことを心よりご祈念申し上げます。

公益社団法人日本青年会議所

近畿地区協議会

第72代会長 柿野 真吾

公益社団法人 日本青年会議所
滋賀ブロック協議会
第53代会長 吉田 真史

彦根 JC シニアクラブ代表幹事
田附 弘先輩

【創立70周年記念対談】

第72代会頭 麻生 将豊君×第70代理事長 橋本 一幾

【創立70周年記念対談】

第72代会頭 麻生 将豊君×第70代理事長 橋本 一幾

1953年～2012年のあゆみ



大きく表示

※背景を過去の写真に白黒で

1953年～2012年のあゆみ



大きく表示

※背景を過去の写真に白黒で

1953/1954

写真

初代理事長
中川 芳之助

【生年月日】T9. 7. 9

役職名簿

- ・副理事長 毛利 勘太郎 津田 益蔵
 - ・理事 宮本 政二郎 角 栄次郎
大日方 正明 森江 俊二
近藤 喜久三 近藤 長太郎
田中 正太郎 田中 綱雄
中村 善一
 - ・監事 加納 納久吉 大日方 正明
- (会員数25人)

年間行事

昭和28

- 6.10 第1回発起人会
- 6.15 第2回発起人会
- 6.28 創立準備委員会
- 7.4 創立総会
- 8.20 「彦根市を如何に発展すべきか」懸賞論文大募集
- 9.19 堤康次郎氏訪問同氏事業所見学
- 11.15 井伊彦根市長を囲む座談会
- 12.1 12月度例会
- 1.7 1月例会・新年宴会
- 1.16 彦根JC披露会・懸賞論文発表授賞式
- 1.19 日本JC正式加入登録番号52
- 6.19 屑箱を城山公園に設置寄贈
第1回家族懇親会(楽々園)

1955

写真

第2代理事長
中川 芳之助

【生年月日】T9. 7. 9

役職名簿

- ・副理事長 毛利 勘太郎 大日方 正明
 - ・理事 木下 武三 角 栄次郎
木村 武三 小林 竜太郎
中村 善一 瀬古 武夫
西村 公男 寺村 武蔵
森江 俊二 近藤 喜久三
近藤 長太郎 田中 綱雄
辻 喜蔵
 - ・監事 加納 納久吉 田中 正太郎
- (会員数30人)

年間行事

昭和29年

- 7.12 横浜開港記念児童画作品展
 - 7.20 彦根都市計画についての座談会
 - 9.15 彦根JC会報第1号発行
 - 9.19 県下高校生弁論大会
 - 10.15 第1回広告カーニバル
 - 12.1 国際親善児童画作品展
 - 12.23 クリスマス家族会(会議所)ロータリーと合同
- 昭和30年
- 2.13 トヨタ自動車豊橋工場見学
 - 6.27 文春文化講演会(西高講堂)

1956

写真

第3代理事長
大日方正明

【生年月日】T9. 7. 5

役職名簿

・副理事長 寺村 武蔵 近藤 喜久三

・理事 毛利 勘太郎 野村 善一

辻 喜造 西川 忠治

田中 綱雄 宇田 勘造

森江 俊二 山本 竜一

・監事 毛利 勘太郎 中川 芳之助

(会員数35人)

年間行事

昭和30年

10.9 第2回広告カーニバル

10.23 会員紅白野球大会

12.12 クリスマス家族会 (会議所)

昭和31年

4.22. 臨時例会ゲスト千宗興 (楽々園)

10.1 第3回広告カーニバル

11.2 マナルス登頂記念開演今西寺雄氏

12.22 クリスマス家族会 (スター食堂)

文芸講演会 (池州町短大講堂)

近畿青年会議所野球大会彦根球場
で開催

1957

写真

第4代理事長
木下 武三

【生年月日】T9. 7. 24

役職名簿

・副理事長 角 栄次郎 田中 綱雄

・理事 大日 方正明 近藤 長太郎

中川 芳之助 中野 満寿雄

山本 竜一 川瀬 清一

寺村 武蔵 辻 喜道

西川 忠治 西村 公男

瀬古 武夫 岡川 和夫

・監事 近藤 喜久三 毛利 勘太郎

(会員数45人)

年間行事

1.25 彦根文化同盟議員と懇談会

3.28 米一握り運動 426,475 円市に寄付

5.19 第5回近畿地区会員大会主管

7.10 経済講演会森岡平保氏下部和
義氏

8.11 夏季家族会 (松原湖月楼)

9.28 税務署と親善野球試合

10.6 第4回広告カーニバル

10.14

JCI 世界会議 (東京)

12.15~18

国際親善児童画作品展

12.16 彦根 JC 会報 2、3号発行

12.23 クリスマス家族会

1958

写真

第5代理事長

角 栄次郎

【生年月日】T13.10.24

役職名簿

- ・副理事長 加納 久吉 田中 綱雄
- ・理事 丸橋 泰蔵 宇田勘造 岡川 和夫
- 大日方正明 中川芳之助 中村 英和
- 西川忠治 近藤長太郎 木下 武三
- 近藤 喜久三 西村 公男 小出 信雄
- 森江 俊二 瀬古 武夫 寺村 武蔵
- ・監事 毛利 勘太郎 川瀬 清一

(会員数54人)

年間行事

- 2.18 工場見学朝日ビール明治製菓
- 4.6 4月例会ゲスト井伊彦根市長
- 5.1 彦根 JC 創立 5 周年城内記念植樹
- 5.24 彦根 JC 創立 5 周年記念式典
- 式典会場（滋賀銀行）晚餐会（スター食堂）
- 5.24~21 生活文化展商工会議所にて春季家族会
- 6.8 一日警察官
- 7.28 税務署と親善野球大会短大グラウンド
- 9.3 JC デー 日里親資金供託
- 9.20~21 国際親善児童画作品展（マルビシ）
- 10.5 第5回広告カーニバル
- 彦根市観光課彦根観光協会との意見交換会
- 市長との懇談会
- 商工会議所との懇談会

1959

写真

第6代理事長

加納 久吉

【生年月日】T15.11.24

役職名簿

- ・副理事長 瀬古 武夫 小出 信雄
- ・理事 中野 満寿雄 樋口 敏雄
- 宇田 勘造 川瀬 滝一 中村 英和
- 丸橋 泰蔵 北河 博 岡川 和夫
- 近藤 喜久三 田中 綱雄 山本 竜一
- 岩崎 義雄
- ・監事 島野 喜道 津田 益蔵

(会員数49人)

年間行事

- 2.2 京都 JC とスキー交歓会
- 2.6 彦根 JC ニュースの創刊
- 2.19 旭日酒造見学（愛知川）
- 3.15 経済研究会大下三雄氏
- 4.1 少年少女に送る為の標語当選者発表
- 4.12~15 皇太子御成婚記念写真展
- 5.6 テーブルマナー講習会近江商人についての座談会
- 8.1~2 第1回自動車ショー夏季家族会
- 9.3 JC デーゴールドメダル中塚平八君受賞
- 9.28 広告カーニバル伊勢湾台風被災地に寄付の為止
- 10.3 文春文化講演会
- 経営研究会（大下三族氏）
- 10.7 日本 JC 教育青少年委員長賞受賞
- 第8回全国会員大会にて
- 12.8 八日市 JC 発会式（スポンサー丁 C 彦根）
- クラブ活動の開始
- 12.26 クリスマス家族会（スター食堂）

1960

写真

第7代理事長

田中 綱雄

【生年月日】T11.10.18

役職名簿

・副理事長 森江 俊二 樋口 敏雄

・理事 藤田 謙一郎 角 栄次郎

近藤 喜久三 前川 彦三 岡川 和夫北河 博服

部 実 村下 裕垣 若林 正郎 岩崎 義雄 中

村 英和 野村 是佳守

若林 雄治郎

・監事 近藤 喜久三 小出 信雄

(会員数81人)

年間行事

2.27 スポーツ講演会 朝隈善郎氏田中守氏

5.1 JC 奨学金制度の発足奨学生決定

5.22 働く青少年激励懇談会

5.27 ・人の集い料理講習会

6.25 政局の収に関する声明書発表

名神東海道新幹線 市の長期計画について

7.25 開国百年記念国際親善児童画作品募集

9.3 JC デー国旗掲揚塔の寄贈 (市役所前)

9.23~26 国際児童画「社会の谷間」絵画、写真展

10.2 第6回大老開国百年大カーニバル

10.10 第9回全国会員大会 (高松) 特別ローカル」C賞受賞

10.20 八日市 JC 認承式 (スポンサーJC彦根)

道路を広く美しくステッカーの配布

蚊撲滅運動再開

11.3 バリ世界会議

小出信雄君日本 JC 特別派遣員

クズ入れ児童公園に寄付

国旗掲揚運動を再開

委員会対抗野球大会

12.25 クリスマス家族会 (スター食堂)

1961

写真

第8代理事長

近藤 喜久三

【生年月日】T13.7.16

役職名簿

・副理事長 宇田 勘造 小出 信雄 岩崎 義雄

・理事 中村 英和 北河 博 木下良蔵

近藤 長太郎 角 栄次郎 山本 忠男

服部 実 樋口 敏雄 前川 彦三

岡川 和夫 森江 俊二 田井中 順次

小川 太郎 柏井 健一 堀部 明

丸本 賢雄

・監事 加納 久吉 角 栄次郎

(会員数72人)

年間行事

2.12 JC スキー交歓会 京都 長浜 彦根 (伊吹山)

4.1~2 第2回自動車ショー (彦根城内グラウンド)

4.9 敦賀 JC 交歓野球

5.14 身体不自由児慰安ドライブ長命寺

5.17 日本 JC 創立 10 周年記念式典 (東京)

広報活動優秀賞受賞

6.11 働く青少年慰安会 (京都東映撮影所)

7.18 「彦根を語る」座談会 (レストラン第一)

8.21 第10回全国会員大会 (旭川)

優秀会員賞中川芳之助氏受賞

誌上覆面座談会

9.1 JC デー記念行事児童教育座談会

(護国神社)

9.25 広告カーニバル中止

第2室戸台風被災者に 50,000 円寄付

12.22 クリスマス家族会 (レストラン第一)

会員親睦麻雀大会

1962

写真

第9代理事長

森江 俊二

【生年月日】T13. 11. 20

役職名簿

- ・副理事長 樋口 敏雄 若林 正郎 柏井 健一
- ・理事 角 栄次郎 小川 太一郎 島野 喜道
近藤 喜久三 宇田 勘造 木下 良蔵 小寺 義夫 勢田
正夫 服部 実
- 田中 網雄 石黒 政雄 岩崎 義雄
- 北河 博 小出 信雄 堀部 明
- 丸橋泰蔵 宮尾 憲司 若林 雄治郎
- ・監事 加納 久吉 前川 彦三

(会員数75人)

年間行事

- 3.11 市民会館建設基金造成上方演芸会
純益 210,700 円を寄贈
- 4.3~7 JCI 大阪会議
- 9.9 第1回市内中学校野球大会 (彦根球場)
- 9.11 市政座談会 JC デー記念行事
- 9.14 県下 4JC 合同例会大津長浜八日市
- 10.7 第7回広告大カーニバル彦根お城祭り協
賛
- 10.20 彦根 JC ニュース日本 JC 優良広報誌に
決定
- 11.11 年末たすけあい資金造成名士揮毫作品展
- 12.22 クリスマス家族会 (レストラン第一)

1963

写真

第10代理事長

小出 信雄

【生年月日】S14. 9. 23

役職名簿

- ・副理事長 北川 博 岡部 和夫 服部 実
- ・理事 宮尾 憲司 樋口 敏雄 柏井 健一
小寺 義夫 勢田 正夫 林田 繁子
- 丸橋 泰蔵 服部 明 加納 久吉
- 角 栄次郎 前川 彦三 若林 正郎
- 瀬古 武夫 石黒 政雄 若林 雄治郎
- 岩崎 義雄 近藤 喜久三
- ・監事 石黒 政雄 宇田 勘造

(会員数71人)

年間行事

- 4.6~7 第3回自動車ショー
- 5.9 自衛隊1日入隊
- 6.7~10 病める少女に献血運動
- 8.13 アジア留学生歓迎会
血液型検査
- 9.3 JC デー市長を囲む座談会 (レストラン第一)
- 9.26 文春文化講演会
有馬頼義氏 石原慎太郎氏 司馬遼太郎氏
- 10.5 全国会員大会
優秀委員会賞受賞 (奉仕委員会)
優秀広報誌受賞 (広報委員会)
- 10.26 彦根 JC 創立10周年記念式典
記念講演会舟橋聖一氏
懇親会 (玄宮園)
- 12.21 家族会 (レジャーセンター)

1964

写真

第11代理事長

樋口 敏雄

【生年月日】S2. 11. 16

役職名簿

- ・副理事長 宇田 勘造 田井中 順次
- ・理事 石黒 政雄 藤村 善雄 小川 太郎若林 正郎 勢田 正夫 田附 洋治期
- 長崎 友宏 堀部 明 増本 降治
- 近藤 長太郎 阿知波 弘 岩崎 義雄 田中 郁朗 出口 市郎 松田 徹
- 宮尾 憲司 若林 雄治郎
- ・監事 近藤 喜久三 角 栄次郎

(会員数66人)

年間行事

- 4.11 ドライブクラブ名神高速道路開通パレードに参加
- 4.18 第3回県下4JC合同例会
- 5.17 身体不自由見慰問
- 6.21 第3回中体連野球大会表彰式
- 社会改良計画協力実施
- 奨学金運営委員会地域社会事業に協力
- 8.9 観光アンケートの実施(松原水泳場)
- 8.27CD計画にもとづく観光問題座談会(スター食堂)
- ゴルフクラブの発足
- 10.11 秋季家族会松茸狩り
- 11.12 CD計画にもとづく観光問題協議会
- 12.22 クリスマスパーティ(スター食堂)
- CD計画基礎調査実施

1965

写真

第12理事長

宇田 勘造

【生年月日】S2. 11. 16

役職名簿

- ・副理事長 岡川 和夫 早川 輝蔵 出口 市郎
- ・理事 前川 彦三 平塚 充 小川 一郎
- 小幡 善治 藤村 善雄 木田 隆夫
- 堀部 明 増本 隆治 荒川 秀三
- 清水 巖 田中 郁朗 長崎 友宏
- 田井中 順次 田附 洋治朗 小川 太郎 北河 博
- ・監事 岩崎 義雄 若林 正郎

(会員数66人)

年間行事

- 1.21 大津市へ公共下水道視察
- 1.29~30 社会改良計画福井へ視察
- 3.1 公共下水道についてのパンフレットの作成アンケート実施 公共下水道視察開市 桑名市
- 5.15~16 自動車ショー
- 9.4 水資源セミナー(大津)
- 9.16 働く青少年の為の映画会
- 10.6 彦根JC カマロードバンク発足
- 10.13 JCデー記念行事 時代を担う青少年教育対策座談会
- 第2回名士作品展示即売会
- 11.3~7 名士毫作品展示即売会(市民会館)
- 純益金 75,579円を市福祉事務所を通じ贈る
- 11.4 県下4JC合同例会(八日市)
- 11.12 第1回会員研修会
- 12.7 「死のハイウェー」映画会(市民会議) 文楽公演を後援
- 12.26 クリスマスパーティ(スター食堂) 事務局の開設披露パーティー

1966

写真

第13代理事長

丸橋 泰蔵

【生年月日】S3. 7. 29

役職名簿

- ・副理事長 若林 正郎 松下 裕垣 平塚 充
- ・理事 近藤 長太郎 北川 善九郎 堀部明
松田 徹 小川 太一郎 小幡善治
宮尾 憲司 奥井 貞夫 北河 博
阿知波 弘 加納 久吉 木田 隆夫
服部 実 村重 圭三 竹内 康彦
長崎 友広
- ・監事 田井中 順次 樋口 敏雄

(会員数65人)

年間行事

- 3.14 義務教育9ヶ年間皆出席者表彰
- 3.16 慶応義塾大学シンフォニックバンド演奏会
純益 264,566 円を寄贈 (市民会館) 彦根青少年吹奏楽団基金造成
- 6.8 文春文化講演会ホームホスピタリティ
- 6.19 身体不自由見慰問 彦根 桑名本土横断道路にとりくむ
- 6.26 第5回市内四中学球技大会
- 7.8 アメリカ女性を囲む座談会
- 9.14 JCデー統一事業実施「明るい町づくり」懇談会 彦根の未来図
プランの発表
- 10.20 経済講演会トヨタ自動車会長 彦根市議会の傍聴 青少年非行
防止についての座談会
- 11.5~6 第15回全国会員大会 (神戸) 優良広報誌賞受賞
- 11.7~8 JCI世界会議を京都彦根で開催 LCIメンバー40名彦根に
来彦
- クリスマス家族会

1967

写真

第14代理事長

岩崎 義雄

【生年月日】S2. 11. 30

役職名簿

- ・副理事長 小川 太一郎 小幡 善治 堀部 明
- ・理事 岡川 和夫 安田 光一 阿知波 弘
丸橋 泰蔵 遠藤 吉秀 田井中 順次
小幡 善治 北河 博 木田 隆夫
荒川 秀三 田附 洋治郎 出口 市郎
竹内 康彦 前川 彦三 長崎 友宏
平塚 充
- ・監事 北川 善九郎 樋口 敏雄

(会員数66人)

年間行事

- 1.21 彦根市制30周年座談会 (市民会館)
- 2.15 幼児教育についての懇談会(JC ルーム)
- 2.25 「中部圏問題特別委員会」発足 (名古屋)
- 3.14~16 県道津彦根線現地視察
- 3.17 特殊学級に関する研究
- 3.18 市内四中学9ヶ年間皆出席者表彰 41名
- 4.20 市議会議員立候補者へのアンケート実施
- 5.12 第2回経済セミナー (市民会館)
- 5.25~27 交通安全教室市内小学校児童
- 5.28 身体不自由見慰問
- 6.23~23 会員旅行 小松 JC10周年参加
- 8.1 第2回小学校対抗水泳記録会
- 9.4 JCデー交通問題座談会
- 9.16 経営セミナー (農営会館)
- 10.7~8 第16回全国会員大会
- 11.6 納税者の声を聞く懇談会
- 11.8 JCニュース100号記念 歴代広報委員長座談会 (やりや)
- 11.14 野崎滋賀県知事を囲む懇談会 市内工場見学
- 12.19 さよならクリスマスパーティ (市)

1968

写真

第15代理事長

近藤 長太郎

【生年月日】S5. 2. 9

役職名簿

- ・副理事長 木田 隆夫 小幡 善治 竹内 康彦
- ・理事 北河 博 遠藤 吉秀 藤田 益平
- 藤田昌利 松田 徹 宮元 幸雄
- 加藤 孝明 田中 郁朗 原 幸男
- 安田 光一 横田 迪夫 小川 太一郎 北川 善九郎
- 宮尾 憲司 長崎 友宏 丸橋 泰蔵 岡川 和夫
- ・監事 前川 彦三 平塚 充

(会員数68人)

年間行事

- 4.13 社会開発市民懇談会
- 5.16 CD 計画アンケート実施調査 関係官庁との
CD 座談会 市民参加の献血運動
血液カマラードバンクの実施
- 5.17 彦根青年会議所新聞創刊号発刊
- 5.26 青少年写生大会 (彦根城)
- 6. 7 防衛大学1日入校
若い世代との座談会 米原/稲枝/多賀
(小林教育長を囲んで座談会)
- 日本JC マンの交歓
- 6.22 夏季経営者開発セミナー
- 7.4~8 みどりの写生大会展示会と表彰式
- 7.17 県知事を囲む座談会
- 9.14 彦根青年会談所創立15周年式典及び祝賀会
(市民会館)
- 近畿地区協議会 (市民会館)
- 12.21 クリスマスパーティ

1969

写真

第16代理事長

木田 隆夫

【生年月日】S8. 4. 13

役職名簿

- ・副理事長 田中 郁朗 松田 徹 長崎 友宏
- ・理事 北川 善九郎 横田 迪夫 安田 光一
- 宮元 幸雄 吉田 義和 小幡 善治
- 芝原 明 田附 洋治朗 藤居 栄三
- 原 幸男 三輪 良平 藤田益平
- 岩田健 宮尾 憲司 若林秀行
- 藤居 孝典 堀部 明 岩崎 毅
- 加藤 孝明 藤村 善雄 田井中 順次
- ・監事 岡川 和夫 野村 是佳守

(会員数68人)

年間行事

- 2.20. 日本の安全と防衛に関する座談会
- 3.20 義務教育9年皆出席者表彰
- 4.8 フックレーJCと姉妹」C仮調印
- 4.16 CD 計画調査結果の全員の討論会
第1回市民懇談会
- 5.24 市長との懇談会
- 6.14 第2回市民懇談会
- 7.14 NHK 交響楽団演奏会
- 7.16 行政懇談会の開催
- 8.23 中部圏シンポジウム協力
「彦根の未来について」
- 9.20 CD 計画問題点による
市民アンケートの実施
- 10.5 駐車場問題
- 11.9. 紅葉の彦根城写生大会
- 12.24CD 計画分析結果による小冊子の発刊

1970

写真

第17代理事長

堀部 明

【生年月日】S9. 5. 28

役職名簿

- ・副理事長 原 幸男 藤居 孝典 北川 善九郎
 - ・理事 藤田 益平 小幡 善治 岩田 健
宮川 房夫 団 源一郎 佐竹 鉄次郎 田井中
順次 田附 洋治朗 若林秀行 橋本 貢治 北村 進
宮尾 憲司
出口 市郎 正村 嘉規 藤田 昌利
藤居 栄三 橋本 恵三 吉田 義和
伊藤 武彦 長崎 友宏 三輪 良平
 - ・監事 近藤 長太郎 小川 太郎
- (会員数75人)

年間行事

- 1.8 CD 計画分担の方法の研究
- 1.27 駐車場問題についての懇談会 (エスカルゴ)
- 2.17 県下JC ボウリング大会
- 3.8 社会開発と都市問題セミナー(京都)
- 3.18 義務教育9ヶ年皆出席者表V
- 4.12 彦根JC 家族会 (万国博)
- 5.16~17 第5回モーターフェア彦根城
公衆グラウンドに5,000人 市議員との懇談会
駐車場間温 「芹川堤に駐車場」を提言
- 7.3 教育講演会 高田好削師を囲む夫人同伴例会
- 8.19 彦根少年少女吹奏楽団万博野外劇場に出演する
- 9.18 商店街と駐車場問題懇談会
- 9.24 アジア経済について懇談会 (近江プラザホテル)
- 9.27 会員セミナー (市民会館)
- 11. 3 第3回紅葉の彦根城の写生大会
- 11.9 読書感想文コンクール優秀者表

1971

写真

第18代理事長

藤居 孝典

【生年月日】S11. 4. 3

役職名簿

- ・副理事長 藤田 益平 田附 洋治郎 横田迪夫
 - ・理事 藤田 昌利 宮元 幸雄 阿知波 弘
松田 亘史 三輪 良平 前川 彦三
木田 隆夫 北川 広作 北川 薫
古沢 光二 小幡 善治 芝原 明
宮村 慶一 橋本 恵三 森 睦子
伊庭 伸悟 若林 秀行 北村進
北村 昌造 佐竹 鉄次郎 岩田 健
 - ・監事 長崎 友宏 田中 郁朗
- (会員数96人)

年間行事

- 2.8 就職関係懇談会
- 2.15 市教育委員会小林教育委員長と懇談会
青少年の健全育成を願って
- 3.18 義務教育皆出席者表乾
- 5.2 第10回市内五中学球技大会 青少年健全育成
- 5.17 新市議員アンケート
JC アジア青年の船歓迎会 国際交歓使節
- 7.11 彦根市交通問題推進協議会発足準備委員会開催 (市民会館)
- 7.25 湖上セミナー 地域社会建設運動働く青少年を対象
公共下水道問題
- 9.8 読書感想文コンテスト青少年健全育成
- 9.16 消費者問題懇談会
- 10.17 田中通産相の時局講演会
「転換期を迎えた内外政治の焦点」
- 11.2 彦根市交通問題推進協議会結成
- 11. 7 第4回紅葉の彦根城写生大会

1972

写真

第19代理事長

小幡 善治

【生年月日】S11. 9. 18

役職名簿

- ・副理事長 若林 秀行 岩田 建 北村 昌造
大菅 幸男
- ・理事 古沢 光二 小島 靖夫 北川 薫
藤村 善雄 佐竹 鉄次郎 堀部 明
奥井 貞夫 北川 善九郎 三輪 良平
芝原 明 北川 広作 藤田 昌利
和田 正吾 横田 迪夫 田島 茂洋 山本 忠雄 成宮 輝彦
藤田 益平 原 幸男 宮村 慶一 伊藤 武彦
吉田 義和 宮尾 芳晴
前川 彦三 長崎 友宏 伊庭 伸吾
- ・監事 田附 洋治郎 木田 隆夫

(会員数106人)

年間行事

- 3.17 義務教育皆出席者表彰
- 4.1 彦根市交通問題推進協議会、市民会館で開催される
- 4.16 滋賀ブロック会員大会 経済評論家 三鬼陽之助氏講演
- 5.28 琵琶湖一周水質調査 お堀水質調査
- 6.8・12 経営者夫人教室
- 7.29 琵琶湖を美しくするキャンペーン 土曜市に写真展
- 9.2 ビバヤングフェスティバル前夜祭に市民コンサート
東京混声合唱団特別演奏会
- 9.3 青少年の為の講演会 五木寛之氏
第1回ビバヤングフェスティバル
- 第5回彦根城写生大会家族そろって楽しい写生大会
- 10.12 アナーバーJCとの姉妹締結推進の為訪米
- 11.2 まちづくり市民アンケート
- 12.16 クリスマス家族会 (近江プラザ)

1973

写真

第20代理事長

松田 亘史

【生年月日】S11. 1. 23

役職名簿

- ・副理事長 山本 忠男 田島 茂洋 藤田 昌利
- ・理事 鈴木 徳哉 北川 健 田島 一男 夏原 平和
安沢 大輔 川居 正則 北川 薫 木田 隆夫
二木 義雄 宮尾 芳晴 堀部 明 鈴木 宗嗣
北村 昌造 北川 善九郎 原 幸男 芝原 明
中野 重産 伊藤 武彦 藤田 造平 日加田 一平
藤居 孝典 北川 広作 岩根 順子 正村 嘉規
川口 松男 伊庭 伸吾
- ・監事 岩田 健 藤村 善雄

(会員数108人)

年間行事

- 3.16 彦根城外堀水質調査
- 3.19 義務教育皆出席者表彰 教育委員会との懇談会
- 5.20 創立20周年記念式典(市民会館) 記念講演会
歴史作家 杜山悠氏、品川孝子氏 高松 IC と姉妹 JC 締結
交通問題 ワツペン運動
- 6.10 第6回みどりの写生大会
- 6.12 9.13 経営者夫人教室
- 9.2 JC デー統一事業「彦根青年教養講座」
婦人会との懇談会(公害問題について)
- 11.1 大阪フィルハーモニー交響楽団演奏会
- 11.15 彦根のまちなみを考える討論会
(青年会議所、史談会、婦人会) LIA 会議
- 11.17~18 第2回ビバヤングフェスティバル “美しい彦根をつくる会” 発足
- 12.22 クリスマス家族会 (近江プラザ)

1974

写真 第21代理事長
原 幸男

【生年月日】S13. 1. 2

役職名簿

- ・副理事長 北川 薫 藤村 善雄 宮村 慶一
佐竹 鉄次郎
- ・理事 鈴木 徳哉 藤居 孝典 古沢 光二
安沢 大輔 成宮 輝彦 中野 重彦 宮元 幸雄
北村 登 宮川 孝昭 北川 健 川居 正則
鈴木 宗嗣 松本 隆 藤田 益平 津田 武司
北川 広作 音瀬 吉竹 森 和雄 藤本 孝樹
田島 茂洋 小幡 善治 堀部 明 三輪 良平
岩根 順子 北川 善九郎 寺村 四郎
- ・監事 横田 迪夫 山本 忠男

(会員数113人)

年間行事

- 5.3~19 市内五中学対抗球技大会
- 6.16 みどりの彦根城写生大会
- 6.26 9.25 彦根市教養大学講座
- 7.14 水戸、高松、彦根、姉妹」C調印式
城下町彦根を考える会メンバーとの座談会
- 11.6 彦根のまち再発見写真コンクール実施
- 11.6 まちづくりアンケートの実施
クリーン琵琶湖作戦アンケート
- 12.14 第3回ビバヤングフェスティバル
- LIA 会議
- 家族運動会
- 城下町彦根を考える会発足

1975

写真 第22代理事長
田島 茂洋

【生年月日】S13. 12. 9

役職名簿

- ・副理事長 北川 広作 鈴木 徳哉 伊藤 武彦
川居 正則
- ・理事 中野 重彦 藤田 昌利 津田 武司
宮元 幸男 河口 浩通 藤村 善雄 小川 良紘
松田 亘史 高杉 常治 正村 嘉規 清水 克己
北村 勘次郎 小島 強 北川 薫 大菅 幸男
宮川 孝昭 小山 真 佐竹 鉄次郎 三輪 良平
所 庄五郎 夏原 平和 宮尾 芳晴 木村 清美
久保 隆 山本 忠男 田中 郁朗 小幡 善治
- ・監事 藤居 孝典 藤田 益平

(会員数124人)

年間行事

- 3.18~LIA 会議
- 3.24 佐和山公園植樹
- 4.青年会議所モニター制度
- 4.19~20 11.8~9KJ 法セミナー
- 5.18 第8回みどりの彦根城写生大会
- 6.1 水流町水路清掃合計4回清掃
- 6.21~7.5 アジア青年の船記念パーティー
- 7.2 青年大学教育講座
- 7.8 家族大運動会
- 9.6 第5回江州ラリー
- 9.7 第4回ビバヤングフェスティバル
少年少女水泳大会 市民教育討論会 河野洋平氏
- 9.24 水流町に鯉の放流月100尾死亡 青少年教養講座
奥様アンケート「汚水について」
- 10.5JC デー クラシックコンサート
二期会オペラ演奏「セビリアの理髪師」
- 10.13 婦人教室魅力ある女性として生きる為に
- 10.19 食えない魚釣り大会

1976

写真

第23代理事長

藤田 昌利

【生年月日】S18. 1. 15

役職名簿

・副理事長 宮尾 芳晴 中野 重彦 三輪 良平
安沢 大輔

理事 佐竹 鉄次郎 小川 長紘 原 幸男

松田 亘史 成宮 輝彦 清水 克己 堀部 義雄

松尾 則長 小幡 善治 舟越 幸雄 広瀬 安彦

所 庄五郎 藤居 孝典 久保 隆 小島 強

河口 造通 上木 淳吉 北川 広作 岩根 順子

小泉 善雄 藤本 孝樹 一圓 億夫 小山 眞

佐々木 幸造 夏原 平和 伊藤 武彦 中川 明

・監事 横田 迪夫 山本 忠男

(会員数135人)

年間行事

2.20 ゴミ問題セミナー (宗安寺)

2.25 水流町老人会との懇談会 (星光会館)

3.8 新入会員セミナー (京橋会館)

3.24・5.17 LIA 会議

3.28 4.6 ゴミ問題セミナーアンケート

3.30 水質汚濁調査開始5年目 家庭教育問題アンケート

4.12 彦根城外堀及び河川の水質調査

4.18 「水流町水路」清掃

4.19 交通問題関係機関との懇談会

5. 3 鯉の放流水流町

5.16 第9回彦根城写生大会

5.24 教育講演会石川弘義氏

6.10 文芸文春講演会山口瞳氏 早乙女貢氏 おおば比呂司氏

バイロロジー運動 交通遺児へのクリスマスプレゼント

8.12 家族会「陶芸講座」

9.5 クリーンびわこ作戦の標語の表彰 JCデー 史跡オリ

エンターリング 彦根の歴史と伝説をたづねるつどい

佐和山登山と植樹のつどい 郷土芸能と民話のつどい

むかしのおもちゃを作るつどい 吹奏楽団のつどい

文化財保存資料の作成彦根の歴史と伝説を タイムマシン

に乗って 血液型カード作成 会員経営セミナー

1977

写真

第24代理事長

川居 正則

【生年月日】S13. 1. 24

役職名簿

・副理事長 夏原 平和 宮川 孝昭 一圓 億夫
正村 嘉規

・理事 馬場 勘三 金森 征三 三輪 良平 清水 克己

北村 登 佐々木 幸造 森島 長一 鶴見 正明

舟越 幸雄 上木 淳吉 中島 屯 原 幸男

川口 松男 小山 眞 中川 明 宮下 泰彦

高杉 常治 田村 守 川瀬 昌己 田部 泰男

松尾 則長 滝沢 隆司 広瀬 安彦 西川 清司

篠田 守 成宮 輝彦

・監事 横田 迪夫 山本 忠男

(会員数131人)

年間行事

2.25 都市交通問題研究

3. 1 LIA の実施

5.22 第10回写生大会 クリーンアンドリサイクルキャン

ペーン 城下町彦根の歴史と伝説をたづね 歩く会

6.22.9.30 青年教養大学講座

6.30 市民憲章に対する作文募集

8.21 少年少女水泳大会

9.4 親子歴史散歩部会 交通遺児対策 交通問題シンポジウム

市民会議「明日の彦根を考える」 家族そろって「門掃き作
戦」

SUN 計画の研究

10.6 カマラー ドバンクの運営 (例会会場にて)

11.3 びわこを愛する運動 ソフトボール大会

11.16 黒川紀章講演開催 教育問題アンケート

わたしたちのまちづくり作文募集

12.17 クリスマス家族会 LD 道場の開催 KJ 法の実践

1978

写真

第25代理事長

正村 嘉規

【生年月日】S15. 11. 13

役職名簿

- ・副理事長 小川 良紘 北村 登 佐々木 幸造
清水 克己
- ・理事 田島 茂洋 平井 進 小堀 博政
北川 広作 森 久勝 藤田 昌利 千田 次夫
小嶋 強 青山 憲三 佐竹 鉄次郎 安沢 大輔
細江 正人 小林 忠郎 久保 隆 田中 秀彦
- ・監事 原 幸男 宮尾 芳晴

(会員数126人)

年間行事

- 5.14 第11回写生大会
- 7.23 25周年記念事業 山本直純コンサート
- 小さな親切運動
- インフォメーション シンクタンク
- 「くらしの110番」小冊子作成
- 7.25 彦根少年少女歴史講座の開講計6回開催
- トークイン彦根
- はなし方教室
- 地域対話集会
- JCデー青空会議市議員と市民との対話
- 8.1~31 家族そろって門掃き作戦
- 8.20 家族会「家族そろってストライク」
- ボウリング大会
- 9.3 親子城山散歩彦根城を探ろう
- 9.6 カマロードバンク
- 10.6 社団法人化 ソフトボール大会 25周年記念式典
- 12.10 ふるさと研究友の会の発足

1979

写真

第26代理事長

伊藤 武彦

【生年月日】S17. 9. 15

役職名簿

- ・副理事長 一園 億夫 河口 浩通
北村 勘治郎 小山 眞 中川 秀哉
- ・理事 住 昇 奥山 二三男 太田 実
安沢 大輔 小川 良紘 松尾 則長
木村 清美 鶴見 正明 奥井 勇 赤井 圭一
森 善英 宮尾 勝彦 木村 順一 夏原 平和
- ・監事 藤田 昌利 佐々木 幸造

(会員数120人)

年間行事

- 5.14 第12回みどりの彦根城写生大会 本の交換会
- 6.17 みどりの写生大会表覚式
- 6.26 第3回互論理塾
- 7.24 夏期経営戦略セミナー 会員研修の実施
- 9.1~2 JCデー記念講演 無着成恭氏
- 城山ハイキング 親子キャンプ親子で遊ぼう語ろう
- 魚釣りあつまれわんぱく広場 粉石礫を使う運動の実施
- 小さな親切運動 彦根市一日一斉清掃 (旧港湾清掃)
- LD道場の開講 LIA会議
- 9.2 第2回少年少女歴史講座
- 彦根城歴史ガイド (54高校総体期間)
- 心の故郷びわこを守るための運動の実施
- カマロードバンク実施 家族そろって門掃き作戦
- 10.15 「明日の彦根を考えよう」勉強会開催
- 会員親睦旅行「館山寺」 家族会「奈良ドリームランド」
- モニター懇談会

1980

写真

第27代理事長

一圓 億夫

【生年月日】S18. 3. 5

役職名簿

・副理事長 川口 松男 小嶋 強 成宮 輝彦
久保 隆

・理事 木村 泰始 長坂 純男 柳本 雄市
宮川 孝昭 片岡 哲司 三輪 良平 中川 秀哉
佐竹 穂 小山 真 北村 登 宮元 邦彦
清水 克己 石田 博 藤田 昌利 中島 屯

・監事 正村 嘉規 伊藤 正夫

(会員数121人)

年間行事

- 2.3 彦根混声合唱団定期演奏会
- 2.4 教育委員会との懇談会
- 3.21 水質調査
- 5.11 みどりの彦根城写生大会
- 6.29 粉石岬推進協議会 マネージメントゲーム
- 7.6~8 少年少女歴史講座
- 80年代のまちづくりアンケート
- 9.6 日本の安全と防衛講演会 大切な水を考える講演会
水の作文コンクール少学5、6年対象
過去5回の水質調査を元に、水の冊子作成
カマラードバンクの運営
- 9.7 JCデー
野外教室芹川びわこの歴史をまなぶ芹川での鯉の手つかみ
互論理塾MG5 産業フェア（まちかど芸能）

1981

写真

第28代理事長

宮川 孝昭

【生年月日】S19. 9. 7

役職名簿

・副理事長 安沢 大輔 清水 克己 広瀬 安彦
森嶋 長一

・理事 藤田 昌利 荻田 昌治 川瀬 晴雄
田部 正俊 久保 隆 清水 裕一 小川 良紘
小林 保雄 上木 敦吉 中島 千秋 上田 豊弘
小出 喜昌 平井 進 筑山 紘 三輪 良平

・監事 北村 登 伊藤 武彦

(会員数120人)

年間行事

- 4.2 家族会（神戸ポートピアランド）
- 5.17 みどりの写生大会本の交換会
- 6.28 全国ネット育児テレホン相談
- 21世紀の若者を育てるキャンペーン
- 6月~8月 第4回少年少女歴史講座「郷土愛を育てる」
彦根いろはかるた作成 FKTに協力
- 7.9・14 互論理塾 ブルートレイン劇場
リサイクルコーナー
- 8.6 N響特別演奏会「市民により良い音楽を」
第1回市民との懇談会 第1回市長との懇談会
- 8.30 JCデー
青空コンサート おはようジョギング大会
城と城下町映画
歴史研究PR 少年少女ふるさと研究友の会
彦根の歴史を語る「語ろう明日のわが町」池波正太郎氏
パネル写真の展示 びわこ国体

1982

写真

第29代理事長

夏原 平和

【生年月日】S19. 9. 15

役職名簿

- ・ 副理事長
- ・ 理事
- ・ 監事

(会員数123人)

年間行事

- 2.9 商工会議所との懇談会
- 2.11 教育委員会との懇談会
- 3.9 彦根新聞記者会との懇談会
- 3.23 水質検査の実施
- 4.25 LIA 会議の開催
- 5.15 第15回みどりの彦根城写生大会 少年少女歴史講座
の開講 城下町彦根を考える会への協力
- 6.5 家族会交流会例会ミシガンにて開催
- 6.30 互論理塾 MIA 経営セミナー
- 7.18 城山ジョギング大会
- 7.30 市長との懇談会
- 8.20 教育講演会 神津善行 カンナ氏講演
- 9.20 第3回互論理塾
- 10.20 KJ 法セミナー グリーンマップの作成
- 11.7 FKT 第5期生入講式 誇れるまちづくりデー
誇れるまちづくり会議 雨市山への植樹 いろは松の2
代目の植樹 明日の彦根のまちの姿について意見交換会
室制度の新組織体の活動開始

1983

写真

第30代理事長

清水 克己

【生年月日】S20. 1. 5

役職名簿

- ・ 副理事長
- ・ 理事
- ・ 監事

(会員数119人)

年間行事

- 3.7・4.15 LIA 会議開催
- 3.16 市議会傍聴
- 3.22 FKT かるたづくり 近畿知事サミット
- 4.26LD 道場の開催
- 5.8 創立30周年記念大会野球教室
川上哲治氏高田繁氏星野仙一氏
- 5.9 創立30周年記念ゴルフコンペ
- 5.22 第16回写生大会 フィンランド学校との交歓会
- 5.26 城下町彦根を考える会総会
- 6.26 第6回少年少女歴史講座開講 写生大会表彰式
- 7.16 互論理塾2回開講 まちづくり討論会
社会を明るくする運動
- 9.3・4 第31回近畿地区会員大会の主管 創立30周年式典
- 9.18 家族会ボウリング大会
- 10.10 異学年交流ミニミニ駅伝
- 11.6 雨壺山ふれあいの木植樹会
- 11.14 税務署との懇談会

1984

写真

第31代理事長

中川 明

【生年月日】S24. 1. 20

役職名簿

- ・副理事長 片岡 哲司 小山 真 清水 裕一
- ・理事 奥居 雅彦 西川 清司 木村 泰造
- 宮元 邦彦 川口 均 細江 正人 伊吹 之男
- 田部 正俊 佐竹 穂 森 善英 久保 隆
- 前川 卓士 三輪 良平 夏原 平和 木村 泰始
- 小林 忠郎 郷 敏郎 石田 博 西村 昌信
- ・監事 宮川 孝昭 安沢 大輔

(会員数103人)

年間行事

- 2.8 教育委員会との懇談会
- 2.16 商工会議所との懇談会
- 3.6 第1回互論理塾
- 3.11 第1回「彦根かるた」かるたとり大会
- 3.19 水質検査市内13か所
- 4.15 雨壺山ふれあいの木保全管理(植樹)
- 5.13 フィンランド人学校生徒との交歓会
- 5.20 第17回みどりの彦根城写生大会
- 3世代交流ブロックゲートボール(栗東)
- 5.20・6.17 環境問題啓発運動
- 6.17 水とびわこの集い 写生大会表式
- 7.16 第2回互論理塾
- 7.22 醒ヶ井養鱒場にて家族会
- 7.1~8.12 少年少女歴史講座計5回開催
(合宿8月11日、12日)
- 9.21 LD道場の開催
- 11.3 城下町彦根まつり
- 外国人子弟との交歓会
- 11.11 観光シンポジウム'84
- 太鼓の展示 市内の大太鼓10基
- 城下町彦根の市民会議
- 11.13 第3回互論理塾

1985

写真

第32代理事長

清水 裕一

【生年月日】S20..

役職名簿

- ・副理事長 木村 泰始佐竹 穂
- ・理事 馬場 勘三 小出 英樹 伊吹 之男
- 戸所 岩雄
- ・監事 小山 真 田部 正俊

(会員数112人)

年間行事

- 1.13 第2回「彦根かるた」かるたとり大会
- 1.29 彦根市観光協会意見交歓会
- 2.7 在新聞社との懇談会
- 2.8LIA 会議7回開催
- 2.19 商工会議所との懇談会
- 3.5 市長との懇談会
- 3.13・14 ウォッチザ自治調査と市議会傍聴
- 3.21 雨壺山ふれあいの木保全作業芹川けやき並木保全作業
- 4.18 教育委員会との懇談会2回
- 5.19 第18回みどりの彦根城写生大会
- 第1回3世代交流ゲートボール大会
- 5.28 第1回互論理塾
- 6.9・13 第1回LD道場
- 6.30 アイアンマンに阪東陽出場
- 7.7~8.20 第8回少年少女歴史講座5回開催
- 7.13 アナーバー市の子供たちに対する城山ガイド
- 7.19 アナーバー市中学生との交流会彦根おもしろウィーク
- 7.21 ガーデンパーティ in サマーナイト(夏の家族会)
- 8.3 第9回鳥人間コンテストに参加
- 8.6 第2回互論理塾
- 9.7・8 第3回互論理塾 ビジネスゲーム
- 9.21~23 彦根城野外演劇「寿歌西へ」
(天守閣西の丸)
- 11.3 城下町彦根のまつり
- 11.8 第2回LD道場
- 12.4 クリスマス喜劇会

1986

写真

第33代理事長

佐竹 穂

【生年月日】S20. 1. 5

役職名簿

- ・副理事長 小出 英樹 戸所 岩雄 西村 昌信
- ・理事 馬場 英一 安居 秀泰 山内 勉
上田 豊弘
- ・監事 田部 泰男 細江 正人

(会員数117人)

年間行事

- 1.12 第3回「彦根かるた」かるたとり大会
- 2.22・23 全員旅行(山城)
- 3.13・14 市議会傍聴
- 4.27 自然との交歓会(雨壺山)
- 5.11 第19回みどりの彦根城写生大会
- 3世代交流ゲートボール大会
- 5.19 フィンランド学校との交歓会
- 7.16 ブロックゴルフコンペ
- 7.24 第9回青少年少女歴史講座5回開催
- 8.3 環境フェスティバル
- 9.3 100%例会
- 湖国21世紀ビジョン地域検討会
- 9.6 竜童組ファミリーコンサート
- 9.7 ブロック会員大会
- 歩行ラリー
- 9.22・23LD道場歩行ラリー
- 9.27・28FKT城山ガイド
- 互論理塾
- 10.24 彦根太鼓連格協議会の結成

1987

写真

第34代理事長

片岡 哲司

【生年月日】S20. 1. 5

役職名簿

- ・副理事長 伊吹 之男 木村 泰造 郷 敏朗
- ・理事 木村 泰治 奥居 準暁 上田 豊弘
川原崎 清三 中村 明久 小出 英樹 土川 博
高木 淳一 馬場 英一 井川 良一 松宮 一
中川 一史 中川 哲 中川 秀哉 一円 外志夫
安居 秀泰 木村 修 清水 裕一 山内 勉
森原 勇治 加納 滋康 田中 泰治 河合 透
- ・監事 戸所 岩雄 西川 清司

(会員数114人)

年間行事

- 1.15 第4回「彦根かるた」かるたとり大会
- 2.12 商工会護所との懇談会
- LIA会議7回開催
- 2.21・22 全員旅行(奈良 京都)
- 4.13 教育委員会との懇談会
- 5.10 第20回写生大会
- 5.173 世代交流ゲートボール大会
- 6.21~8.20 第10回青少年少女歴史講座4回開催
- 7.22 互論理塾いまなぜ異業種交流なのか
戸出武氏
- 8.2 環境フェスティバル
- 夏の家族会
- 9.15 21世紀フォーラム イン彦根 永六輔氏
- 血液カマラードバンク検査
- 10.18 LD道場
- 11.3 ひこねお城まつり
- 世界古城博覧会
- 11.8 第1回彦根シティマラソン
- 11.17 地域振興公開シンポジウム
- JC国際交流の船の実施
- 12.12 クリスマス家族会(近江プラザ)

1988

写真

第35代理事長

小出 英樹

【生年月日】S20..

役職名簿

- ・副理事長 辻 博史 馬場 英一 細川 達
- ・理事 西川 清司 河合 透 田中 由一
- 郷 敏朗 中川 哲 川原崎 清三 田中 泰治
- 木村 泰造 安居 秀泰 木村 泰造 田附 弘
- 伊吹 之男 岸本 光史 井川 良一 寺村 太
- 上田 豊弘 松宮 一 清水 裕一 宮川 雅仁
- 土川 博 宮川 基司 原田 亀雄 奥居 雅彦
- 辻 博史
- ・監事 馬場 勘三 山内 勉

(会員数113人)

年間行事

- 1.15 第5回「彦根かるた」かるたとり大会
- 4. ネットワークキャラバン開始
- 4.10 ライヴサーキット VOL.1
- 佐藤允彦氏 山本邦山氏 (玄宮園)
- 4.24 中仙道わらじウォーキング
- 5.1 ライヴサーキット VOL.2
- スーパーエキセントリックシアター
- 5.29 第21回写生大会 ゲートボール大会
- 6.4 ライヴサーキット VOL.3 山下洋輔
- と PANIA スイングオーケストラ
- ゲートボール大会 お城の美術展
- 6.21 宮田まゆみ笙コンサート
- 7.7.11 お城の美術展
- 7.8.10 第7回城下町シンポジウム主管
- 7.・24 第1回ヨットスクール
- 7.24~8.20 第11回青少年少女歴史講座
- 8.6 ライヴサーキット VOL.4
- 宗次郎ファミリーコンサート
- 8.28 第1回彦根カラム日本選手権大会
- 9.15 小林泰彦の世界&北出博基 Tシャツ写真展
- 9.18 近江政経文化塾 食談「味づくりフォーラム」
- 10.15 LD 道場
- 10.28 マインドアップ懇談会
- 11.6 第2回菅根シティマラソン PIPプログラム
- ライフスタイルブック発行
- 11.30 マインドアップ懇談会

1989

写真

第36代理事長

木村 泰始

【生年月日】S20..

役職名簿

- ・副理事長
- ・理事
- ・監事

(会員数111人)

年間行事

- 1.16 第6回「彦根かるた」かるたとり大会
- 1.23 マインドアップひこね準備会
- 3. 神戸まちづくり見学
- 4.23 マインドアップひこね推進協議会発会式
- 5.14 第22回写生大会 お城は生きている
- 6.4 ライヴサーキット VOL.5 コスミック玄宮園
- 6.25 家族旅行 潮干狩
- 7.28 第12回少年少女歴史講座
- 荒神山少年自然の家で合宿
- 7.29 第2回彦根ヨットスクール
- 8.13 ライヴサーキット VOL.6
- 天守閣前広場コンサート
- インプレッション オブ ヒコネ
- 9.10 第2回カラム日本選手権大会
- まちづくり勉強会
- 9.13 彦根学講座 童門冬二氏 猪瀬直樹氏
- マインドアップひこね
- 血液カマロードバンクの運営と管理
- FKT 城山ガイド
- ウィークエンドホームステイの実施

1990

写真

第37代理事長

一圓 外志夫

【生年月日】S20..

役職名簿

- ・副理事長 井川 良一 田中 由一 森原 勇治
- ・理事 中村 明久 竹内 薫 片岡 哲司
- 土川 博 奥居 雅彦 西崎 英治 矢田 嘉彦
- 杉原 正樹 馬場 英一 木村 泰造
- 北村 篤司 伊吹 之男 太田 徹 小出 英樹
- 文村 俊治、西沢 幹男 坂東 建夫 辻 博史
- 田附 弘 阪東 陽 松本 伸次 岸本 光史
- 岸邊 由朗
- ・監事 清水 裕一 平井 進

(会員数113人)

年間行事

- 1.14 第7回「彦根かるた」かるたとり大会
- FKT 協替
- 2.9 LIA 会議開講の件 5 回開催
- 4.28 憂歌団マインドコンサート
- 5.12 カロム塾高宮地域文化センター
- 5.20 第23回ひこね写生大会
- 6.10 新入会員 VS25 年会交流ソフトボール大会
- 6.16 彦根学講座桂枝雀氏杉浦日向子氏
- 7.8 サマーランドインビワコ 190
- 7.21 第13回少年少女歴史講座
- 7.28 第3回彦根ヨットスクールいかだレース
- 9.3 インテリジェンス イン玄宮園 (滋賀大講堂)
- 9.11 国際コンファレンス決起集会
- 9.22 第1回彦根国際コンファレンス記念式典
- 9.30 第3回カロム日本選手権大会
- 10.1 ねんりんピックカロム大会
- 11.4 第4回彦根シティマラソン 豪雨の中で
- あきんどフォーラム 新近江商人考褒賞
- 「城下町活性化推進賞」受賞

1991

写真

第38代理事長

伊吹 之男

【生年月日】S20..

役職名簿

- ・副理事長
- ・理事
- ・監事

(会員数108人)

年間行事

- 1.23 第8回「彦根かるた」かるたとり大会
- FKTに協力
- 4.27 ライヴサーキット VOL.9
- 岡林信康「エンヤトツトで行きま Show」
- 5.12 第4回写生大会ふれあ〜と'91
- 7.13~8.2 あきんどフォーラム・ミュージカル公演
- 第14回少年少女歴史講座
- 9.7 LD 道場多賀大社参集殿
- 9.29 第4回カロム日本選手権大会
- 小江戸彦根の城まつり ちゃかぼん
- 11.10 第5回彦根シティマラソン
- 11.16 青春サミット留学生と青少年
- (荒神山少年自然の家)
- ビジネススクール
- フレッシュマントレーニング
- 家族旅行 (信楽・世界陶芸祭)

1992

写真

第39代理事長

上田 豊弘

【生年月日】S20..

役職名簿

- ・副理事長 井川 良一 阪東 陽 阪東 建夫
文村 俊治
- ・理事 小川 成次 大宮 修身 小幡 善彦
北川 清 小寺 新治 寺村 太 奥居 雅彦
宮川 基司 大塚 恵昭 中村 康弘
一圓 泰成 桜田 誠宏 岸本 光史 森 寿
夏原 克研 森原 勇治 岸邊 由朗 中村 明久
北村 篤司 圓城 年一 中川 一史 矢田 嘉彦
竹内 薫 西沢 幹男 高木 淳一 棚橋 勝道
- ・監事 田中 泰治 山岸 弘樹

(会員数113人)

年間行事

- 1.17 第9回「彦根かるた」かるたとり大会
- 5.10 彦根 JC 春の交流会親睦スポーツ大会
- 5.17 第25回写生大会ふれあ〜と'92
こころがテーマです
- 6.14 第5回カラム日本選手権大会
夏の家族会(滝の宮)
- 7.31・8.17 第15回少年少女歴史講座
- 9.13 近江政経文化塾(彦根博物館能舞台)
- 9.19 互論理塾(彦根かんばんセンター)
- 10.18 国際交流祭 国際交流市民運動会
- 10.21 ビジネススクール(JC マンのための事業継承)
パソコンゲーム
- 10.22 ライヴサーキット VOL.10
ミミクリーチ in HIKONE
- 10.31 小江戸彦根の城まつり ちゃかぼん
もんたよしのりコンサート
- 11.15 第6回彦根シティマラソン
- 11.29 まちづくりデザイン会議
彦根に4年制大学設置へ

1993

写真

第40代理事長

加納 滋康

【生年月日】S20..

役職名簿

- ・副理事長 田中 泰治 棚橋 勝道 前川 卓士
圓城 年一
- ・理事 河口 和之 岸本 光史 奥居 雅彦
角田 孝幸 伊吹 之男 浜野 圭市
竹中 伸治 山岸 弘樹 竹内 薫 夏原 克研
北川 清 西沢 幹男 田中 由一 矢田 嘉彦
馬場 康之 阪東 陽 宮川 基司 森原 勇治
井川 良一 磯谷 義人 北村 光夫 北村 篤
田島 一成 田附 弘 石川 雅一
- ・監事 大塚 恵昭 文村 俊治

(会員数127人)

年間行事

- 1.6 新年公開例会
- 1.17 第10回「彦根かるた」かるたとり大会
- 2.18~3.4 仮入会会員8耐セミナー5回開催
- 4.3・4 全員旅行 松阪城下町シンポジウム
- 5.16 第26回写生大会 シャトーアーティスト展
- 5.20 創立40周年記念ゴルフコンペ
- 6.4 まちものがたり塾忍者彦助の冒険
- 7.11 第6回カラム日本選手権大会
- 7.13 創立40周年式典
まちものがたり塾参の巻
- 9.5 ライヴサーキット VOL.11
カヌー教室 野田知祐氏
- 9.11 互論理塾8耐セミナー
新入会会員フォローアップセミナー
- 9.26 国際交流祭 国際交流市民運動会
- 10.9 近江政経文化塾統一事業
ライヴサーキット VOL.12
岩田英憲パンフルートコンサート
- 11.3 小江戸彦根の妓まつり ちゃかぼん
- 11.7 第7回彦根シティマラソン
- 11.17・18 ミシガン州滋賀県姉妹提携25周年記念
「姉妹交流国際会議」

1994

写真

第41代理事長

森原 勇治

【生年月日】S20..

役職名簿

- ・副理事長 岸本 光史 田附 弘 宮川 基司
- ・理事 石川 雅一 一圓 泰成 西沢 一郎
- 大塚 清美 文村 俊治 柴田 宜秀 竹内 薫
- 井戸 真也 棚橋 勝道 田中 泰治 山本 学
- 北村 篤司 那須 弘毅 馬場 康之 圓城 年一
- 前川 卓士 田島 一成 西沢 幹男 阪東 陽
- 寺村 太 磯谷 義人 竹中 伸治 山岸 久治
- ・監事 夏原 克研 馬場 英一

(会員数121人)

年間行事

- 1.30 第11回「彦根かるた」かるたとり大会
- 5.22 第27回写生大会
- 6.5 第7回カロム日本選手権大会
- 6.18~21 シャトールアーティスト展
- 7.9.21~22・27・8.2
- まちものがたり塾一~五の券
- 7.29 ライブサーキット Vol.13 辻幹男、小田全宏(友情出演)
- クラシック IN 玄宮園 11 弦ギターの調べ
- 9.23 大人の学校「夜楽」杉山二郎「大人の遊び場」、木下明美「ラプソディー」
- 日高敏隆「動物行動学から」
- 10.10 大人の学校「夜楽」長倉洋海「フォトジャーナリストの眼」
- 10.15~16 `94 国際交流祭
- 10.20 大人の学校「夜楽」木下明美「ラプソディー2」
- 10.26 大人の学校「夜楽」木村興三男「ダンディズム」 近江政経文化塾「夜楽」小泉武夫「微生物と発酵の知恵(ふなずしは語る)」
- 11.2 大人の学校「夜楽」井上はね子「編み集める」、志賀練三「考現学」
- 11.13 第8回彦根シティマラソン
- 11.19 大人の学校「夜楽」、木下明美「ラプソディー3」、木村興三男「ダンディズム2」
- 11.26 大人の学校「夜楽」平井雷太「考現学2」、下出祐太郎「汲みとるということ」

1995

写真

第42代理事長

棚橋 勝道

【生年月日】S20..

役職名簿

- ・副理事長 竹内 薫 竹中 伸治 矢田 嘉彦
- 山岸 久治
- ・理事 北村 篤司 若林 伸享 岸本 光史
- 柴田 宜秀、林 秀光、阪東 陽 大西 和弥
- 夏原 克研 小林 典子 田附 弘 北澤 一朗
- 中村 明久 角田 孝幸 谷口 典隆
- 田島 一成 寺村 太 西沢 幹男 原田 守康
- 杉原 正樹 山本 学 磯谷 義人 一〇 康成
- 馬場 康之 大塚 清美 井戸 慎や 森野 寛志
- ・監事 岸邊 由朗 前川 卓士

(会員数118人)

年間行事

- 1.27-2.24-3.24-4.25~26 -5.24-6.24 互論理塾
- 7.25 8.28・10.7・10.20・11.18 互論理塾
- 1.29 第12回「彦根カルタ」かるたとり大会
- 2.11~12・14~21 兵庫区水木小学校支援活動ボランティア
- 5.28 第28回写生大会(5.21より順)
- 7.8・21・28~29・8.5 まちものがたり塾一~五の巻
- 7.9 第8回カロム日本選手権大会
- 7.29 `95 大人の学校「夜楽」日高敏隆「ざりがに野楽」
- 8.5 写生大会作品展
- 8.19 `95 大人の学校「夜楽」日高敏隆「せみ野楽」
- 8.26 `95 大人の学校「夜楽」「化石野楽」
- 10.18 近江政経文化塾 栗田修「生涯学習とまちづくりの可能性」
- 10.24 近江政経文化塾 織田直文「まちづくりって何だろう」
- 10.28 195 大人の学校「夜楽」須藤一成、木村興三男
- 10.31 近江政経文化塾 上原恵美「淡海文化って何だろう」
- 11.3 小江戸彦根ちゃかぼん~はしだのりひコンサート
- 11.4 `95 大人の学校「夜楽」北野宗道、杉山二郎、南澤靖浩・カルロス グエラ・中村徳子、木下明美、伊豆蔵明彦
- 11.7・近江政経文化塾 織田直文「ひと・まちネットワーク」
- 11.12 第9回彦根シティマラソン

1996

写真

第43代理事長

田附 弘

【生年月日】S20..

役職名簿

- ・副理事長 北村 篤司 中村 明久 馬場 康之
- ・理事 磯谷 義人 谷口 典隆 石川 雅一
- 小出 努 大塚 清美 矢田 嘉彦 田島 一成
- 原田 守康 山岸 久治 山田 寿一 小幡 善彦
- 森原 勇治、木川 英樹、杉原 正樹、井戸 真也
- 森野 寛志 田中 久由 小堀 武志 角田 角幸
- 北川 敦久 山本 学
- ・監事 竹中 伸治 阪東 陽

(会員数112人)

年間行事

- 2.4 第13回「彦根かるた」かるたとり大会
- 4.6 ライブサーキット Vol.14「ひこねランニング
楽」
- 5.19 第29回写生大会・196城山ウォークラリー
- 6.23 第9回カラム日本選手権大会
- 7.14・7.24・8.11・8.26
まちものがたり楽第1~4講
- 7.19 ライブサーキット Vol.15 ハーベイ
- 9.3'96年大人の学校「夜楽」日高敏隆
- 9.14'96年大人の学校「午後のサロン」
青木悦、「夜楽」柴野浩成
- 9.14~16 ひこねまちものがたり Mus-eum
- 9.28196年大人の学校「午後のサロン」
今井由三代、「夜楽」堀直子、橋爪紳也
- 10.10 ライブサーキット Vol.16 能舞台コンサートロ
ン・カーター、山口武 DU0 96
- 10.12196年大人の学校「夜楽」佐藤友美子、木下明
美
- 10.13 国際交流祭
- 10.26196年大人の学校「夜楽」杉山二郎
- 11.3 小江戸彦根の城まつりちやかぼん
- 11.9 第10回彦根シティマラソン前夜祭

1997

写真

第44代理事長

北村 篤司

【生年月日】S20..

役職名簿

- ・副理事長 磯谷 義人 井戸 真也 田島 一成
阪東 陽
- ・理事 北川 敦久 濱口 浩一 杉原 正樹
- 安田 良介 柴田 宜秀 柳 圭二 石川 雅一
- 高崎 克英 木川 英樹 山本 学 田中 久由
- 原田 守康 江川 隆司 角田 孝幸 猪飼 弘実
- 竹中 伸治 岸本 光史 鈴木 則成 小出 努
- 若林 伸享 矢田 嘉彦
- ・監事 棚橋 勝道 山岸 久治

(会員数110人)

年間行事

- 2.1~2・9・16
日本海沿岸重油流失災害支援
- 5.18 第30回写生大会
- 6.22 第10回カラム日本選手権大会
- 8.9 エコロジー親子で Watch and Do
- 8.10 写生大会作品展及び表乾式
- 9.6 197大人の学校「夜楽」中井明、伏見硯二、杉
山二郎、西野麻知子、折戸雄司、吉田秀尾
- 9.7 第27回滋賀ブロック会員大会
- 9.12 97大人の学校「夜楽」米田康男
- 9.1397大人の学校「午後のサロン」荻田久嘉、「夜
楽」桂三風
- 9.16'97大人の学校「夜楽」日高敏隆
- 10.3~5 親子でハート to アート
- 10.5 親子で語るゆめまちマップ
- 11.3 小江戸彦根の城祭り
- 11.8 第11回彦根シティマラソン前夜祭
「ひこねランニング夜楽」
小山由喜、山本佳子、柳川春巳
- 11.9 第11回彦根シティマラソン

1998

写真

第45代理事長

田島 一成

【生年月日】S20..

役職名簿

・副理事長 石川 雅一 大塚 清美 北川 敦久
柴田 宜秀

・理事 磯谷 義人 所 康夫 熊木 治
原田 守康 馬場 康之 横山 秀也 棚橋 勝道
三須 宏一郎 井戸 真也 若林 伸享
角田 孝幸 谷口 典隆 岡村 博之 小出 努
木村 昌弘 矢田 嘉彦 鈴木 則成 浜口 浩一
大須賀 貴幸 猪飼 弘実 安田 良

・監事 岸本 光史 寺村 太

(会員数109人)

年間行事

2.7~カロムサポート事業

3.27・4.10・4.24・5.8・6.13 互論理塾

5.10~カロム協会設立の為のワークショップ

5.17 お城へ行こう！はーとふるフェスタ`98

6.21 第11回カロム日本選手権大会

7.17 `98 大人の学校「野楽」 日高敏隆

“かぶとむし野楽”

8.5 `98 大人の学校「野楽」 米田康男、松本晴三

“星空野楽”

8.8 `98 大人の学校「野楽」 清水盛三 “バス野楽”

9.12 `98 大人の学校「夜楽」 日高敏隆

9.18 `98 大人の学校「夜楽」 辻川公夫

9.19 `98 大人の学校「夜楽」 川島みち子、杉原正樹

10.2 マインドマッピングセミナー

10.31 `98 大人の学校「夜楽」 千石清一 田中玄伯

10.9 `98 大人の学校「夜楽」 柴野浩成、鈴木茂

10.16 `98 大人の学校「夜楽」 阿部圭弘

10.17 `98 大人の学校「夜楽」 宮川弘

11.3 小江戸彦根の城祭り ちゃかぼん

11.8 第12回彦根シティマラソン

11.29 日本カロム協会設立

提言書『つぶやきの実現に向けて』発行

報告書『たかがJCされどJC』発行

1999

写真

第46代理事長

矢田 嘉彦

【生年月日】S20..

役職名簿

・副理事長 猪飼 弘実 小幡 善彦 田中 久由
安田 良介

・理事 岡村 博之 寺嶋 宏展 寺村 太
棚橋 勝道 山本 喜信 石川 雅一 浜口 浩一
柴田 宜秀 鈴木 則成 三須 宏一郎
一圓 泰成 若林 伸享 大須賀 貴幸

岸本 光史 井戸 真也 木村 浩一郎 大野 均
北川 敦久 木村 昌弘 荒川 一雄 横山 秀也
谷口 典隆 森 豊

・監事 大塚 清美 馬場 康之

(会員数107人)

年間行事

5.23 写生大会 `99

6.12~20 街かどギャラリー

6.18・7.1・7.16・7.31・8.28

わくわく市民活動ゼミナール

7.4 第12回カロム日本選手権大会

7.10 近畿地区フォーラム (なみはやドーム)

7.18 市民活動支援システムワークショップ

9.8・9.20・10.1

マネジメントトレーニング

10.26 `99 大人の学校「夜楽」 三塚武男

10.29 `99 大人の学校「夜楽」 日高敏隆

10.30 `99 大人の学校「夜楽」 笹原司朗

エコマインドフォーラム 199 『環境にやさしい消費
生活の提案』

11.4 `99 大人の学校「夜楽」 ダンシング義隆

11.7 第13回彦根シティマラソン

11.11 `99 大人の学校「夜楽」 中村滋雄

11.13 `99 大人の学校「夜楽」 杉原正樹

11.14 市民活動サロン「市民活動団体の

ネットワーク構築と今後」

2000

写真

第47代理事長

安田 良介

【生年月日】S20..

役職名簿

- ・副理事長 一圓 泰成 小出 努 谷口 典隆
山本 学
- ・理事 大須賀 貴幸 湊 加津夫 木村 昌弘
宮尾 興史 太田 英史 森 豊 小幡 善彦
野村 和行 木村 浩一郎 鈴木 則成
田中 利和 寺嶋 宏展 岡田 正憲 田島 一成
北川 敦久 熊川 三興 浜口 浩一 山本 嘉信
岡村 博之 若林 伸享 柴田 宜秀
- ・監事 井戸 真也 田中 久由

(会員数103人)

年間行事

- 5.14 緑とハートのフェスティバル
- 5.21 まちこちギャラリー・キリンフェスティバル
- 2000
- 7.2 第13回カロム日本選手権大会
- 8.5 市民活動屋台村
- 9.30 地域主権フォーラム2000
- 10.13 大人の学校「夜楽」2000 平野敬二
- 10.14 大人の学校「夜楽」2000 谷口良一
- 10.17 大人の学校「夜楽」2000 田畑史美
- 10.20 大人の学校「夜楽」2000 北村裕明
- 10.21 大人の学校「夜楽」2000 北川憲司
- 10.27 大人の学校「夜楽」2000 清水陽介
- 10.28 大人の学校「夜楽」2000 日高敏隆、杉原正樹
- 11.19 第14回彦根シティアラソン

2001

写真

第48代理事長

北川 敦久

【生年月日】S20..

役職名簿

- ・副理事長 木村 昌弘 森 豊 山本 喜信
- ・理事 石川 雅一 鏑田 一治 木村 浩一郎
若林 伸享 谷口 典隆 中村 勝彦 戸 真也
藤澤 聡 浜口 浩一 宮尾 興史 小出 努
三須 宏一郎 太田 英史 宮川 博史
青山 裕史 山本 学 柴田 宜秀 野村 和行
木川 英樹 田中 利和 廣田 誠
- ・監事 田島 一成、矢田 嘉彦

(会員数110人)

年間行事

- 4.11・25・5.11・25 おもしろいやんかJC塾
- 4.13 彦根市長選挙公開討論会
- 5.20 ふれあいフェスタ2001
- 6.17 第14回カロム日本選手権大会
- 6.23~29 はーとウォーミングギャラリー
- 8.8 HIKONE・DANCE・REVOLU-TION『舞
楽』
- 8.22・9.5・13・22
市民主権コンファレンス
- 9.29 大人の学校2001 出目昌伸・杉原正樹
- 9.30 大人の学校2001 秋山謙二
- 10.6 大人の学校2001 横田美智子・中村謙二
- 10.7 大人の学校2001 作内洋行・中村謙二
- 10.20 大人の学校2001 金澤豊
- 10.28 大人の学校2001 加藤誠司
- 10.31 大人の学校2001 日高敏隆
- 11.3 大人の学校2001 永谷正治
- 11.4 ENJOY! 平成竹取物語
- 11.11 第15回彦根シティアラソン

2002

写真

第49代理事長

谷口 典隆

【生年月日】S20..

役職名簿

- ・副理事長 鈴木 則成 田中 利和 浜口 浩一
- ・理事 笠原 元 湊 加津夫 森 豊 山本 学
奥野 益生 木村 浩一郎 山本 喜信
大久保 泰嗣 田島 一成 一圓 泰成 廣田 誠
井戸 真也 上田 嘉幸 野村 和行 安田 良介
青山 裕史 宮尾 興史 若林 伸享 竹田 大輔
三須 宏一郎 北川 豊 赤井 康彦
- ・監事 石川 雅一 柴田 宜秀

(会員数110人)

年間行事

5.12 は～とふるコミュニケーション2002

ひこね市民活動センターオープニングイベント

5.16・22・31・6.7・21 金曜座談会

6.22 第15回カロム日本選手権大会

7.20 言葉のバトル“ザ・ディベート”

8.8 HIKONE DANCE REVOLUTION「舞楽」

9.25・10.2 ざっくばらんに未来語ろう会

10.5 大人の学校2002 小森俊明

10.12 大人の学校2002 寄本明

10.13 大人の学校2002 山形政昭

10.18 大人の学校2002 上田健吉 井尻久嗣

10.19 大人の学校2002 中川一志郎

10.25 大人の学校2002 日高敏隆

10.26 大人の学校2002 杉原正樹

11.10 第16回彦根シティアラソン

2003

写真

第50代理事長

木川 英樹

【生年月日】S20..

役職名簿

- ・副理事長 岡村 博之 柴田 宜秀 角田 孝幸
野村 和行
- ・理事 上野 喜紹 鈴木 宗亮 若林 伸享
大野 均 三須 宏一郎 笠原 元 堤 周徳
中嶋 政明 森 豊 竹田 大輔 西村 浩一
青山 裕史 大久保 泰嗣 赤井 康彦 北川 豊
北川 一利 鈴木 則成 山本 学 田中 利和
宮尾 興史 岡田 正憲 木村 浩一郎
若林 武和
- ・監事 北川 敦久 小出 努

(会員数100人)

年間行事

4.18 第36回写生大会 城山フェスタ2003～お城で遊ぼう～

6.6 第22回全国城下町シンポジウム高岡大会(～8日)

6.28 近畿地区会員大会和歌山伊都郡大会

6.22 第16回カロム日本選手権大会

7.6 50周年記念式典・祝賀懇親会

8.10 夏の家族会～夏の大宴会～

8.30 Summer Festival in HIKONE

9.14 滋賀ブロック会員大会(守山)

10.4 第52回全国会員大会福井大会(～5日)

10 月度移動例会

10.11 Everyoneの力を集めて Only One
のまちづくり

12.13 冬の家族会“ありがとう”が爆発する夜

2004

写真

第51代理事長

鈴木 則成

【生年月日】S20..

役職名簿

- ・副理事長 北川 豊 竹田 大輔 山本 学
- ・理事 赤井 康彦 奥野 益姓 堤 周徳
青山 裕史 岡 祥介 木村 泰健 炭田孝幸
岡田 正憲 中嶋 政明 岡村 博之 川森 勇次
鈴木 宗亮 宮尾 興史 藤田 武史 上野 喜紹
三須 宏一郎 山口 二郎 紫田 宜秀
清水 栄一 北川 一利 田中 利和 安池 英治
- ・監事 小幡 善彦 谷口 典隆

(会員数98人)

年間行事

- 4.11 4月度家族交流例会(鈴鹿サーキット)
- 5.16 若葉まつり
- 5.22 第23回全国城下町シンポジウム
津山大会(～23日)
- 7.3 近畿地区会員大会泉大津大会
- 6.20 第17回カロム日本選手権大会
- 8.8 HIKONE・DANCE・REVOLUTION
『舞楽』2004
- 9.11 滋賀ブロック会員大会(栗東)
- 9.18 Job Communication 築こう共育力!
- 10.1 第53回全国会員大会水戸大会(～3日)
- 10.9～10.30 『大人の学校2004』第1講～第7講
- 10.23 みんなでやろう!エコアクション!!
- 12.11 冬の家族会『ARIGATO』

2005

写真

第52代理事長

北川 豊

【生年月日】S20..

役職名簿

- ・副理事長 赤井 康彦 北川 一利
三須 宏一郎 宮尾 興史
- ・理事 川森 勇次 中嶋 政明 笠原 元
大久保 奏嗣 上田 旨広 奥野 益生
藤田 武史 矢田 直章 若林 武和 大橋 伸史
岡田 正憲 木村 浩一郎 丸山 忠隆 岡 祥介
青山 裕史 谷口 典隆 西田 善道 堤 周徳
中島 善幸
- ・監事 角田 孝幸 田中 利和

(会員数88人)

年間行事

- 4.6 4月度(会頭訪問)例会
- 4.23 全国城下町シンポジウム上田大会(～24日)
- 4.27 お城の話を描こう第1講(彦根城)
- 5.14 お城の話を描こう第2講
- 5.22 第37回写生大会、お城を描こう!
写生大会2005
- 7.2 近畿地区会員大会加古川大会
- 6.19 第18回カロム日本選手権大会
- 7.31 HIKONE・DANCE-REVOLUTION
『舞楽』2005
- 8.28 夏の家族会「夏だっ!祭りだっ!縁日だっ!!!!」
- 9.10 滋賀ブロック会員大会(草津)
- 9.29 第54回全国会員大会姫路大会(～2日)
- 10.15 会員研修～Basic Human Power
JC Power～実践編(伊吹山)
- 10.29 みんなで学ぼう!環境サブリ”自然塾”
- 12.10 冬の家族会「Thanks giving night」

2006

写真

第53代理事長

岡村 博之

【生年月日】S20..

役職名簿

- ・副理事長 青山 裕史 岡 祥介 奥野 益生
木村 浩一郎
- ・理事 北川 一利 藤田 武史 丸山 忠隆
木村 奏健 大久保 奏嗣 松田 充弘
木川 英樹 中川 寛之 赤井 康彦 夏原 行平
正木 慎吾 谷口 典隆 堀 和也 川森 勇次
西田 善道 岡田 正憲 清水 智弘 田中 利和
- ・監事 鈴木 則成 竹田 大輔

(会員数92人)

年間行事

- 4.23 耕せJC畑!!
- 5.13 400枚 de 彦根城展示
- 5.21 第38回写生大会 彦根城でござる!
～お城 deART～2006
- 6.19 第19回カロム日本選手権大会
- 6.23 第25回全国城下町シンポジウム
今治大会(～25日)
- 7.8 近畿地区会員大会福原大会
- 7.28 原点は商道德にあり社会起業家が地域を変える
- 8.20 夏のふれあい感謝祭
家族よし!メンバーよし!JCよし
- 9.10 滋賀ブロック会員大会(東近江)
- 9.28～10.21 大人の学校「夜楽」・「野楽」
- 10.1 400本 de キャンドル
- 10.5 第55回全国会員大会郡山大会(～8日)
- 10.14 環境サブリ 2006～私たちができる
地球への OMOIYARI
- 10.22 彦根ろうそく de Night
- 12.9 冬の家族会「情熱の夕べ～笑いよし!涙よし!家族よし!

2007

写真

第54代理事長

木村 浩一郎

【生年月日】S20..

役職名簿

- ・副理事長 大久保 奏嗣 田中 利和
中嶋 政明 若林 武和
- ・理事 三須 宏一郎 松田 充弘 大橋 伸吏
正木 慎吾 北川 一利 北川 嘉志 安居 輝人
木村 奏健 谷口 典隆 西倉 正浩 伊藤 昇
川森 勇次 鈴木 則成 堤 周徳 橋本 健一
丸山 忠隆 青山 裕史 上野 圭一 清水 智弘
青山 悟士 赤井 康彦 北川 豊
- ・監事 奥野 益生 木川 英樹

(会員数86人)

年間行事

- 5.20 第39回写生大会 お城を祝おう! 写生大会
2007
- 6.8 第26回全国城下町シンポジウム上越大会(～
10日)
- 6.17 第20回カロム日本選手権大会
- 7.7 近畿地区会員大会京丹後大会
- 8.31～10.29 国宝・彦根城築城400年祭
彦根サウンドラリー2007
- 9.8 滋賀ブロック会員大会(彦根)
- 9.28 第56回全国会員大会帯広大会(～30日)
- 10.20 環境サブリ 2007～エコサバイバル編～
- 11.25 「ありがとう彦根城!つなごう未来へ!!」
国宝・彦根城築城400年祭
「ひこねイイうたプロジェクト!」
- 12.8 「感謝」ふくらむ家族会

2008

写真

第55代理事長

堤 周徳

【生年月日】S20..

役職名簿

- ・副理事長 岡田 正憲 鈴木 宗亮 清水 智弘
正木 慎吾
- ・理事 西田 善道 青山 悟士 中川 寛之
北川 嘉志 木村 奏健 藤田 武史 渡辺 義隆
岡村 博之 田中 利和 西村 忠生 大橋 伸吏
川森 勇次 佐藤 平 木川 英樹 高木 圭祐
竹田 大輔 大橋 友彦 西澤 英昭 松田 充弘
赤井 康彦 橋本 健一 細江 弘人
- ・監事 大久保 奏嗣 北川 豊

(会員数86人)

年間行事

- 5.18 第40回写生大会 描こう！彦根城
気付こう！まちの魅力 拡がれ！ひこね愛
- 6.7 第27回全国城下町シンポジウム唐津大会（～8日）
- 6.15 第21回カロム日本選手権大会
- 7.12 近畿地区会員大会新宮大会
- 8.2 平成「弘道館」～井伊直弼に学ぶ
「埋木の精神」
- 9.13 滋賀ブロック会員大会（野洲）
- 8.29～9.16 地域ビジネスがひこねを元気にする！
～地域を活かし、地域に生きる達人と語らうタベ～
- 10.3 開国記念寄席 もう一人の井伊直弼を訪ねて
- 10.6 10月度公開例会
- 10.11 第57回全国会員大会静岡大会（～12日）
- 10.19 エコサイクリング2008
- 12.14、冬の家族会「感謝して・輝いて・グウ～!!」

2009

写真

第56代理事長

赤井 康彦

【生年月日】S20..

役職名簿

- ・副理事長 西田 善道 藤田 武史 丸山 忠隆
- ・理事 中島 善幸 高木 圭祐 安居 輝人
橋本 健一 清水 智弘 清水 暢彦 上田 歌麿
木村 奏健 伊藤 昇 北川 嘉志 野村 博雄
青山 悟士 上川 悟史 細江 弘人 岡田 正憲
木川 英樹 小林 忠世 鈴木 宗亮 中川 寛之
丸山 博樹
- ・監事 岡村 博之 木村 浩一郎

(会員数71人)

年間行事

- 4.24 第28回全国城下町シンポジウム 福知山大会（～26日）
- 4.29 井伊直弼と開国150年祭事業
「ひこね名所スタンプラリー」オープニングイベント
- 7.18 近畿地区会員大会水口大会
- 6.28 第22回カロム日本選手権大会
- 8.20 夏の家族会 ～爆発寸前！暑さもフッ飛ばす!!BBQ大会!!!～
- 8.29 親子で作ろうMY家宝
- 9.12 滋賀ブロック会員大会（長浜）
- 9.26 エコアドベンチャー in 曾根沼
- 9.15 第58回全国会員大会那覇大会（～18日）
- 9.31 彦根城の黄金伝説を解き明かせ
- 11.6 11月度公開例会
「よしもと流コーチング 地域の明日をプロデュース」
- 12.12 冬の家族会「オールファミリー感謝祭～2009年最後の特大号～」

2010

写真

第57代理事長

藤田 武史

【生年月日】S20..

役職名簿

- ・副理事長 青山 悟士 木村 奏健 松田 充弘
- ・理事 細江 弘人 上川 悟史 上田 歌麿
- 丸山 博樹 西川 英喜 橋本 健一 小島 誠司
- 中島 善幸 安居 輝人 近藤 智也 堤 周徳
- 西田 善道 林 雅彦 小柳 清彦 高木 圭祐
- 清水 智弘 丸山 忠隆
- ・監事 青山 裕史 野村 博雄

(会員数73人)

年間行事

- 2.6 2月度公開例会「Voice of ひこね～広域連携によるまちづくりの魅力と可能性を探る～」
- 5.16 第41回写生大会 写生大会2010～未来へ届け！僕らのおもいやり！～
- 6.11 第29回全国城下町シンポジウム弘前大会(～13日)
- 7.10 近畿地区会員大会泉佐野大会
- 6.19 みんなでつくろう！ひこねカロムキャラクター 予備審査
- 8.29 湖東市民討議会2010～あなたの意見で地域(まち)の未来(あした)を描こう～
- 9.5 第23回カロム日本選手権大会プレ事業
「ちょこっとカロムやってみない？」
- 9.12 滋賀ブロック会員大会(近江八幡)
- 9.26 地域創造事業「秋の一日まるごと中山道！中山道ウォーク&湖東ふるさと塾」
- 10.2 第59回全国会員大会小田原・箱根大会(～3日)
- 10.9 学ぼう！食べよう！大好きひこね！
- 10.17 第23回カロム日本選手権大会
- 11.2 JCI 世界会議(大阪)(～7日)

2011

写真

第58代理事長

清水 智弘

【生年月日】S20..

役職名簿

- ・副理事長 高木 圭祐 西澤 英昭 橋本 健一
- ・理事 上川 悟史 清水 暢彦 林 雅彦
- 近藤 智也 殿村 治美 原田 龍太郎
- 矢守 嘉樹 赤井 康彦 丸山 博樹 青山 裕史
- 西崎 匠 西村 忠生 上田 歌麿
- ・監事 松田 充弘 山口 太二郎

(会員数67人)

年間行事

- 5.15 第42回写生大会 いいねひこね！
写生大会2011&彦根かるたらしい
- 6.10 第30回全国城下町シンポジウム松本大会(～12日)
- 7.23 東日本大震災現地ボランティア(～25日)
- 8.6 近畿地区会員大会西宮大会
- 8.11 東日本大震災現地ボランティア(～13日)
- 8.25 メンバー座談会～JCを語ろう～
- 8.31 災害協定締結調印式
- 9.23 歩いて感じてひこねまるごと自然体験
- 9.29 第60回全国会員大会名古屋大会(～3日)
- 10.16 いいね！我がまち、我が家族！
～キズナでつなごうひこねの未来～
- 10.29 地域創造事業「湖東宝さがし in
彦根城まるっとゴウカイ伝統体験！」
- 11.11 公益社団法人格取得
- 11.20 滋賀ブロック会員大会(高島)
- 12.11 冬の家族会「2011x'mas 家族会」

2012

写真

第59代理事長

橋本 健一

【生年月日】S20..

役職名簿

- ・副理事長 上田 歌麿 北川 嘉志 細江 弘人
- ・理事 安居 輝人 西崎 匠 渡邊 義隆
- 佐藤 平 堤 周徳 矢守 嘉樹 上川 悟史
- 古川 良則 杉原 篤 林 雅彦 岡田 直正
- 丸山 博樹 林 俊哉 西澤 英昭 吉原 保
- 清水 暢彦 近藤 智也
- ・監事 青山 悟士 赤井 康彦

(会員数68人)

年間行事

- 2.5 2月度公開例会「ご当地ゲームサミット in ひこね」
- 3.11 復興創造フォーラム（盛岡）
- 4.4 4月度公開例会 笑顔と行動でありがとうがあふれる
地域へ
- 5.13 第43回写生大会 写生大会2012
～みんなで描こう彦根城～
- 6.22 第31回全国城下町シンポジウム函館大会（～24日）
- 7.15 近畿地区会員大会天理大会
- 7.28 夏の家族会 ～日本の夏、高取山の夏！～
- 8.10 東日本大震災復興支援活動（～12日）
- 9.15 滋賀ブロック会員大会（大津）
- 10.12 第61回全国会員大会北九州大会（～14日）
姉妹 LOM 災害協定書締結
- 10.28 地域創造事業「みんなで学ぼうまち
の宝 湖東一受けたい授業2012」
- 11.6 11月度公開例会ともに生き、ともに活かされている
君は親指のような人間になれ
- 12.16 冬の家族会2012～おもてなすぜー！
クリスマスだろおー！

2013年～2022年のあゆみ

※カッコよく、現代感をだした表現

※カラーで

2013年～2022年のあゆみ

2013年
第60代理事長

役員
スローガン

行動計画

組織図

2014年
第61代理事長

役員
スローガン

行動計画

組織図

2015年
第62代理事長

役員
スローガン

行動計画

組織図

2016年
第63代理事長

役員
スローガン

行動計画

組織図

2017年
第64代理事長

役員
スローガン

行動計画

組織図

2018年
第65代理事長

役員
スローガン

行動計画

組織図

2019年
第66代理事長

役員
スローガン

行動計画

組織図

2020年
第67代理事長

役員
スローガン

行動計画

組織図

2021年
第68代理事長

役員
スローガン

行動計画

組織図

2022年
第69代理事長

役員
スローガン

行動計画

組織図

運動指針

運動指針

運動指針

運動指針



はし ちと かず き 橋本 一 幾 H28.4 入会
A型 S59.12.22生
勤務先 株式会社オミ建設
〒522-0221 彦根市野口町283-2
T 0749-25-3303 F 0749-25-3304
彦根市芹川町1212-508
自 宅 〒522-0033
E-mail kazuki_hashimoto@hashimoto-gc.jp
第70代 理事長



よこ つ ゆう き 横津 優 騎 H26.9 入会
O型 S60.7.10生
勤務先 (株)FILL COMPANY.
〒522-0233 彦根市辻堂町250-2
T 0749-20-1931 F 0749-20-5185
彦根市東沼波町1230-8
自 宅 〒522-0027
E-mail maruichil035@gmail.com
直前理事長



き だ だ い すけ 木田 乃 輔 H26.12 入会
O型 S56.4.28生
勤務先 株式会社文教スタジオ
〒522-0075 彦根市佐和町6-15
T 0749-22-7681 F 0749-21-2143
東近江市五個荘三保町186
自 宅 〒529-1424 T 0748-43-1668
E-mail daisuke-kida@bunkyostudio.co.jp
監事



みや がわ よし のり 宮川 佳 典 H26.4 入会
O型 S56.12.11生
勤務先 株式会社伊勢機
〒522-0089 彦根市錦町4-23
T 0749-22-0063 F 0749-24-1011
彦根市錦町4-23
自 宅 〒522-0089 T 0749-22-0063
E-mail info@iseiku.jp
監事



おの の みやび 大野 勝 輝 H30.7 入会
A型 H3.12.29生
勤務先 (株)雅コーポレーション
〒522-0234 彦根市森堂町15-4
T 0749-47-3580 F 0749-47-3581
彦根市森堂町15-4
自 宅 〒522-0234
E-mail miyabi.co@mbm.nifty.com
副理事長



さわ い ゆう 一 澤井 雄 一 H30.1 入会
B型 S59.8.17生
勤務先 雄飛左官店
〒522-0201 彦根市高宮町1320-6
T 0749-20-1620 F 0749-20-8093
彦根市高宮町1987
自 宅 〒522-0201 T 0749-47-6141 F 0749-47-6151
E-mail info@yuhisakanten.com
副理事長
70周年実行特別
委員会 委員長



のり まつ りゅう 飛松 龍 H30.1 入会
B型 S59.12.10生
勤務先 (株)FPパートナー
〒525-0032 草津市大路2-15-37 中村ビル3F
T 077-569-5797
犬上郡豊郷町安食南647-1
自 宅 〒529-1172
E-mail ryutobi07@iCloud.com
副理事長



にし かつ しゅん せい 西川 隼 世 H29.4 入会
O型 H4.5.18生
勤務先 株式会社NCI
〒522-0201 彦根市高宮町3064
T 0749-28-1652 F 0749-28-1652
彦根市高宮町2334
自 宅 〒522-0201 T 0749-22-5485
E-mail shunsein.0518@gmail.com
副理事長

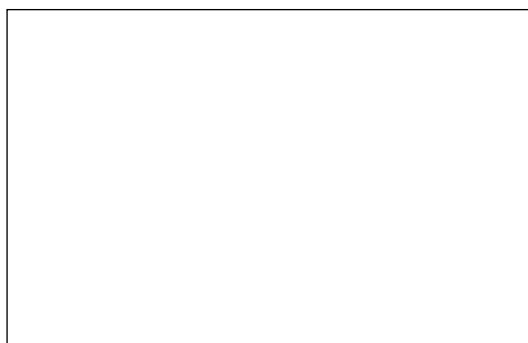
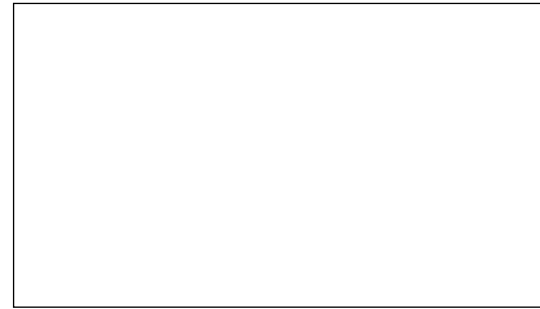
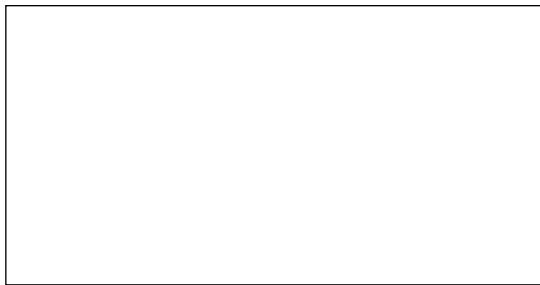
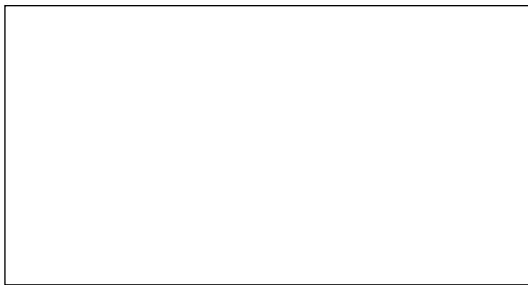
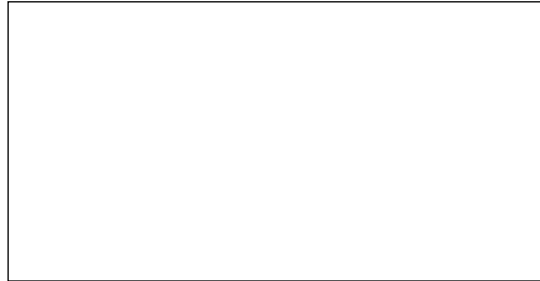


なつ はる ひろ き 夏原 大 輝 R2.1 入会
A型 S62.1.7生
勤務先 夏原工業(株)
〒522-0201 彦根市高宮町2688-1
T 0749-26-3411 F 0749-27-3050
犬上郡多賀町多賀1552-14
自 宅 〒522-0341
E-mail summer.field.haivert@gmail.com
専務理事

写真はカラーを使用

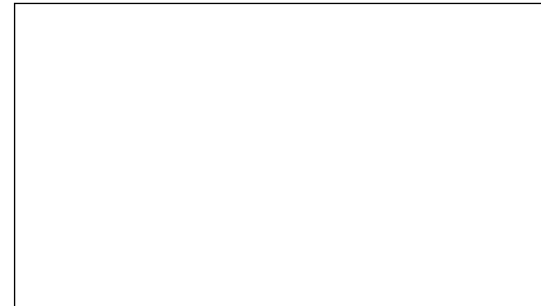
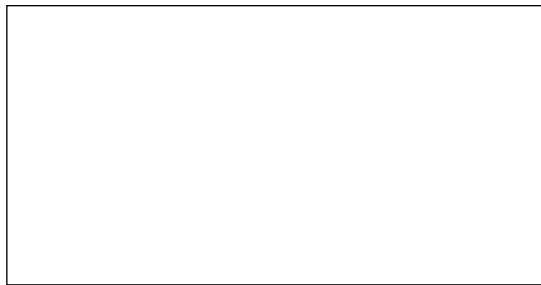
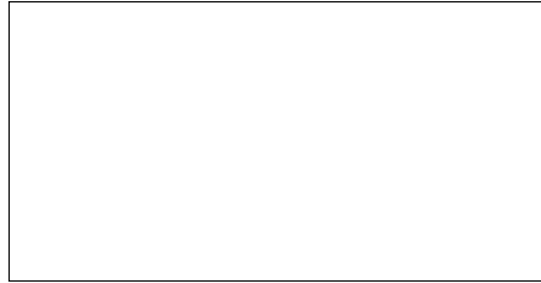
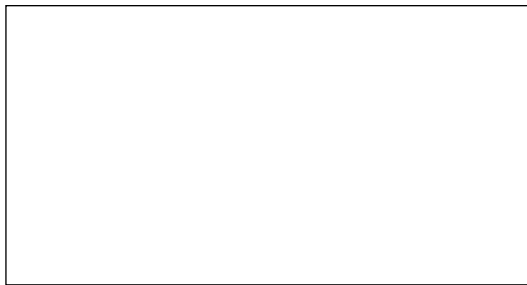
2023年度 総務広報委員会

	さわ だ あき ひし 澤田 晃仁	H29.4 入会 O型 S58.2.14生
	勤務先 〒522-0236	合同会社Libra近江 彦根市大方町268 T 090-7881-8754
自宅 〒522-0236	彦根市大方町268 T 0749-28-1596	E-mail akiisan33@gmail.com
総務広報 委員会 委員長		



2023年度 組織の輪確立委員会

	まる やま よし き R37 入会 丸山 義樹 O型 H9.7.3 生
	勤務先 アイド工業 〒529-1647 蒲生郡日野町別所1020-199 T 0748-40-0090 F 0748-40-0090
自宅 〒522-0045 彦根市宇尾町169-2 T 0749-23-1631 E-mail 08024453163@docomo.ne.jp	
組織の輪確立 委員会 委員長	



2023年度 地域共創委員会

	にしむら 西村直人	なほと O型	R 3.10 入会 H10.9.20 生
	勤務先 〒522-0082 彦根市安清町3-27	無清友商会 彦根市安清町3-27	T 0749-22-4731 F 0749-22-4733
自宅 〒522-0043	彦根市小泉町425-65	T 0749-23-7386	
地域共創 委員会 委員長	E-mail kiyopoy@gmail.com		

--

--

--

--

--

--

--

--

--

2023年度 新入会員

2023年度 新入会員

特別会員 氏名 卒業年度

特別会員 氏名 卒業年度

特別会員 氏名 卒場年度

物故会員

実行委員長 挨拶

式典部会長 挨拶

懇親部会長 挨拶

公益社団法人 彦根青年会議所
創立70周年記念誌

発行日 2023年7月8日

発行 公益社団法人 彦根青年会議所

〒522-0063

滋賀県彦根市中央町3番8号

彦根商工会議所3階

TEL 0749(22)7522

FAX 0749(22)9018

編集 創立7周年実行特別委員会 委員長 澤井 雄一

公益社団法人 彦根青年会議所
2023年度 協議事項提案書

第6回理事会1号議案

議案名 : 彦根青年会議所運動指針内容
提案者 : 70周年実行特別委員会
作成者 : 澤井 雄一
上程月日 : 2023年4月24日

目次	上程スケジュール
協議事項提案書 (1) ページ～ (2) ページ	第22回 執行部会 2023年 3月15日 協議
行動計画書	第23回 執行部会 2023年 3月29日 協議
添付資料 (2) ページ～ (2) ページ	第24回 執行部会 2023年 4月 5日 協議
最終ページ (2) ページ	第 6回 理 事 会 2023年 4月24日 協議
	第27回 執行部会 2023年 5月11日 協議
	第28回 執行部会 2023年 5月17日 審議
	第 7回 理 事 会 2023年 5月23日 審議

1. [協議事項提案名]

彦根青年会議所運動指針内容の件

2. [事業の目的と意義：対外]

彦根青年会議所創立70周年を迎えるにあたり、従来私たちの運動指針であった「New Value for Our Future～夢ある未来へつなぐ新たな価値の創造～」及び「We can go to the next stage～私たちのチカラがひこねの未来を創造する～」を検証し、新たな運動指針を作成することで、これからの運動の方向性を明確にし、まちや関係諸団体に広くPRすることができると思えます。

3. [事業の目的と意義：対内]

彦根青年会議所創立70周年を迎えるにあたり、従来私たちの運動指針であった「New Value for Our Future～夢ある未来へつなぐ新たな価値の創造～」及び「We can go to the next stage～私たちのチカラがひこねの未来を創造する～」を検証し、新たな運動指針を作成することで、彦根青年会議所全メンバーがこれからの運動の方向性を共有でき、一丸となって青年会議所活動に邁進できると考えます。

4. [事業計画の概要・推進方法]

なし

5. [前年度よりの引継事項]

なし

6. [本年度の工夫と期待される効果]

なし

7. [執行部会での意見]

なし

8. [添付資料の種類]

- ・協議資料 彦根青年会議所運動指針内容

9. [その他]

なし

協議資料

彦根青年会議所運動指針内容

公益社団法人 彦根青年会議所

70年代 運動指針

C o n n e c t t o t h e f u t u r e

～誰もが羨むひこねの実現～ 構想

運動指針策定にあたり

2市4町の総合計画を読み解き、地域の課題と今後の目指すべきまちの在り方について考えました。

大きな問題として、人口減少・人口高齢化（労働人口の減少）経済の停滞、環境問題など、今後の地域課題と対策について考え、私たちがこの先10年間取り組むべき指針として、誰もが羨むまち「ひこね」の実現に向けて策定いたします。

彦根青年会議所が目指す4つのカテゴリー

1. 人をつなぐ
2. まちをつなぐ
3. 経済をつなぐ
4. 組織をつなぐ

1. 人をつなぐ
 - ・未来を担う子どもたちの育成
 - ・「ひこね」への愛郷心を醸成
 - ・地域市民の情報リテラシー向上を目指す

2. まちをつなぐ
 - ・関係諸団体との連携、協力体制の構築
 - ・地域資源に新たな価値を創出し、魅力溢れるまちの実現
 - ・健やかで安心できるまちの実現

3. 経済をつなぐ
 - ・事業者の交流を促しイノベーションを生み出します。
 - ・多様な人財が集まり活躍できる社会の実現
 - ・次世代経済人の育成

4. 組織をつなぐ

- 組織のブランディング活動の展開
- 仲間を増やし会員が成長できる組織運営
- 効率的な運動・活動を行える環境整備